KAWAI

STAGE PIANO MP6

取扱説明書

ご使用前の準備

演奏ガイド

SW ボタン

エフェクト / リバーブボタン

コントロールノブ

メニューボタン

ソングレコーダー（Internal Memory）

オーディオレコーダー（USB Memory）

ストアボタン

システムボタン

USB ボタン

付録

このたびは、

KAWAIステージピアノMP6をお買い求めいただきまして、

誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、

この取扱説明書をよくお読みいただき、

大切に保管くださいますようお願い致します。

はじめに

取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（P. 10）からお読みください。各部の名称と機能、電源コードの接続や電源の入れ方などを説明しています。
取扱説明書では、MP6 をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録では内蔵音色一覧など MP6 の資料を見ることができます。

表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、［　］で囲まれた文字は、ボタン名を表し、［SOUND］ボタン、のように表記します。

本製品の特長

グランドピアノのタッチに近づいた『レスポンシブ ハンマー アクション（RH Action）鍵盤 / アイボリータッチ、レットオフフィール』

滑らかでスムーズなタッチ、弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地の RH Action 鍵盤を搭載。また、優れた吸湿性を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。さらに、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールも搭載しています。

カワイコンサートグランドピアノ EX の音を様々なタッチで 88 鍵全て録音した、『88 鍵ステレオサンプリング、プログレッシブハーモニックイメージング音源（PHI）』と高品質なエレクトリックピアノサウンド

MP6 は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノ EX の音を、88 個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸のピアノ音を搭載しています。さらに鍵盤を弾く強さにより大きく変化するピアノ音を様々な強さで録音することにより、従来のピアノサウンドを凌駕する表現力を備えました。
エレクトリックピアノは波形容量を従来から 4 倍に拡大しクオリティを強化。アンプの音をシミュレートしたアンプシミュレータを搭載しリアルな音質変化に加え、迫力あるサウンドが生まれます。

マスターキーボード機能と MP3 形式、WAV 形式での録音 / 再生が可能な『USB オーディオレコーダー』

4 つのゾーンには Ext(外部音源) と Both(内部音源 + 外部音源) を割り当て可能。4 本のスライダーで内部音源 + 外部音源のレイヤーミックスができます。
また MP6 は演奏した曲を USB メモリー内に WAV / MP3 の 2 種類の形式で保存できます。WAV 形式で保存してパソコンの DAW ソフトで音を編集したり、MP3 形式で保存してバンドメンバーに自作曲のアイデアをメールで送信することも可能です。

付属品（お確かめ下さい）

- ☐ 保証書
- ☑ 取扱説明書（本書）
- ☐ ご愛用者カード
- ☐ アフターサービスのご案内
- ☐ 電源コード
- ☐ 譜面台
- ☐ ダンパーペダル（ハーフペダル対応）

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は下記のようになっています。

本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意：　火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告

100V 以外禁止

電源は必ず AC100V を使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火のおそれがあります。

専用コード使用

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

コードを傷つけない

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

故障・感電・ショートのおそれがあります。

水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける , かける , こぼす）等しない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

濡れ手禁止

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

本体の上にローソクなど、火気のものを置かない

火災のおそれがあります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損のおそれがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

長時間使用禁止

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になるおそれがあります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損のおそれがあります。

⚠ 注意

プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

長時間使用しないときは、必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

取扱い注意

設置作業や移動作業は必ず 2 人で行い、取り扱いに十分注 意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れるおそれがあり、故障やけがの原因になります。

ベンジン / シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

はじめに

取扱説明書について 3
表記について 3
本製品の特長 3
付属品（お確かめ下さい） 3

安全上のご注意 4

本体に表示されているマークについて 4
警告と注意、記号表示について 4
お手入れについて 5
保証書について 5
修理について 5

ご使用前の準備

MP6 について 10

4 つのゾーン -INT / EXT セクション - 10
4 つのコントロールノブ 11
EFX（エフェクト）/ Reverb（リバーブ） 11
SOUND（サウンド）/ SETUP（セットアップ） 11

各部の機能と働き 12

フロントパネル 12
リアパネル 14
ヘッドホンジャック 15

演奏前の準備 16

譜面立てを立てる 16
フットペダルを接続する 16
キーボードアンプなどに接続する 17
電源を入れる 17

演奏ガイド

ゾーンの状態とディスプレイの表示例 18

弾いてみよう 18

音色を選択する 19

ピアノオンリー 20

コントロールノブを調節してみよう 20

EFFECT をコントロールする 20
EQ をコントロールする 20
音色を変化（TONE MODIFY) させる 20

ゾーンを重ねて弾いてみよう（レイヤー演奏） 21

スプリット演奏 22

外部音源を鳴らして演奏する 24

MP6 と外部音源を MIDI 接続する 24
MIDI チャンネルを合わせる 24
外部音源の音色を変更する 25

SETUP（セットアップ）の選択 26

セットアップで設定された各ゾーンの音色の確認方法 26

METRONOME（メトロノーム） 27

メトロノームをスタート / ストップする 27
メトロノームのテンポを調節する 27
メトロノームのパターンを変える 27
メトロノームの音量を調節する 27

TRANSPOSE（トランスポーズ） 28

SW ボタン

機能を [SW] ボタンに割り当てる 29
機能のオン / オフ 29

EFX / REVERB（エフェクト / リバーブ）

EFX（エフェクト） 30

エフェクトのオン / オフ 30
EFX Type（エフェクト タイプ）の変更 30

REVERB（リバーブ） 31

リバーブのオン / オフ 31
REV Type（リバーブ タイプ）の変更 31

コントロールノブ

EFX/REVERB（エフェクト / リバーブ） 32

コントロールノブを使って
それぞれのエフェクトの値を設定する 32
コントロールノブを使って
それぞれのリバーブの値を設定する 33
リバーブ・オフセットの値を設定する 34

EQ（イコライザー） 35

EQ オフセットの値を設定する 35

TONE MODIFY（トーン モディファイ） 36

ASSIGN (アサイン) 37

Amp simulator (アンプシミュレーター) 37

MIDI CC# (MIDI コントロールチェンジナンバー) 37

MIDI CC#（コントロールチェンジ） 38

Ａ～Ｄのコントロールノブを使って
コントロールチェンジを送信する 38

Ａ～Ｄのコントロールノブに割り当てられた
コントロールチェンジ番号を変更する 38

メニューボタン

MENU 設定内容一覧 39

Int セクションと Ext セクション 40

SOUND モードでのエディット 41

SETUP モードでのエディット 41

基本操作 41

エディットメニューの LCD 画面 41

Section Parameter（セクション パラメータ） 42

Zone Mode（ゾーン・モード） 42
Sound Select（音色選択）〈INT のみ〉 42
Damper Resonance（ダンパーレゾナンス） 42
String Resonance（ストリングレゾナンス） 42
Key-off Effect（キーオフエフェクト） 43
Voicing（ボイシング） 43
Key Off Noise（キーオフノイズ） 43
Key Off Delay（キーオフディレイ） 43
Tone Wheel Registration
（トーンホイールレジストレーション） 43
Tone Wheel Percussion（トーンホイールパーカッション） 44
Tone Wheel Percussion Level
（トーンホイールパーカッションレベル） 44
Tone Wheel Percussion Decay
（トーンホイールパーカッションディケイ） 44
Tone Wheel Percussion Harmonics
（トーンホイールパーカッションハーモニクス） 44
Key click Level（キークリックレベル） 44
EFX TYPE（エフェクトタイプ） 44
EFX Parameter（エフェクトパラメーター） 44
Amp Simulator On/Off（アンプシミュレーター On/Off） 45
Amp Simulator Drive（アンプシミュレータードライブ） 45
Amp Simulator Level（アンプシミュレーターレベル） 45
Amp Simulator EQ Hi/Lo（アンプシミュレーター EQ Hi/Lo） 45
Trs Channel（送信チャンネル） 45
Trs PRG #（プログラムナンバー） 45
BANK MSB / LSB（バンクセレクト MSB / LSB） 45
Keyboard On / Off（キーボード・オンオフ） 46
Velocity Dynamics（ベロシティー ダイナミクス） 46
Solo（ソロ） 46
Solo Mode（ソロ モード） 46
Damper（ダンパー） 47
Foot SW（フットスイッチ） 47
Exp Pedal（エクスプレッションペダル） 47
Modulation（モジュレーション） 47
Bender（ベンダー） 47
Bender Range（ベンダーレンジ） 47
K. Range Hi（キー・レンジ・ハイ）/
K. Range Lo（キー・レンジ・ロー） 48
Vel SW（ベロシティー スイッチ） 48
Vel SW val（ベロシティー スイッチ バリュー） 48
Zone Transpose（ゾーントランスポーズ） 49
Volume（ボリューム） 49
Pan（パン） 49
FineTune（ファインチューニング） 49

Common Parameter（コモン パラメータ） 50

Stretch（ストレッチ） 50
Temperament（音律） 50
Key of Temperament（音律の主音） 50
User Tuning（チューニング） 51
Foot SW CC#（フットスイッチ・コントロールチェンジ） 51
Exp Pedal CC#
（エクスプレッションペダル・コントロールチェンジ） 51
Modulation Wheel CC#
（モジュレーションホイール・コントロールチェンジ） 52
Left Pedal Mode（レフト・ペダル・モード） 52
Master Volume（マスター・ボリューム） 52

ソングレコーダー

録音 53

録音モードに入る 53
録音を開始する 53
録音を終了する 53

再生 54

ソングを再生する 54

再生を終了する 54

A-B リピート 55

A-B リピートを終了する 55

削除 55

ソングを削除する 55

内蔵メモリーの全ソングを削除する 55

オーディオレコーダー

録音 56

録音モードに入る 56

録音を開始する 56

録音を終了する 57

再生 57

オーディオファイルを再生する 57

再生を終了する 57

A-B リピート 58

A-B リピートを終了する 58

別のファイルを選択する 58

ストアボタン

Store Sound（ストア サウンド） 59

Store Setup（ストア セットアップ） 60

ストアセットアップモードに入る 60

保存先を指定する 60

セットアップ名を変更する 60

ストアを実行する 61

Store POWER ON（ストア パワーオン） 61

システムボタン

設定操作 62

System Parameter（システム パラメーター） 63

System Ch（システム チャンネル） 63

Touch（タッチ） 63

System Tuning（システム チューニング） 63

Volume Slider Action（ボリューム アクション） 64

Reverb Offset（リバーブ オフセット） 64

EQ Offset On / Off（EQ オフセット オン / オフ） 64

EQ Offset Hi / Mid / Low（EQ オフセット） 64

Local Control On / Off（ローカル オン / オフ） 64

Program Change Mode（プログラムチェンジモード） 65

MIDI Receive Mode（MIDI 受信モード） 65

MIDI Receive Channel（MIDI 受信チャンネル） 65

MIDI Transmit SETUP Mode ON / Off
（MIDI 送信セットアップモード） 65

MIDI Transmit Program Change ON / Off
（MIDI 送信プログラムチェンジ） 65

MIDI Transmit Bank On / Off（MIDI 送信バンク） 66

MIDI Transmit Volume On / Off（MIDI 送信ボリューム） 66

MIDI Transmit Control Change On / Off
（MIDI 送信コントロールチェンジ） 66

MIDI Transmit Keyboard On / Off（MIDI 送信キーボード） 66

MIDI Transmit Recorder On / Off（MIDI 送信レコーダー） 66

MMC On / Off（MMC On / Off） 67

MMC Assign（MMC 割り当て） 67

MMC Device ID 67

LCD Contrast（LCD コントラスト） 67

LED Brightness（LED ブライトネス） 67

Output Mode（アウトプットモード） 68

Foot SW（フットスイッチ） 68

Wheel Mode（ホイール・モード） 68

System Reset（システム リセット） 69

Reset One Sound / Setup
（リセット ワン サウンド / セットアップ） 69

Reset All（リセット オール） 69

USB ボタン

USB のメニューを選ぶ 70

[USB] ボタンを押す 70

Load (読み込み) 70

SETUP データの読み込み 70

SOUND データの読み込み 71

SYSTEM データの読み込み 71

SMF データの読み込み 71

Save (保存) 72

SETUP データの保存 72

SOUND データの保存 72

SYSTEM データの保存 72
SMF データの保存 72

Rename(名前の変更) 73

SETUP データの名前の変更 73
SOUND データの名前の変更 73
SYSTEM データの名前の変更 73
SONG データの名前の変更 73

Delete(削除) 74

SETUP データの削除 74
SOUND データの削除 74
SYSTEM データの削除 74
SONG データの削除 74

Format(フォーマット) 75

付録

MIDI IN 情報の取扱い 76

セットアップのバンク / プログラム番号 76

内蔵音色一覧 77

Drum Rhythm リスト 83

USB-MIDI について 84

USB MIDI ドライバー 84
USB に関するご注意 84

USB メモリーの接続 85

故障かな？と思ったら・・・ 86

本体が発音しない 86
MIDI 音源が発音しない 86
音色が選べない 86
セットアップが選べない 86
フェーダーが効かない (音量が変らない) 86
コントロールノブが効かない 86
ホイールや、エクスプレッションが効かない 87
音が重なって発音される 87

MP6 仕様 88

MP6 MIDI Implementation 89

Contents 89

MIDI インプリメンテーションチャート 98

索引 99

ご使用前の準備

MP6 について

MP6 はレスポンシブハンマーアクション（RH Action）鍵盤を搭載した、本物のグランドピアノのタッチを追及したステージピアノです。厳選された 256 音色を内蔵し、ステージからスタジオまでさまざまな場面でその表現力を発揮します。

4 つのゾーン -INT / EXT セクション -

MP6 は、4 本のフェーダーに対応した 4 つのゾーンを持っています。
各ゾーンは、それぞれ INT（内蔵音源）と EXT（MIDI 出力)、2 つのセクションで構成されており、INT（内蔵音源)、EXT（MIDI 出力)、BOTH(内蔵音源 +MIDI 出力) の 3 つの状態を選ぶことができます。

INT モード (LED: 赤)

```
1 Concert Grand
```

鍵盤で演奏すると内蔵音源が発音します。発音された音は、OUTPUT やヘッドホンより出力されます。

EXT モード (LED: 緑)

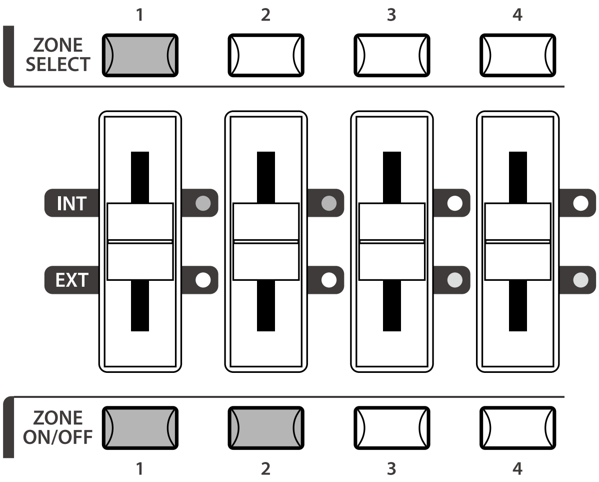
```
1
  001:000-000 01
```

鍵盤やパネル上での操作は、MIDI 情報として MIDI 端子や USB 端子より出力されます。MIDI 接続した外部音源を操作するためのモードで、内蔵音源は発音しません。

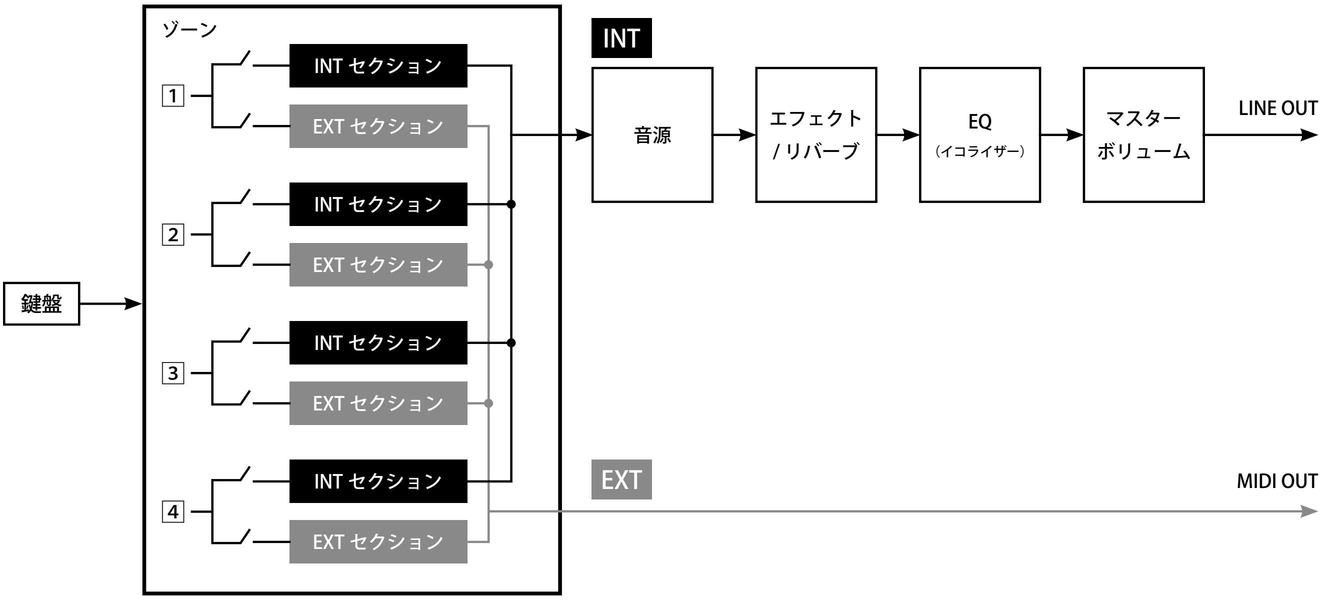
BOTH モード (LED：赤 + 緑)

```
1 Concert Grand
  001:000-000 01
```

内蔵音源の発音と、MIDI 出力の両方を行うモードです。内蔵音源が発音するとともに、MIDI 情報が MIDI 端子や USB 端子より出力されます。

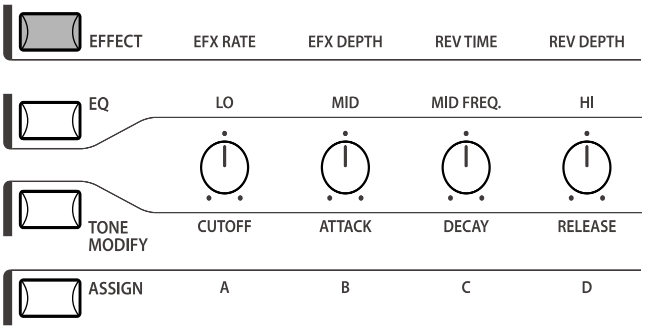


- 内部ブロックの概略 -



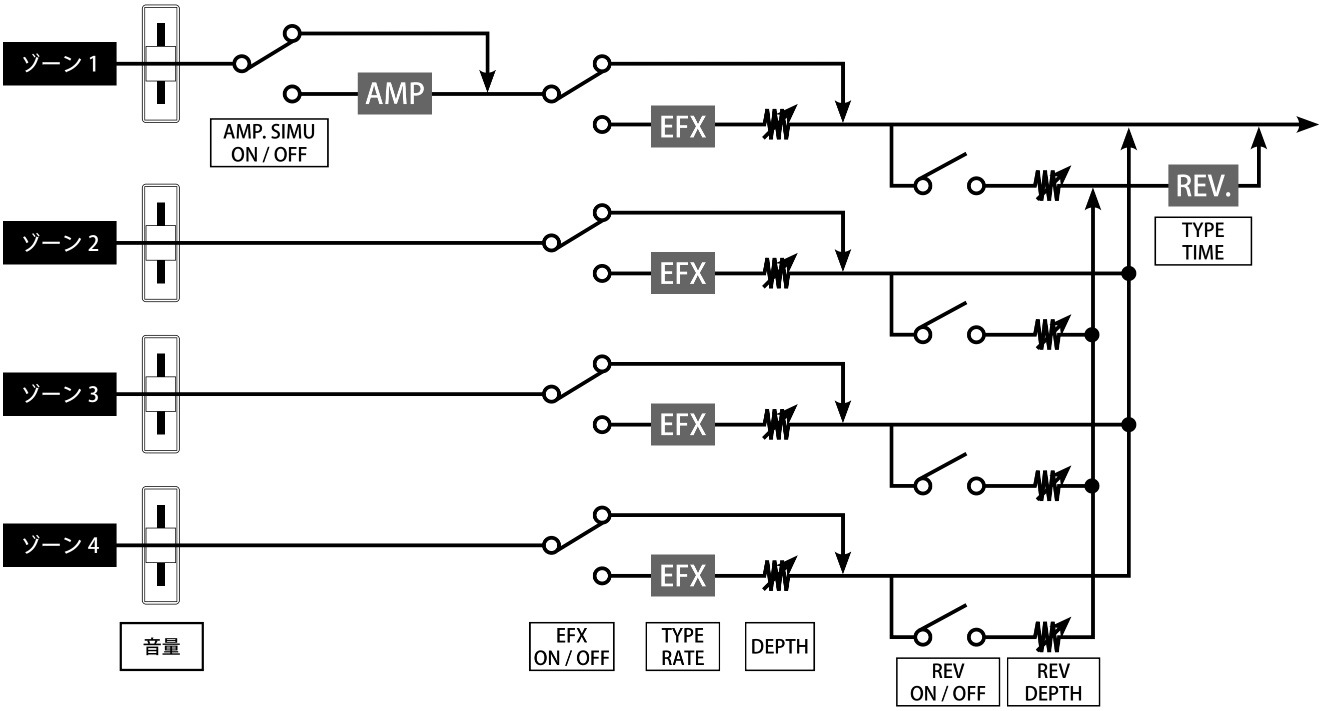
4 つのコントロールノブ

パネル上の 4 つのコントロールノブを使って、3 つの機能（エフェクト / EQ / トーンモディファイ）と、ASSIGN に割り当てたアンプシミュレーター、または MIDI コントロールチェンジの機能のパラメータを演奏中に自由にコントロールすることができます。



EFX（エフェクト）/ Reverb（リバーブ）

MP6 は 23 種類のエフェクトと 7 種類のリバーブを搭載しており、各ゾーンごとに異なるエフェクトをかけることができます。また、パネル上の 4 つのコントロールノブでエフェクト / リバーブのパラメータの値を変更することができます。



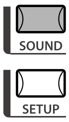
EFX	Type	1-4 ゾーン個別選択可能
	Rate	1-4 ゾーン個別設定可能
	Depth	1-4 ゾーン個別設定可能
REVERB	Type	1-4 ゾーン共通
	Time	1-4 ゾーン共通
	Depth	1-4 ゾーン個別設定可能

SOUND（サウンド）/ SETUP（セットアップ）

MP6 の音色選択ボタンは、[SOUND] ボタンと [SETUP] ボタンで 2 つのモードを切り替えることができます。

SOUND（サウンド）モード

各ゾーンの音色を、音色ボタンで直接選びます。単音色での演奏など、シンプルな演奏に適しています。

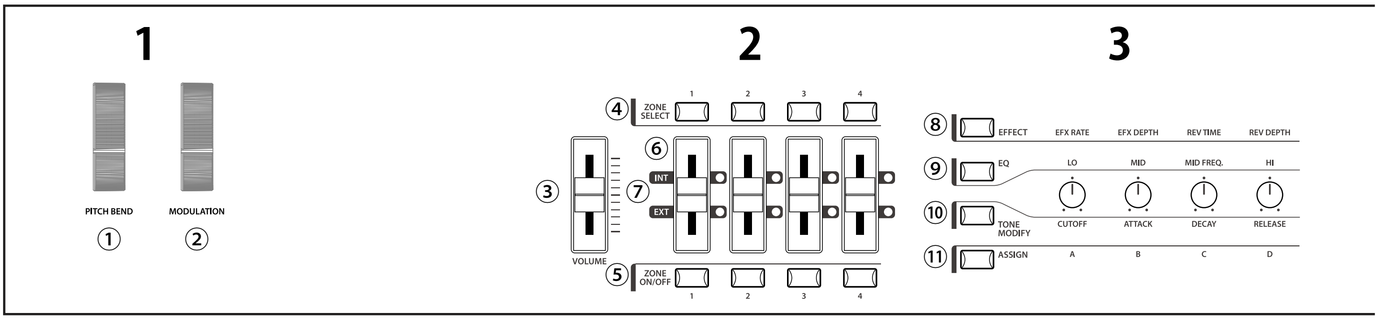


SETUP（セットアップ）モード

保存された設定状態（セットアップ）を、音色ボタンで呼び出して演奏します。演奏前に予め複数の設定を決めておきたい場合や、スプリットなどの設定が必要な場合に適しています。

各部の機能と働き

フロントパネル



1. ホイール

① PITCHBEND

このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変化します。

② MODULATION

ビブラートのかかり具合を調節することができます。

2. フェーダー部

③ VOLUME スライダー

全体のボリュームを調節します。

OUTPUT 出力、ヘッドホン出力に効きます。

④ ZONE SELECT ボタン

音色選択などの設定を行うゾーンを、4 つのゾーンから選びます。

このボタンで選んだゾーンの状態が、ディスプレイに表示されます。

また、このボタンを長押しすることにより、各ゾーンの発音範囲を鍵盤で指定することができます。(P. 22 参照)

BOTH(INT+EXT) モードの MENU 画面では、エディットする INT セクション / EXT セクションを切り換えをこのボタンで行います。(P. 40 参照)

⑤ ZONE ON/OFF ボタン

ゾーンを ON/OFF します。

このボタンを消灯させると、そのゾーンはミュートされます。

赤色に点灯しているボタンのゾーンは、全ての鍵盤が発音し、緑色に点灯しているボタンのゾーンは、一部の鍵盤が発音します。

発音範囲は、④ [ZONE SELECT] ボタンで確認することができます。

⑥フェーダー

各ゾーンのボリュームを設定します。

⑦ ZONE MODE インジケーター

各ゾーンの INT（赤）/ EXT（緑）/ BOTH（赤 + 緑）のゾーンモード設定を LED 表示します。

3. コントロールノブ部

4 つのコントロールノブは、左横の 4 つのボタンの項目の値を変更します。

点灯しているボタンの項目が有効になります。

⑧ EFFECT ボタン（P. 32 参照）

選ばれているゾーンの､エフェクトのレートとデプス / リバーブのタイムとデプスの値を調節します。

⑨ EQ ボタン（P. 35 参照）

内蔵音源のイコライジングの調整をします。

⑩ TONE MODIFY ボタン（P. 36 参照）

選ばれているゾーンの、カットオフ / アタック / ディケイ / リリースの値を設定します。

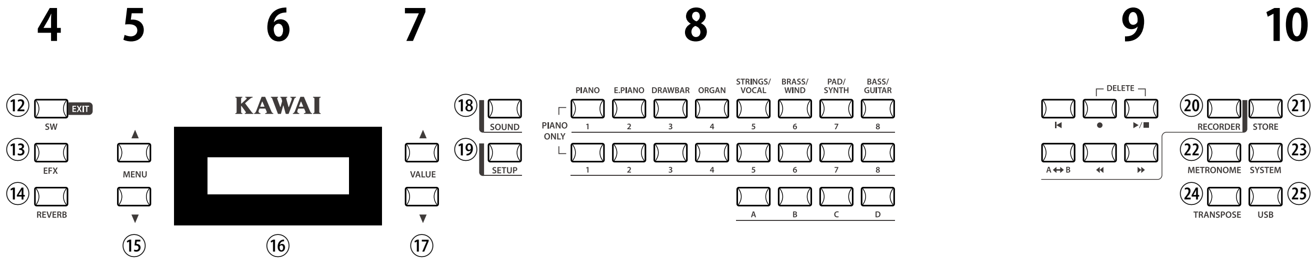
⑪ ASSIGN ボタン（P. 37 参照）

A~D のコントロールノブにアサインしたコントロールチェンジを MIDI 出力します。

一部のコントロールチェンジは、内蔵音源をコントロールできます。

コントロール・ナンバーは各ゾーン毎に設定可能です。

アンプシミュレータがオンのときはアンプシミュレータのパラメータを調整できます。



4. SW スイッチ / エフェクトスイッチ

⑫ SW / EXIT ボタン（P. 29 参照）

割り当てた機能をオン / オフします。工場出荷時はパネル・ロック機能が割り当てられています。

MENU 画面では EXIT ボタンとしてはたらきます。

⑬ EFX ボタン（P. 30 参照）

エフェクトのオン / オフを各ゾーンごとに行います。

⑭ REVERB ボタン（P. 31 参照）

リバーブのオン / オフを各ゾーンごとに行います。

これらのボタンは、長押しすると SW の機能や EFX / REVERB の種類を選ぶことができます。

5. メニュー

⑮ MENU ボタン（P. 39 参照）

各ゾーン毎に内蔵音源や MIDI 出力の細かな設定ができます。SYSTEM の設定項目も、このボタンで選びます。

6. ディスプレイ

⑯ディスプレイ

音色名や設定を表示します。購入時には保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

7. バリュー

⑰ VALUE ボタン

メニューで選択した項目の値を設定します。アップとダウンを同時押しすると、初期値に戻ります。

8. サウンド・セットアップ

⑱ SOUND ボタン（P. 19 参照）

このボタンの点灯中、音色ボタンで各ゾーンの音色を選びます。

⑲ SETUP ボタン（P 26 参照）

このボタンの点灯中、音色ボタンでセットアップを選びます。

9. レコーダーボタン

⑳ RECORDER コントロールボタン

RECORDER ボタンを押して、ソングレコーダーやオーディオレコーダー機能に入ります。

REC や PLAY 等のレコーダーコントロールボタンで、録音再生を行います。

レコーダーコントロールボタンの操作で、外部接続機器に MMC 情報を送ります。

10. その他

㉑ STORE ボタン（P. 59 参照）

各音色やゾーンの設定状態を、SETUP として本体内部に保存します。

また SOUND モードでは、各 SOUND の設定状態や電源オン時の COMMON パラメータの初期値を保存できます。

㉒ METRONOME（P. 27 参照）

メトロノームがスタート / ストップします。

音量を 0 にして、ボタンの点滅のみでテンポを確認することもできます。

㉓ SYSTEM ボタン（P. 62 参照）

本機の全体に係わる基本設定を行います。

㉔ TRANSPOSE ボタン（P. 28 参照）

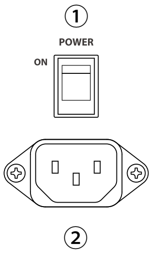
トランスポーズ（移調）をオン / オフします。

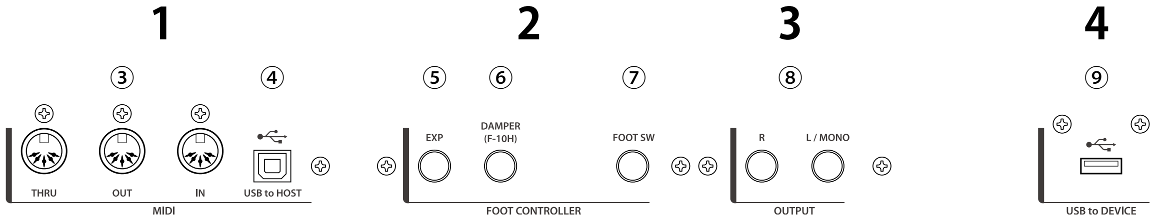
移調する値は、TRANSPOSE ボタンを押しながら鍵盤を押すか（C3=0）、VALUE ボタンで設定します。

㉕ USB ボタン

USB メモリーに、各種設定や、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USB メモリーのフォーマットを行うことができます。

リアパネル





① POWER ON / OFF
電源の ON / OFF を行います。

② AC IN
電源コードで AC100V のコンセントと接続します

1. MIDI

③ MIDI（IN / OUT / THRU）
MIDI 規格対応の機器と接続する端子です。市販の MIDI ケーブルをご使用ください。

④ USB to HOST PORT
市販の USB ケーブルでコンピュータと接続して、MIDI データをやりとりすることができます。
USB 端子には A 端子と B 端子があり、コンピュータは A 端子、電子ピアノは B 端子をそれぞれ接続します。

2. FOOT CONTROLLER

メニューでコントロールチェンジ番号や機能を割り当てて使用します。(P. 51, 52 参照)

⑤ EXP
市販のエクスプレッションペダルと接続します。電源オン時はエクスプレッションペダルとして機能します。

⑥ DAMPER（F-10H）
付属のフットペダル（F-10H）と接続します。
ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾くと、音に余韻が加わります。F-10H はハーフダンパー対応ですので、鍵盤を離した後の音の伸び方を踏み具合により調節できます。

⑦ FOOT SWITCH
フットペダル(例 KAWAI F-1 または F-20 など) と接続します。
2 本ペダルの F-20 を接続した場合、レフトペダルはソフトペダル / ソステヌートペダルのどちらかをメニューで選ぶことができます。(P. 52 参照)
エフェクトでロータリーが選択されている時は、ソフトペダルはロータリーエフェクトのスロー / ファーストを切り換えることができます。
メニューでコントロールチェンジ番号や機能を割り当てて使用します。(P. 51 参照)

3. OUTPUT

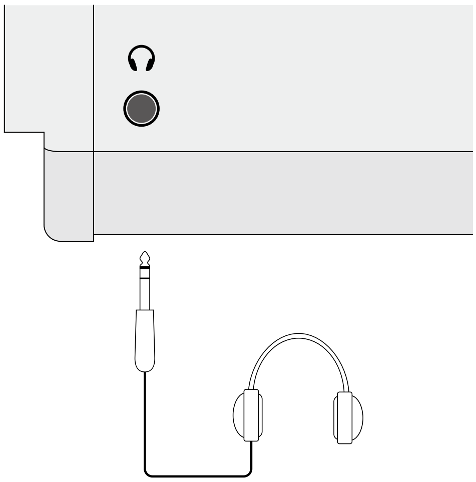
⑧ R , L / MONO
標準プラグを使って、本機と PA 機器やキーボードアンプを接続します。
L/MONO 端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

4. USB to DEVICE

⑨ USB to DEVICE PORT
市販の USB メモリーを接続することができます。

ヘッドホンジャック

ヘッドホン・ジャックは、本体前面口棒部分の左にあります。
ステレオ標準プラグのヘッドホンを使用して下さい。

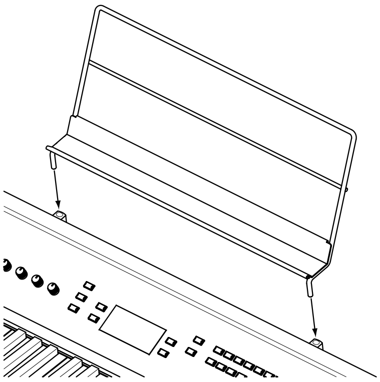


演奏前の準備

MP6 はステージ用ピアノです。コンサート会場の PA 機器やアンプなどに接続して演奏します。

譜面立てを立てる

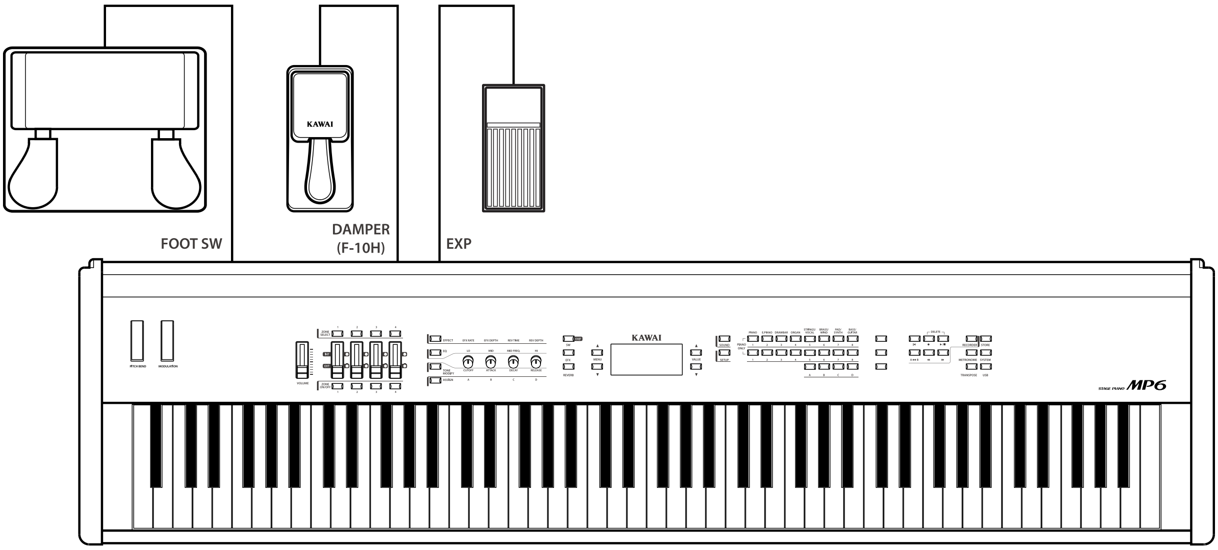
付属の譜面立てを MP6 本体上部の穴に差し込みます。



★本体に差し込む時、傷がつかないよう注意して下さい。
★無理やり譜面立てを引っ張ったり、後ろに押し倒さないで下さい。

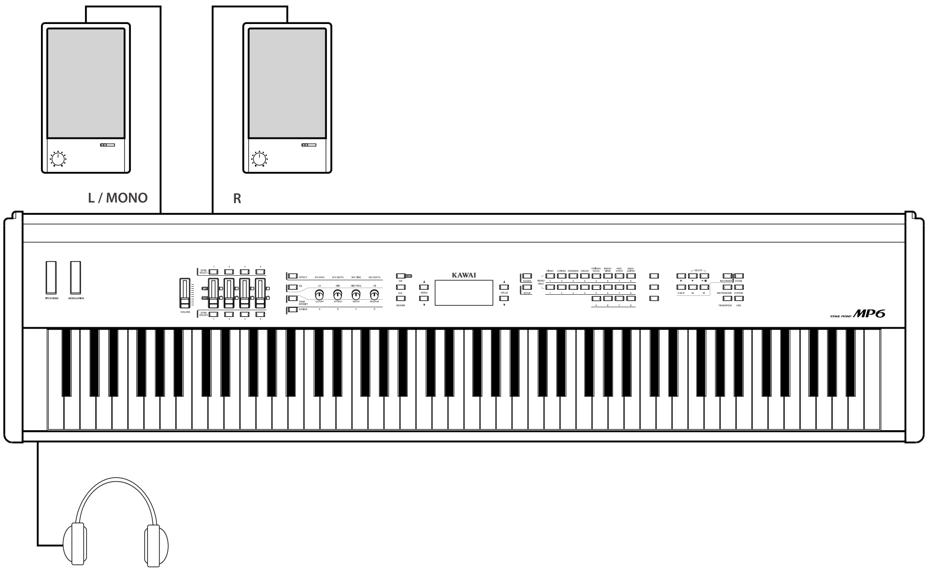
フットペダルを接続する

付属のダンパーペダル F-10H を [DAMPER] 端子に接続します。また、別売りのフットスイッチや市販のエクスプレッションペダルを、それぞれ [FOOT SW] 端子、[EXP] 端子に接続します。



キーボードアンプなどに接続する

PA 機器やキーボードアンプ（別売り）を、OUTPUT[R, L / MONO] 端子に接続します。または別売りのヘッドホンを本体前面左下のヘッドホンジャックに接続します。

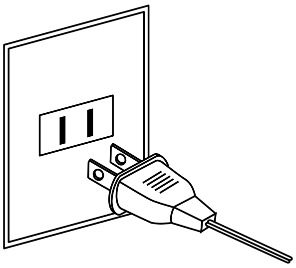


★ステレオ出力する場合は、右チャンネルを〔R〕端子、左チャンネルを〔L/MONO〕端子に接続してください。(P. 14 参照)
★ 2 系統のモノラル出力が必要な場合は、[SYSTEM] でアウトプットモード (P. 68 参照) を ″2 x Mono″ に設定してください。

電源を入れる

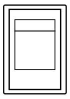
1. 付属の電源コードを [AC IN] 端子に接続する

付属の電源コードを MP6 本体の [AC IN] 端子に差し込み（P. 14 参照）、次にコンセントへ差し込みます。



2. 本体の電源を入れる

MP6 のリアパネル（背面）右側の電源スイッチをオンにします。音色ボタンなどが点灯し、初期表示の後ディスプレイに音色名が表示されます。



1 Concert Grand

3. キーボードアンプなどの電源を入れる

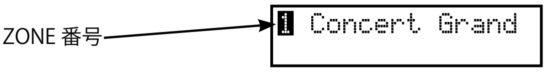
キーボードアンプなどの電源は必ず本製品の後に入れてください。

演奏ガイド

電源オン時は、”Concert Grand” 音色で演奏できます。（工場出荷時の状態 :P. 69 参照）
各フェーダー右の赤と緑の LED と [ZONE ON/OFF] ボタンが各ゾーンの状態を示し、電源オン時は次のようになっています。
ゾーン・モード（Int モード、Ext モード、Both モード）は [MENU] で変更することができます。(P. 42 参照)

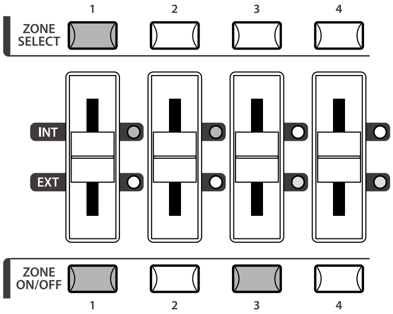
ゾーンの状態とディスプレイの表示例

ディスプレイの表示



ゾーンの状態

ZONE 1 ＝ INT モード	内部音源が発音
ZONE 3 ＝ EXT モード	外部音源へ MIDI 出力 （System Ch で送信）



弾いてみよう

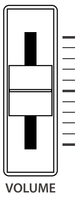
電源オンの状態でそのまま鍵盤を弾けば、ZONE1 が ”Concert Grand” 音色で鳴ります。

1. 演奏する

ZONE1 のフェーダーを最大、VOLUME スライダーを中央付近にセットして、鍵盤を弾いてみましょう。
”Concert Grand” の音が鳴ります。

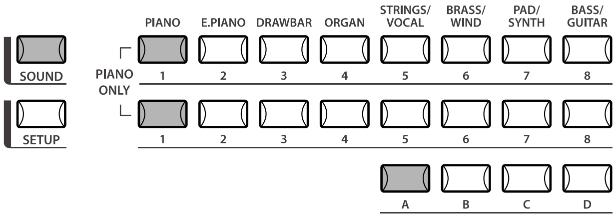
2. VOLUME スライダーで音量を調節する

上へ移動するほど音量が増します。



音色を選択する

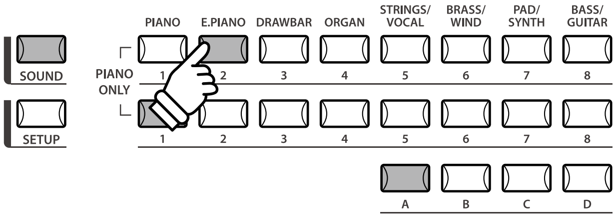
ここでは、工場出荷時の電源オンの状態で音色を選びます。（P. 69 参照）
ZONE1 の [ZONE SELECT] ボタンと [SOUND] ボタンが点灯していますので、３列の音色ボタンで ZONE1 の音色を選ぶことができます。



1 Concert Grand

1. 上列の音色ボタンを押して音色系列を選ぶ

音色ボタンは、上列がカテゴリー（音色系列）、中列と下列がバリエーションとなっています。
例えば「60’sEP2」を選びたい場合は、まず、上列の [E.PIANO] を選びます。
[E.PIANO] を選ぶと、E.PIANO の最初の音色「ClassicEP」が呼び出されます。

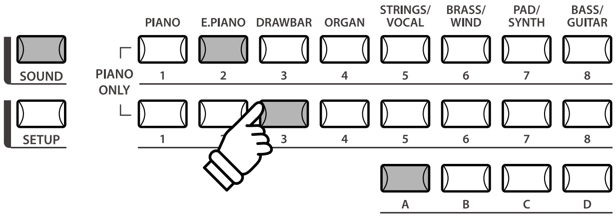


1 Classic EP

★一度バリエーションを選ぶと、前回選んでいた音色が呼び出されます。選んだバリエーションは電源を切るまで記憶しています。
★ Both(Int ＋ Ext) モードに設定されている場合は、音色を選択すると同時にプログラムチェンジが MIDI 出力されます。

2. 中列の音色ボタンを押してファーストバリエーションを選ぶ

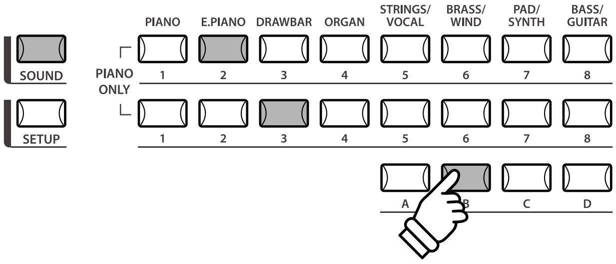
中列のバリエーション１～８のいずれかを選びます。
例えば [3] を選ぶと、バリエーション３の音色「60’s EP」が呼び出されます。
(一度バリエーションを選ぶと、前回選んでいた音色が呼び出されます。選んだバリエーションは電源を切るまで記憶しています。)



1 60’s EP

3. 下列の音色ボタンを押してセカンドバリエーションを選ぶ

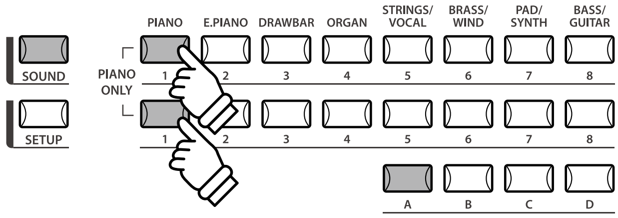
下列のバリエーション A ～ D のいずれかを選ぶことで、さらにバリエーションが選べます。
例えば [B] を選ぶと、60’sEP のバリエーション音色「60’s EP 2」が呼び出されます。



1 60’s EP 2

ピアノオンリー

音色ボタンの [PIANO] ボタンとバリエーションボタン [1] を同時に押さえることで、工場出荷時の電源オン時の状態 (P. 18 参照) へ戻ります。MP6 は、各ゾーンのパラメーターをさまざまに設定できますが、それらの設定が不要になった際には、この操作によりワンタッチでピアノ演奏へ復帰することできます。
全てのパラメーターがリセットされますので、セットアップを一から設定する場合にも便利です。



★ [STORE] ボタン (P. 59 参照）で保存していないと、それまでの設定は消えてしまいますのでご注意ください。

コントロールノブを調節してみよう

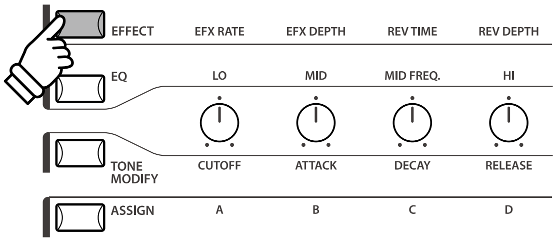
様々なパラメータを、４つのコントロールノブを使ってリアルタイムにコントロールすることができます。
電源オン時は ZONE 1 の [ZONE SELECT] が点灯していますので、ZONE 1 の音色を調整することができます。
詳細は、コントロールノブの章 (P. 32) を参照してください。

EFFECT をコントロールする

1. [EFFECT] ボタンを押して点灯させる

2. コントロールノブの一番右（REV DEPTH）を回す

右に回すと ZONE1 のリバーブが深めにかかり、左に回すと浅くかかります。

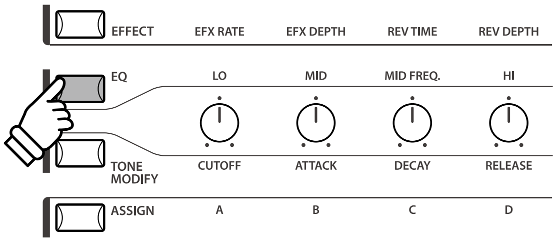


EQ をコントロールする

1. [EQ] ボタンを押して点灯させる

2. 左から二番目のコントロールノブ（MID）を回す

右に回すと出力全体の中音域が強調され、左に回すと中音域がカットされます。

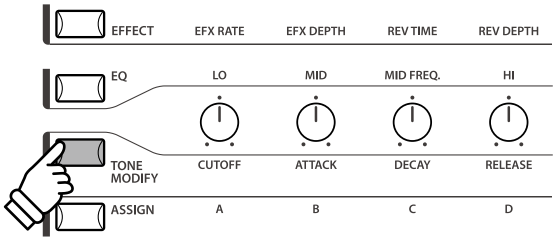


音色を変化（TONE MODIFY) させる

1. [TONE MODIFY] ボタンを押して点灯させる

2. コントロールノブの一番左（CUTOFF）を回す

右に回すと ZONE1 の音色が明るい音色になり、左に回すとソフトになります。

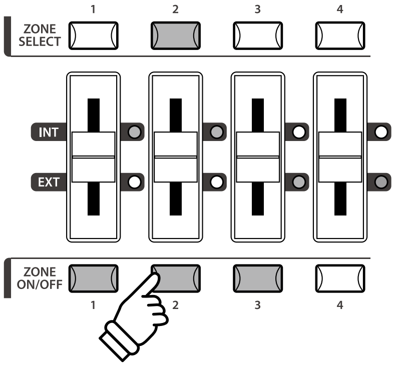


ゾーンを重ねて弾いてみよう（レイヤー演奏）

2 つ以上の音色を重ねて演奏することを、レイヤー演奏といいます。
電源オン時は ZONE 1のみ発音しています。ZONE 1に ZONE 2の音色を重ねて弾いてみましょう。

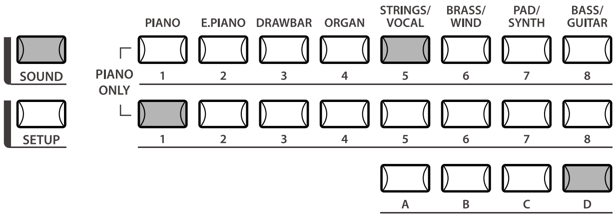
1. ZONE 2 の [ZONE ON / OFF] ボタンを押す

ZONE 2 の [ZONE ON / OFF] ボタンを押して点灯させてください。
ZONE 2 の [ZONE SELECT] ボタンが点灯し、ZONE 2の音色名が表示されます。
鍵盤を弾くと、ZONE 1 と 2 の音が重なって発音します。



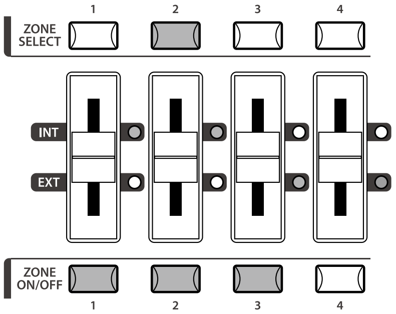
2. 音色を選ぶ

上列の音色ボタンで音色系列を選択し , 中列と下列の音色ボタンでバリエーションを選択します。
鍵盤を弾くと、ZONE 1 の音と ZONE 2 で選択した音が重なって発音します。



3. フェーダーを動かして音量のバランスを調節する

各ゾーンの音色の音量が変更できます。

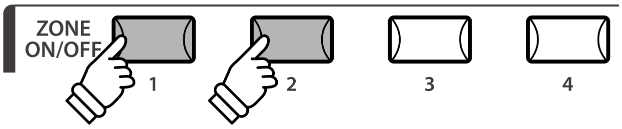


スプリット演奏

例えば、右手でピアノ / 左手でベースなど、鍵盤を分割して右手と左手それぞれの音色で演奏することをスプリット演奏といいます。
ZONE1 を左手用、ZONE2 を右手用に設定して演奏してみましょう。

1. ZONE 1 と 2 をオンする

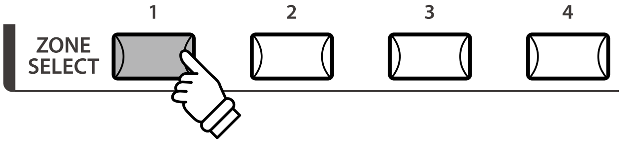
ZONE 1 /2 の [ZONE ON / OFF] ボタンを点灯させます。



2. ZONE 1 の KeyRange（発音範囲）を設定する

ZONE 1 の [ZONE SELECT] ボタンを数秒押さえます。
現在の ZONE1 の発音範囲が表示されます。
上列に INT セクション (内蔵音源) の発音範囲、下列に EXT セクション (MIDI 出力) の発音範囲が表示されます。

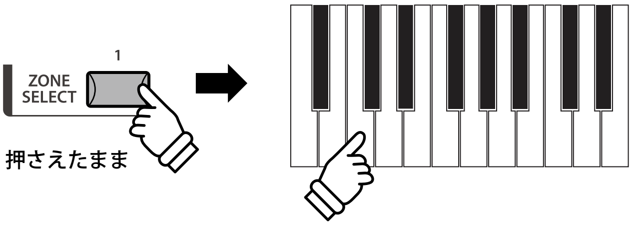
```
1Key   IA-1 >C7
 RangeEA-1 >C7
```



3. ZONE 1 の発音範囲の最低鍵を指定する

[ZONE SELECT] ボタンを押さえたまま左手の最低鍵を押さえます。
ZONE1 の発音範囲の最低鍵が指定されます。
INT、EXT セクション両方が同時に指定されます。

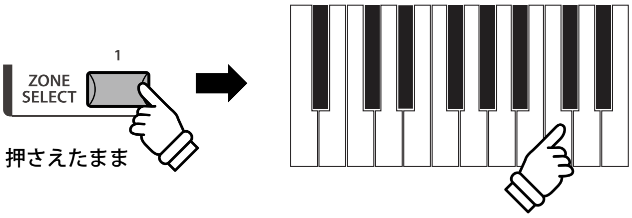
```
1KeyRange(Both)
= A-1   > -----
```



4. ZONE 1 の発音範囲の最高鍵を指定する

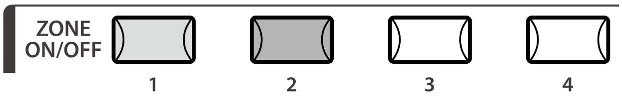
[ZONE SELECT] ボタンを押さえたまま左手の最高鍵を押さえます。

```
1KeyRange(Both)
= A-1   > B2
```



5. ZONE1 の発音範囲を確定する

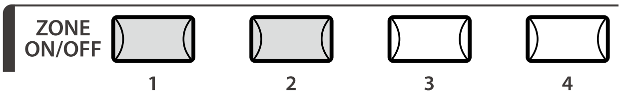
[ZONE SELECT] ボタンを離すと ZONE 1 の発音範囲が確定します。
発音範囲が制限された ZONE の [ZONE ON / OFF] ボタンは緑色に点灯します。



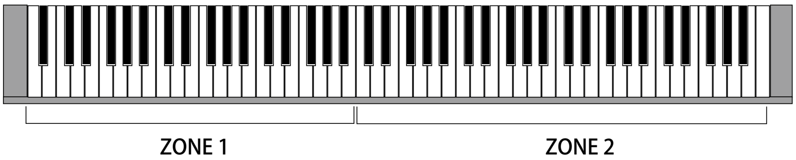
6. ZONE 2 の Key Range（発音範囲）を設定する

ZONE 1 と同様の手順で、ZONE 2 を右手の発音範囲に設定します。

設定後も、各 [ZONE SELECT] ボタンを数秒押すことで各 ZONE の発音範囲を確認できます。




```
2Key   1C 3> C 7
 Range2C 3> C 7
```

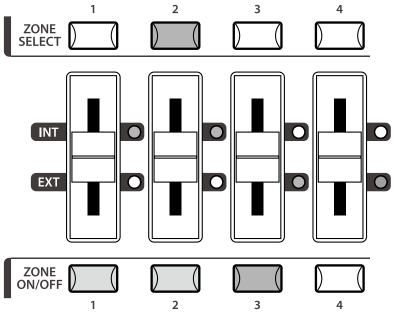


★ Both モードの時は、[MENU] の Key Range 設定で、INT、EXT セクションの発音範囲をそれぞれ設定することができます。(P. 40, 48 参照)

7. 音色を選んで演奏する

好みの音色を選び、フェーダーを動かして音量のバランスを調節します。

[ZONE SELECT] ボタンで選択するゾーンを指定して , 各ゾーンの音色を選びます。



外部音源を鳴らして演奏する

MIDI 接続した外部音源を鳴らして演奏してみましょう。
本機で鍵盤・コントロールノブを操作すると、接続した外部音源へ MIDI 情報が送られます。
ここでは工場出荷状態で電源オン時について説明します。この場合 ZONE3 が MIDI 出力されています。

MP6 と外部音源を MIDI 接続する

1. MIDI 接続する

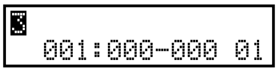
本機の MIDI OUT と外部音源の MIDI IN とを MIDI ケーブルで接続します。
または、パソコンの USB 端子と本機の USB 端子を接続します。
接続方法は P. 14、USB については P. 84 を参照してください。
また、パソコンや外部シーケンサーの設定については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧下さい。

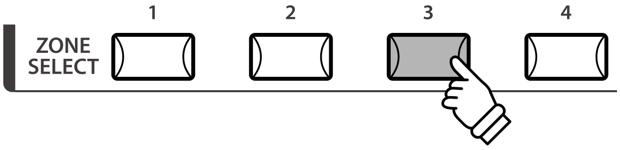
MIDI チャンネルを合わせる

MIDI 情報をやり取りする際は、まず本機と外部機器の MIDI チャンネルを合わせる必要があります。

2. ZONE 3 の [ZONE SELECT] ボタンを押して点灯させる

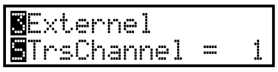
ZONE 3 の MIDI Ch, と送信済みのバンク No.（MSB / LSB）とプログラム No. が表示されます。

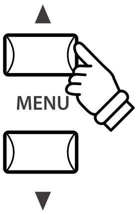




3. 送信 MIDI チャンネル設定画面を選択する

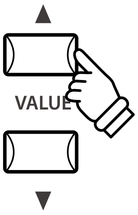
[MENU ▲] ボタンを押して、送信 MIDI チャンネル設定画面を選択します。
[MENU ▲] ボタンを数回押していくと送信 MIDI チャンネル設定画面が表示されます。





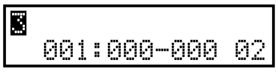
4. MIDI チャンネルの値を設定する

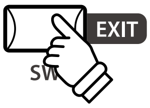
[VALUE] ボタンを押して MIDI チャンネルの値を設定します。
1 ～ 16 の間で値を設定します。
例えば、外部機器が 2 チャンネルで受信する場合は、送信チャンネルを 2 に設定してください。



5. [SW / EXIT] ボタンを押して MENU を抜ける

送信チャンネルの設定を終了し、鍵盤を弾いて演奏します。



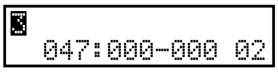


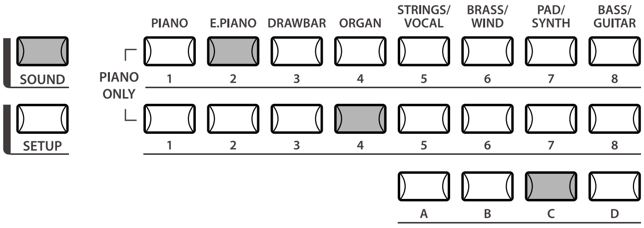
外部音源の音色を変更する

音色ボタンを押すと、EXT セクション (MIDI 出力) からは、プログラムチェンジが送信されます。
３列の音色ボタンにより、バンクナンバー 0~1 とプログラムナンバー 1~128 番を送信することができます。

6. 音色ボタンを押して、上列 1 〜 8 と中列 1 〜 8 、下列 A 〜 D を選ぶ

例えば、上列 [2]、中列 [4]、下列 [C] のボタンを点灯させせると、バンク 0 とプログラムナンバー 47 番が送信されます。
音色ボタンを押す度に、プログラムナンバーが送信され、LCD には送信されたプログラムナンバーが表示されます。





★プログラムチェンジ送信は、VALUE ボタンで行うこともできます。
★送信されるバンクと、プログラムナンバーは下記の通りです。

上列ボタン	中列ボタン	下列ボタン	PROG# : MSB-LSB
1	1	A	001 : 000 - 000
		B	002 : 000 - 000
		C	003 : 000 - 000
		D	004 : 000 - 000
	2	A~D	005 : 000 - 000 〜 008 : 000 - 000
	3	A~D	009 : 000 - 000 〜 012 : 000 - 000
	4	A~D	013 : 000 - 000 〜 016 : 000 - 000
	5	A~D	017 : 000 - 000 〜 020 : 000 - 000
	6	A~D	021 : 000 - 000 〜 024 : 000 - 000
	7	A~D	025 : 000 - 000 〜 028 : 000 - 000
	8	A~D	029 : 000 - 000 〜 032 : 000 - 000
2	1~8	A~D	033 : 000 - 000 〜 064 : 000 - 000
3	1~8	A~D	065 : 000 - 000 〜 096 : 000 - 000
4	1~8	A~D	097 : 000 - 000 〜 128 : 000 - 000
5	1~8	A~D	001 : 000 - 001 〜 032 : 000 - 001
6	1~8	A~D	033 : 000 - 001 〜 064 : 000 - 001
7	1~8	A~D	065 : 000 - 001 〜 096 : 000 - 001
8	1~8	A~D	097 : 000 - 001 〜 128 : 000 - 001

★詳細は P. 76 〜 P. 82 を参照してください。

SETUP（セットアップ）の選択

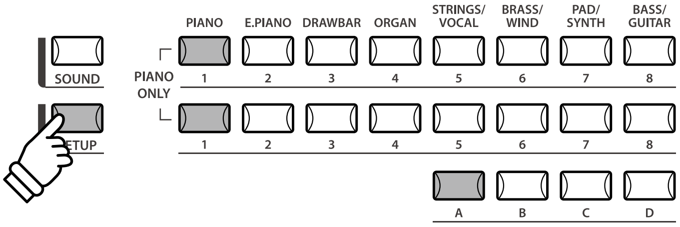
[SETUP] ボタンが点灯している時は、３列の音色ボタンでセットアップを選択できます。工場出荷時には、各カテゴリー毎にあらかじめセットアップの設定例がプリセットされていますので、ここではこれらのセットアップを呼び出してみましょう。

★セットアップには、音色、MIDI チャンネル、レイヤー / スプリット、コントロールノブ等の設定を保存することができます。セットアップの保存 (ストア）については、P. 60 を参照してください。

1. [SETUP] ボタンを押して点灯させる

ディスプレイに、現在選ばれているセットアップ名が表示され、そのセットアップが呼び出されます。

```
GrandPno1+Str1
```

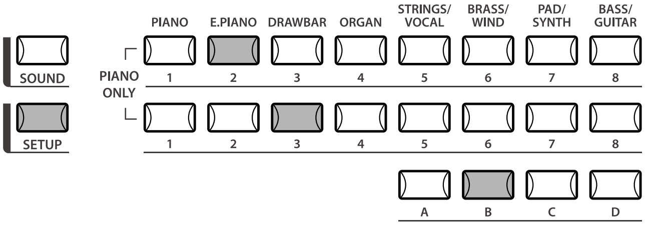


★本機は、サウンド / セットアップ選択を切り換えた後も、それぞれ切り換え時の設定状態を保持しています。
例えば、セットアップ選択へ切り換えた後にサウンド選択へ戻ると、前のサウンド選択の時の設定状態が再び呼び出されます。

2. 音色ボタンを押して、上列 1 ~ 8 と中列 1 ~ 8 、下列 A ~ D を選ぶ

上列 [2]、中列 [3]、下列 [B] のボタンを点灯させると、2-3-B のセットアップが呼び出されます。

```
60's meet 80's
```



★セットアップの選択は、[VALUE] ボタンで行うこともできます。

セットアップで設定された各ゾーンの音色の確認方法

セットアップの設定内容は、後述の [MENU](P. 39 参照) で確認できますが、各ゾーンの [ZONE SELECT] ボタンを押すことで、各ゾーンの使用音色、プログラム No. を確認できます。

3. 確認したいゾーンの [ZONE SELECT] ボタンを押す

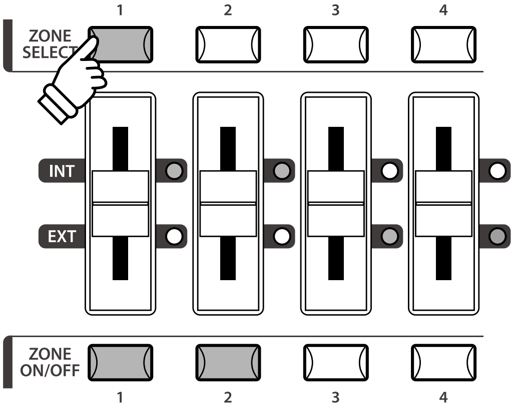
ディスプレイに、そのゾーンの音色名またはプログラム No. が表示されます。

```
1 Concert Grand
```

数秒後、自動的に現在選ばれているセットアップ名表示に戻ります。

```
GrandPno1+Str1
```

コントロールノブ、フェーダー等は、[ZONE SELECT] ボタンを押したゾーンに対して効きます。



METRONOME（メトロノーム）

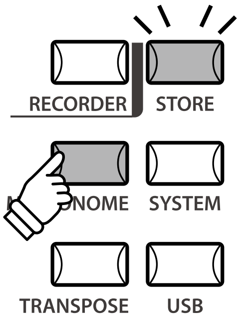
メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。
通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス / ロック / バラード / ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

メトロノームをスタート / ストップする

[METRONOME] ボタンを押す

[STORE] ボタンと [SYSTEM] ボタンが交互に点灯し、クリックがスタートします。
[MENU] ボタンで、テンポ表示 / メトロノームパターン表示 / メトロノーム音量表示を切り替えることができます。

```
4/4
Metro Volume =10
```



メトロノームのテンポを調節する

[MENU] ボタンでディスプレイにテンポを表示させ、[VALUE] ボタンでテンポを調節します。

```
1/4
         ♩=120
```

30 ～ 300 の間で調節できます。

メトロノームのパターンを変える

[MENU] ボタンで、ディスプレイにパターンを表示させ、[VALUE] ボタンで、メトロノームのパターンを変えます。

```
    Pattern
1/4
```

メトロノーム音	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8,12/8
ドラム音（リズムメトロノーム）	P. 83 参照

メトロノームの音量を調節する

[MENU] ボタンで、ディスプレイにメトロノームの音量を表示させ、[VALUE] ボタンで、音量を調節します。

```
1/4
Metro Volume =10
```

0 ～ 10 の間で調節できます。

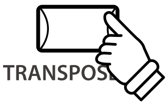
TRANSPOSE（トランスポーズ）

トランスポーズ機能を使って、本機全体の音程を -24 ～ 0 ～ +24（4 オクターブの範囲）まで半音単位で変更することができます。各ゾーンごとに設定したい場合は、[MENU] のゾーントランスポーズを設定してください。(P. 49 参照)

1. [TRANSPOSE] ボタンを押さえる

[TRANSPOSE] ボタンを押している間、ディスプレイに値が表示されます。

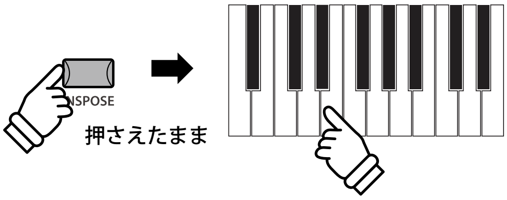
```
MASTER TRANS
     0
```

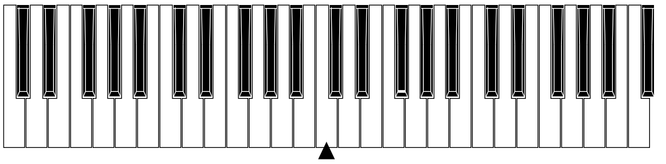


2. [TRANSPOSE] ボタンを押さえたまま鍵盤を押す

C3 の鍵盤を 0 とし、４オクターブの範囲で移調できます。
鍵盤を押すと、ディスプレイにトランプポーズ値が表示されます。
値を０以外に設定すると、[TRANSPOSE] ボタンが点灯します。

```
MASTER TRANS
    +10
```





★ VALUE ボタンで値を設定することもできます。

3. [TRANSPOSE] ボタンを離す

トランスポーズの設定を終了します。

★点灯している [TRANSPOSE] ボタンを押して消灯させれば、ワンタッチでトランスポーズ設定を０の状態に戻すことができます。
設定したトランスポーズ値は自動的に保存されますので、消灯している [TRANSPOSE] ボタンを押して再び点灯させれば、操作２で設定した値をワンタッチで呼び出すことができます。

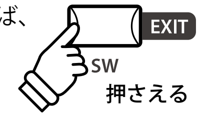
SW ボタン

ボタンに割り当てた機能を、リアルタイムにオンオフしたり値を変えたりすることができます。
演奏中の誤操作を防ぐためのパネル・ロック、EQ バイパス等の機能を選ぶことができ、割り当てた機能は各セットアップと電源オン時の設定に記憶しておくことができます。(P. 60, 61 参照)
[MENU] のエディット中は、[EXIT] ボタンとして働きます。(P. 41 参照)

機能を [SW] ボタンに割り当てる

1. [SW] ボタンを数秒押さえる

現在の割り当てられている機能が表示されます。再度押せば、設定画面から抜けます。




```
SW TYPE/COMMON
 1:Panel Lock
```

2. [VALUE] ボタンを押して機能を選択する

設定後、数秒で設定画面から抜けます。
設定画面を抜けると、ボタンのオン・オフ（点灯・消灯) は初期状態になります。

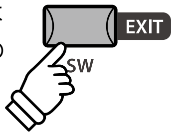
No.	機能	内容
1	Panel Lock（パネル・ロック）	鍵盤・ペダル・ホイール、全体のボリューム以外の、一切のパネル操作を効かなくすることができます。
2	Touch Curve（タッチカーブ）	オルガン音色で演奏する場合など、タッチカーブをオフにして、ベロシティを効かなくすることができます。
3	Rotary Speed（ロータリー・スピード）	ロータリー・エフェクトにスロー / ファースト切り替えをスイッチで行うことができます。
4	EQ Bypass（EQ バイパス）	コントロールノブの 3 バンド EQ をバイパスすることができます。
5	Wheel Lock（ホイール・ロック）	ベンダー、モジュレーションのホイールの値を固定し、ホイールを効かなくすることができます。
6	FSW Lock（フットスイッチ・ロック）	現在の値を固定し、フットスイッチを効かなくすることができます。
7	EXP Lock（エクスプレッションペダル・ロック）	現在の値を固定し、エクスプレッションペダルを効かなくすることができます。
8	Amp simulator(アンプシミュレーター)	アンプシミュレーター のオン／オフを切り替えることができます。

機能のオン / オフ

[SW] ボタンを点灯・消灯させることで、割り当てた機能をオンオフすることができます。
例えばパネル・ロックを割り当てた場合、[SW] ボタンで鍵盤・ペダル・ホイール以外のパネル操作をロックできます。

1. [SW] ボタンを押して点灯させる

PanelLock(パネル・ロック) が選ばれている時は、下記のように表示され鍵盤・ペダル・ホイールと [SW] ボタン以外の全てのパネル操作がロックされます。




```
 Panel Lock
     On
```

2. [SW] ボタンを押して消灯させる

ロック機能を解除します。

EFX / REVERB（エフェクト / リバーブ）

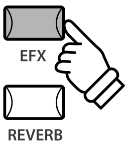
本機は高品位な EFX（エフェクト）と REVERB（リバーブ）を内蔵しており、内蔵音色にはあらかじめ推奨の効果が割り当てられています。[EFX] ボタン、[REVERB] ボタンで、効果のオンオフと種類の変更を行うことができます。エフェクトは、ゾーンごとに系統が用意されていますので、各ゾーンに異なったエフェクトをかけることができます。エフェクト / リバーブのパラメータの調整については、コントロールノブの章 (P. 32) を参照してください。

EFX（エフェクト）

エフェクトのオン / オフ

[EFX] ボタンを押して点灯させる

音色にエフェクトがかかります。
再度押して消灯させると、エフェクトを切ることができます。
但し、エフェクトデプス (P.32 参照) がゼロの時は点灯が点滅となり、効果がかからないことを示します。



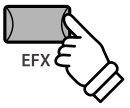
EFX Type（エフェクト タイプ）の変更

［設定値：Chorus / Flanger / Celeste / Ensemble / Delay 1 , 2 , 3 , 4 / Auto Pan 1 , 2 , 3 / Tremolo 1 , 2 , 3, 4 / Phaser1 , 2 / Rotary 1 , 2 / Auto Wah / Pedal Wah / Enhancer / Over drive］

1. [EFX] ボタンを数秒押さえる

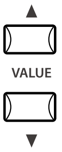
現在選ばれているゾーンのエフェクトタイプが表示されます。再度押せば、設定画面から抜けます。

```
1  EFX TYPE
18: Rotary 1
```



2. [VALUE] ボタンを押してタイプを設定する

設定後、数秒で設定画面から抜けます。23 種類のエフェクトを内蔵しています。



23 種類のエフェクトを内蔵しています。

No.	エフェクトタイプ	内容
1	Chorus（コーラス）	元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
2	Flanger（フランジャー）	ダイレクト音にピッチ（音程）が微妙にずれた音を加えて、ジェット機上昇降下音のようなフランジング効果のシミュレートです。
3	Celeste（セレステ）	3 相のコーラスです。コーラスをさらに柔かにした効果です。
4	Ensemble（アンサンブル）	セレステよりも複雑な変調を加えた効果です。
5 ～ 8	Delay1 / 2 / 3 / 4（ディレイ 1 / 2 / 3 / 4）	元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
9 ～ 11	Auto Pan 1 / 2 / 3（オートパン 1 / 2 / 3）	音を左右に振ります。AutoPan 3 は、2 に歪みを加えた効果です。
12 ～ 15	Tremolo 1 / 2 / 3 / 4（トレモロ 1 / 2 / 3 / 4）	音量を連続的に変化させ音に揺れを与えます。Tremolo3 は、2 に歪みを加えた効果です。
16 ～ 17	Phaser 1 / 2（フェイザー 1 / 2）	位相変調を行い音にうねりを与えます。

No.	エフェクトタイプ	内容
18 ～ 19	Rotary 1 / 2（ロータリー 1 / 2）	回転スピーカーの効果のシミュレートです。Rotary 2 は、1 に歪みを加えた効果です。
20	Auto Wah（オートワウ）	音量（タッチ）に応じて、フィルターのピークを移動させる効果です。
21	Pedal Wah（ペダルワウ）	エクスプレションペダルで、フィルターのピークを移動させる効果です。
22	Enhancer（エンハンサー）	音の輪郭を補正して、音を際立たせる効果です。
23	Overdrive（オーバードライブ）	音を歪ませます。

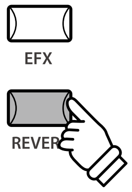
★タイプを変更すると､デプス（EfD）とレート（EfR）の値（P.30 参照）が､自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。内蔵音源にのみ有効です。
★他のゾーンのエフェクトを変更したい場合は、選びたいゾーンの [ZONE SELECT] ボタンを押してください。

REVERB（リバーブ）

リバーブのオン / オフ

[REVERB] ボタンを押して点灯させる

音色にリバーブが加わります。
再度押して消灯させると、リバーブ効果を切ることができます。
ただし、リバーブデプス（P. 33 参照）がゼロの時は点灯が点滅となり、効果がかからないことを示します。



REV Type（リバーブ タイプ）の変更

［設定値：Hall 1 / Hall 2 / Stage 1 / Stage 2 / Room 1 / Room 2 / Plate］

1. [REVERB] ボタンを数秒押さえる

リバーブタイプが表示されます。再度押せば設定画面から抜けます。

```
 REVERB TYPE
1 :Hall 1
```

2. [VALUE] ボタンを押してタイプを設定する

設定後、数秒で設定画面から抜けます。
リバーブとは音に響きを与える効果です。7 種類のリバーブから選択できます。

No.	リバーブタイプ	内容
1	Hall 1（ホール 1）	スタンダードなホールでの残響音をシミュレートしています。
2	Hall 2（ホール 2）	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
3	Stage 1（ステージ 1）	スタンダードなステージでの残響音をシミュレートしています。
4	Stage 2（ステージ 2）	小さなステージでの残響音をシミュレートしています。
5	Room 1（ルーム 1）	スタンダードな室内での残響音をシミュレートしています。
6	Room 2（ルーム 2）	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
7	Plate（プレート）	金属板リバーブをシミュレートしています。

★タイプを変更すると、リバーブタイム（RvT）の値（P .33 参照）が、自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。内蔵音源にのみ有効です。

コントロールノブ

パネル上にレイアウトされた４つのコントロールノブは、[EFFECT]、[EQ]、[TONE MODIFY] の 3 種類の機能と、[ASSIGN] に割り当てられるアンプシミュレータ又は MIDI コントロールチェンジの機能をワンタッチで選ぶことができ、演奏中の迅速なパラメータ変更を可能にします。
また、４つのコントロールノブで変更したパラメータは、SOUND(サウンド) や SETUP(セットアップ) に保存することができます。（P. 59 [STORE] 参照）

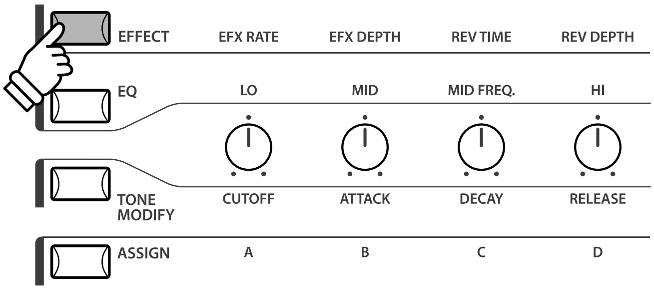
EFX/REVERB（エフェクト / リバーブ）

コントロールノブを使ってそれぞれのエフェクトの値を設定する

1. [EFFECT] ボタンを押して点灯させる

４つのコントロールノブが、エフェクト設定機能に変わります。
EFX RATE、EFX DEPTH の２つのコントロールノブを使い、エフェクトのパラメータを変更します。

```
1EfR EfD RvT RvD
  41  64  96 127
```



EfR [EFX RATE]（0 ～ 127）
レートは、エフェクトの種類によって内容が異なります。

EfD [EFX DEPTH]（0 ～ 127）
エフェクトのかかり具合を設定します。

2. コントロールノブを回して値を調節する

エフェクトの種類によって、下記のパラメータが変更されます。
右に回すと値が大きくなり、左に回すと値が小さくなります。

No.	エフェクトタイプ	EfR	EfD
1	CHORUS	rate 0 ～ 12.7Hz	dry / wet
2	FLANGER	rate 0 ～ 12.7Hz	dry / wet
3	CELESTE	rate 0 ～ 12.7Hz	dry / wet
4	ENSEMBLE	rate 0 ～ 12.7Hz	dry / wet
5 ～ 8	DELAY1-4	delay time 0 ～ 127	wet level
9 ～ 11	AUTO PAN1-3	rate 0 ～ 12.7Hz	Depth
12 ～ 15	TREMOLO1-4	rate 0 ～ 12.7Hz	Depth
16 ～ 17	PHASER1-2	rate 0 ～ 12.7Hz	dry / wet
18	ROTARY1	slow/fast	dry / wet
19	ROTARY2	slow/fast	drive
20	AUTO WAH	sense 0 ～ 127	dry / wet
21	PEDAL WAH	sense 0 ～ 127	dry / wet
22	ENHANCER	intensity 0 ～ 127	wet level
23	OVERDRIVE	drive 0 ～ 127	dry / wet

★ EXT セクションは EFX DEPTH のみ有効です、コントロールチェンジ 94 番を各ゾーン別に送信します。但し、[EFX] ボタン (P. 30 参照) が消灯している間は送信されません。
★ Both モードのエディット中は、INT、EXT どちらかのセクションに効きます。下列左端に I 又は E が表示され、INT、EXT どちらのコントロールノブ操作かを示します。(P. 40 参照)

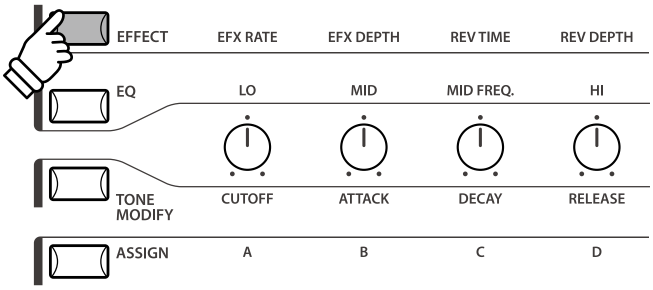
```
1EfR EfD RvT RvD
I 41  64  96 127
```

コントロールノブを使ってそれぞれのリバーブの値を設定する

1. [EFFECT] ボタンを押して点灯させる

4 つのコントロールノブが、エフェクト設定機能に変わります。
[ZONE SELECT] で選ばれているゾーンに対して、エフェクトのパラメータを変更します。
ここでは、REV TIME、REV DEPTH の 2 つのコントロールノブを使います。

```
1EfR EfD RvT RvD
  41  64  96 127
```



RvT [REV TIME]（0 ～ 127）

リバーブタイムを設定します。

RvD [REV DEPTH]（0 ～ 127）

リバーブデプスを設定します。

2. コントロールノブを回して値を調節する

リバーブの種類によって、下記のパラメータが変更されます。
右に回すと値が大きくなり、左に回すと浅くかかります。

No.	リバーブタイプ	RvT	RvD
1	HALL 1	rev.time 0.3 ～ 8.0 S	send level
2	HALL 2	rev.time 0.3 ～ 8.0 S	send level
3	STAGE 1	rev.time 0.3 ～ 5.0 S	send level
4	STAGE 2	rev.time 0.3 ～ 5.0 S	send level
5	ROOM 1	rev.time 0.3 ～ 3.0 S	send level
6	ROOM 2	rev.time 0.3 ～ 3.0 S	send level
7	PLATE	rev.time 0.3 ～ 3.0 S	send level

★ EXT セクションは REV DEPTH のみ有効です。コントロールチェンジ 91 番を各ゾーン別に送信します。但し、[REVERB] ボタン（P. 31 参照）が消灯している間は送信されません。
★ Both モードのエディット中は、INT、EXT どちらかのセクションに効きます。上列左端に I 又は E が表示され、INT、EXT どちらのコントロールノブ操作かを示します。(P. 40 参照)

リバーブ・オフセットの値を設定する

使用する場所などに合わせて一時的に MP6 全体のリバーブ量を調整したい場合には、リバーブ・オフセットを調整します。
この値はシステム全体に効きますので、既に本機に保存されているセットアップを変更することなく、全体のリバーブ量を調整することができます。

1. [EFFECT] ボタンを数秒押さえる

システムのリバーブ・オフセット (P. 64 参照) の設定状態になります。

```
  Rev.Offset
          100%
```

2. [REV DEPTH] コントロールノブを回して、REV DEPTH のオフセット値を調節する

0-100% の間で、REV DEPTH コントロールノブの効き具合を調節できます。

3. 再度 [EFFECT] ボタンを押して、設定状態から抜ける

変更した値は自動的に内部に保存されます。

EQ（イコライザー）

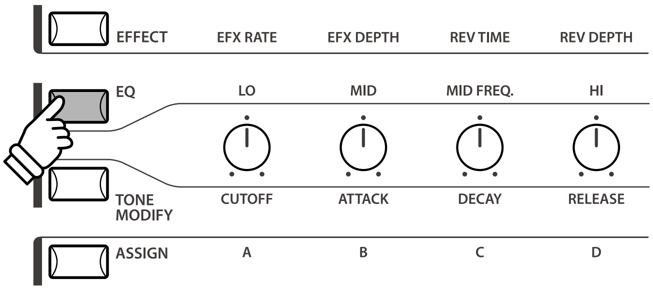
パネルのコントロールノブを使って、出力全体のイコライジングの調整ができます。

1. [EQ] ボタンを押して点灯させる

4 つのコントロールノブが、イコライジング機能に変わります。

```
 Lo Mid MFrq Hi
+9  -9 1000  +9
```

Low / Mid / High は、-9 ～ 0 ～ +9(dB) の範囲で値を設定できます。
Mid Frequency は 355H z ～ 2500Hz の範囲で値を設定でき、Mid コントロールノブの EQ 調整の周波数を変更します。



2. コントロールノブを回して値を調節する

それぞれ低 / 中 / 高の周波数をブースト / カットします。

★ EQ は出力全体に効きますので、[ZONE SELECT] は関係ありません。
★ EQ は INT(内蔵音源) のみに有効です。

EQ オフセットの値を設定する

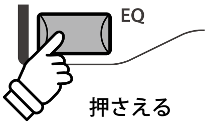
使用する場所などに合わせて一時的に本機全体の EQ の設定を調整したい場合には、EQ オフセットを調整します。
この値はシステム全体に効きますので、既に MP6 に保存されているセットアップを変更することなく、全体の EQ 値を調整することができます。

1. [EQ] ボタンを数秒押さえる

システムの EQ オフセット (P. 64 参照) の設定状態になります。

```
    EQ Offset
+0  -1       +9
```

-9 ～ 0 ～ +9(dB) の範囲で値を設定できます。



★ EQ Offset=Off に設定されている場合は、EQ オフセット設定状態にはなりません。[SYSTEM] で、EQ Offset=On に設定してください。（P. 64）

2. コントロールノブを回して、EQ のオフセット値を調節する

LO / MID / HI のそれぞれの EQ コントロールノブがブースト / カットされます。
この値はシステム全体に効きます。

★ブースト / カットの効果の最大値は± 9dB です。オフセット値と EQ コントロールノブの合計が± 9dB を超える場合、それ以上効果は変わりません。
例えば、EQ Offset Mid Hi= ＋ 9dB のように設定すると EQ コントロールノブでそれ以上ブーストすることはできなくなりますのでご注意ください。

3. 再度 [EQ] ボタンを押して、設定状態から抜ける

変更した値は自動的に内部に保存されます。

TONE MODIFY（トーン モディファイ）

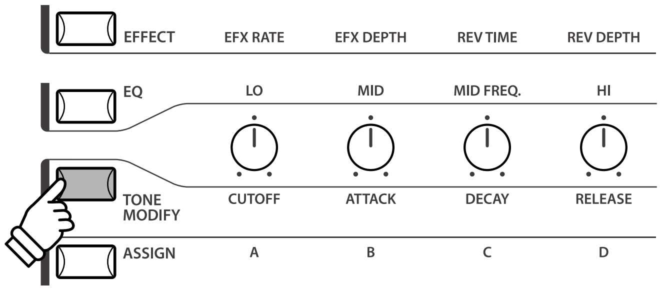
パネルのコントロールノブを使って、音質を変えることができます。

1. [TONE MODIFY] ボタンを押して点灯させる

4 つのコントロールノブが、TONE MODIFY 設定機能に変わります。

```
ICUT ATK DCY RLS
 +50 -50 +40 -20
```

-50 ～ 0 ～ +50 の範囲で値を設定できます。



2. コントロールノブを回して値を調節する

CUTOFF / ATTACK / DECAY / RELEASE 値が変更されます。
右に回すと値が大きくなり、左に回すと値が小さくなります。

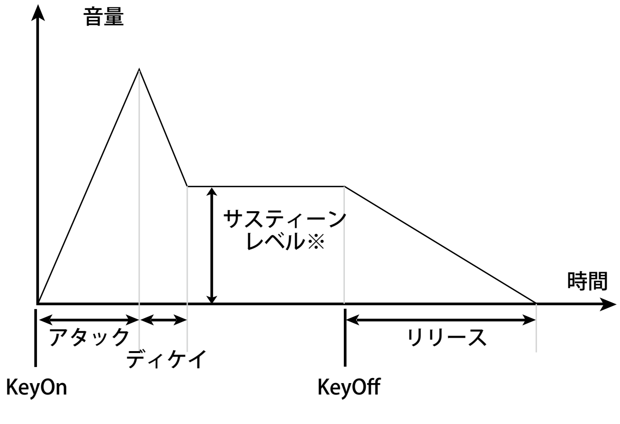
CUTOFF（カットオフ）	カットオフの値を上げると音色が明るめになります。
ATTACK（アタック）	音の立ち上がりの時間を設定します。
DECAY（ディケイ）	アタック後サスティーンのレベルまでの音量が下がる時間を設定します。
RELEASE（リリース）	鍵盤を放してから、音が消えるまでの時間を設定します。

★音色によっては、効果が現われない場合があります。

★ Both モードのエディット中は、INT、EXT どちらかのセクションに効きます。下列左端に I または E が表示され、INT、EXT どちらのノブ操作かを示します。(P. 40 参照)

```
ICUT ATK DCY RLS
E+50 -50 +40 -20
```

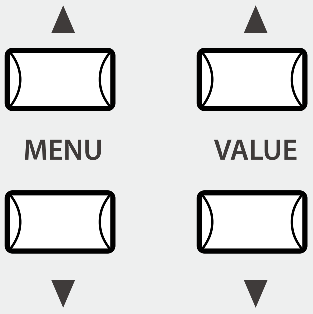
★鍵盤を弾いて、発音した後の時間と音量の関係は右図のようになります。
※サスティーン・レベルは、ASSIGN ノブで変更することができます。(P. 38 参照)



MENU ボタンと VALUE ボタンについて

[MENU] ボタンと [VALUE] ボタンを使ってコントロールノブの値を変更することもできます。
コントロールノブ設定機能のパラメータ表示中は、次の操作が可能です。
[MENU] ボタン：　カーソルの移動▲ (右)、▼ (左)
[VALUE] ボタン：　値の設定▲ (＋)、▼ (ー)

★ [VALUE] の▲ UP ボタンと▼ DOWN ボタンを同時押しすると、ワンタッチで初期値に戻ることができます。



ASSIGN (アサイン)

ASSIGN ボタンを使い、コントロールノブで、アンプシミュレーターのパラメーターを調整したり、MIDI コントロールチェンジナンバー（MIDI CC#）を送信したりすることができます。

アンプシミュレーター ＝ On	コントロールノブでアンプシュミレーターのパラメーターを調整できます。
アンプシミュレーター ＝ Off	コントロールノブで MIDI CC# を送信できます。

Amp Simulator (アンプシミュレーター)

アンプシミュレーターが On の場合、[ASSIGN] ボタンを押すと、コントロールノブでアンプシミュレーターのパラメーターを調整できます。
（アンプシミュレーターは、Zone 1 のみに有効です）

```
Drv Lvl  Lo  Hi
  0 127   0   0
```

アンプシミュレーターの詳細に関しては、P. 45 を参照してください。

Drv	アンプシミュレータードライブ
Lvl	アンプシミュレーターレベル
Lo	アンプシミュレーター EQ Lo
Hi	アンプシミュレーター EQ Hi

MIDI CC# (MIDI コントロールチェンジナンバー)

アンプシミュレーターが Off の場合、[ASSIGN] ボタンを押すと、コントロールノブで MIDI コントロールチェンジナンバー（MIDI CC#）を送信することができます。

```
1PAN STN VbR VbD
   0   0   0   0
```

```
3010 070 076 077
  64  64  64  64
```

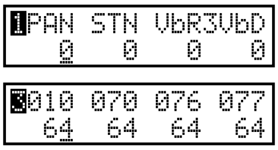
また、内蔵音源が対応しているコントロールチェンジに関しては、内蔵音色を変化させることができます。

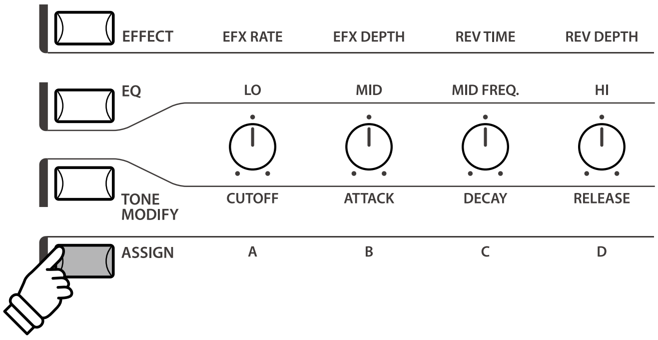
MIDI CC#（コントロールチェンジ）

A～Dのコントロールノブを使ってコントロールチェンジを送信する

1. [ASSIGN] ボタンを押して点灯させる

4 つのコントロールノブが、コントロールチェンジの値の設定機能に変わります。
INT,BOTH のゾーンは、INT セクションに有効なパラメータが機能名で表示されます。





電源オンの状態でのアサインされているコントロールチェンジのパラメータは、次の通りです。

A	10 パンポット (PAN)
B	70 サスティーン・レベル (STN)
C	76 ビブラート・レイト (VbR)
D	77 ビブラート・デプス (VbD)

2. コントロールノブを回して、アサインされているコントロールチェンジの値を変更する

★ Both モードのエディット中は、INT、EXT どちらかのセクションに効きます。下列左端に I または E が表示され、INT、EXT どちらのコントロールノブ操作かを示します。(P. 40 参照)

A～Dのコントロールノブに割り当てられたコントロールチェンジ番号を変更する

1. [ASSIGN] ボタンを数秒押さえる

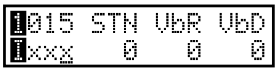
コントロールチェンジの番号、種類にカーソルが移動し、コントロールチェンジ番号の選択状態になります。

2. コントロールノブを回して、アサインするコントロールチェンジを選ぶ

VALUE ボタンで値の変更を行うこともできます。ゾーンモードが INT の場合、有効なパラメータのみ選択できます。

CC#	Function	表示
10	Panpot	PAN
70	Sustain Level	STN
71	Resonance	RSN
76	Vibrate Rate	VbR
77	Vibrate Depth	VbD
78	Vibrate Delay	VbY
93	Chorus Depth	ChD

★ [MENU](P. 39 参照）で、選択されたゾーンが Both モードに設定され、INT セクションのエディットを行う場合、内蔵音源に無効なパラメータについては ”xxx” と表示されます。



メニューボタン

[MENU] では、各ゾーンごとに内蔵音源や MIDI 出力の細かい設定ができます。設定できる内容は、次のとおりです。

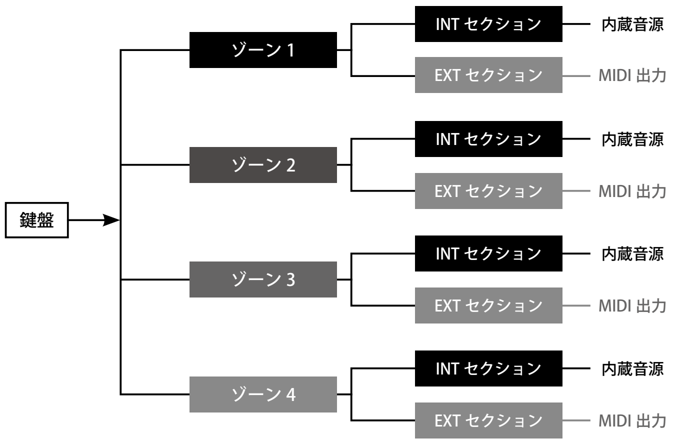
Zone parameters (Int)	Zone parameters (Ext)	Common parameters
Zone Mode	Zone Mode	Stretch Tuning
Sound Selection	Trs Channel (Ext only)	Temperament
Damper Resonance (Int Piano only)	Trs PRG# (Ext only)	Key of Temperament
String Resonance (Int Piano only)	Trs Bank Select MSB LSB (Ext only)	Tuning C-B
KeyOff Effect (Int Piano only)	Keyboard On / Off (Ext only)	Footswitch CC#
Voicing (Int Piano only)	Velocity Dynamics	Expression Pedal CC#
KeyOff Noise (Int EP only)	Solo On/Off	M.Wheel CC#
KeyOff Delay (Int EP only)	Solo mode	Left Pedal Mode
Tone Wheel Registration (ZONE1 Int Tone Wheel only)	Damper Pedal On/Off/Hold	Master Volume
Tone Wheel Percussion (ZONE1 Int Tone Wheel only)	Footswitch On/Off	
Tone Wheel Percussion Level (ZONE1 Int Tone Wheel only)	Expression Pedal On/Off	
Tone Wheel Percussion Decay (ZONE1 Int Tone Wheel only)	Modulation On/Off	
Tone Wheel Percussion Harmonics (ZONE1 Int Tone Wheel only)	Bender On/Off	
Key Click Level (Drawbar Organ only)	Bender Range	
EFX Type	Key Range Hi/Lo	
EFX parameter	Velocity Switch On/Off	
Amp Simulator On/Off (ZONE1 Int only)	Velocity Switch Value	
Amp Simulator Drive (ZONE1 Int only)	Zone Transpose	
Amp Simulator Level (ZONE1 Int only)	Volume	
Amp Simulator EQ Hi/Lo (ZONE1 Int only)	Pan	
Velocity Dynamics	Fine Tune	
Solo		
Solo Mode		
Damper		
Foot Switch		
Expression Pedal		
Modulation		
Bender		
Bender Range		
Key Range Hi/Lo		
Velocity Switch		
Velocity Switch Value		
Zone Transpose		
Volume		
Pan		
Fine Tune		

★設定した内容は、[STORE] ボタン (P. 59 参照) で本体に保存することができます。
★保存作業を行わないと、新たなセットアップ選択や電源オフで , それまでの設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。

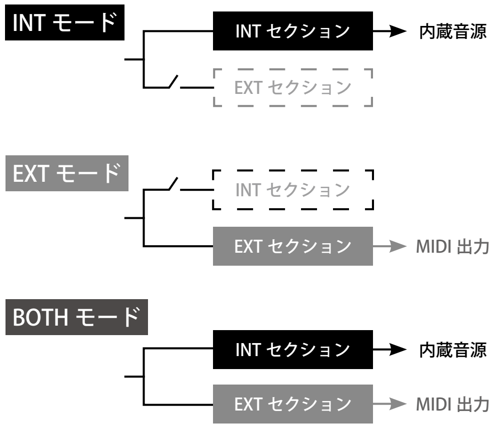
Int セクションと Ext セクション

セットアップは 4 つのゾーンで構成されています。
ゾーンには Int と Ext、2 つのセクションがあり、Int、Ext、Both(Int+Ext) の 3 つのゾーン・モードが選べます。

セットアップの構成　- 4 ゾーン / 8 セクション -



ゾーンの状態（ゾーンモード）

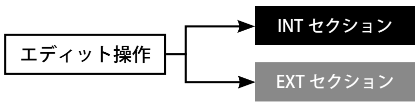


Both モードのゾーンのエディットについて

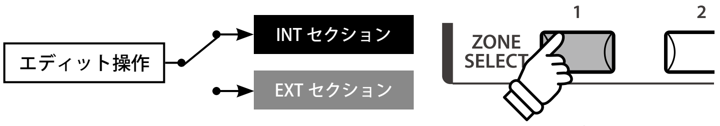
Both モードのゾーンは､通常の演奏とメニュー設定中の演奏でエディットの動作が異なります。メニューでは､ダンパーペダル等特定の情報を MIDI 出力させないようにする、MIDI 出力のみオクターブシフトする等、詳細な設定が可能です。

コントロールノブやスライダーなどを使ったエディット	INT、EXT セクションを同時にコントロールします。
[MENU] ボタンによるエディット	INT、EXT セクションを個別にエディットします。点灯している [ZONE SELECT] ボタンを押す度に、INT、EXT のセクションが交互に切り換わります。

コントロールノブやスライダーなどを使ったエディット



[MENU] ボタンによるエディット



[ZONE SELECT] ボタンによる切換

SOUND モードでのエディット

SOUND(サウンド) モードからエディットを始めた場合は、SOUND、POWER ON、SETUP の 3 つの保存先が選べます。(P.46 参照)

SOUND	[ZONE SELECT] ボタンで選択されているゾーンの Int Section Parameter を 256 の各 SOUND に保存できます。[S] マークが表示されているパラメータは保存されません。
POWER ON	現在の演奏状態を電源オン時の設定として保存できます。[S] マークが表示されているパラメータは保存されません。
SETUP	全ての設定を SETUP として保存できます。SETUP(セットアップ) モードで保存した設定を呼び出すことができます。

SETUP モードでのエディット

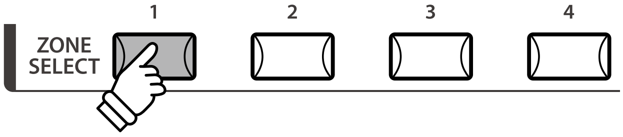
SETUP(セットアップ) モードからエディットを始めた場合は、SETUP が保存先となります。(P. 60 参照)

基本操作

メニューで各項目を設定する際の共通操作を説明します。

1. [ZONE SELECT] ボタンで設定するゾーンを選ぶ

エディット中、[ZONE SELECT] ボタンを押すことにより、設定するゾーンを変更できます。
Both モードのゾーンでは、点灯している [ZONE SELECT] ボタンを押す度に、INT、EXT のセクションが交互に切り換わります。(P. 40 参照)



2. [MENU] ボタンで設定項目を選ぶ

[SETUP] 点灯時に MENU 画面へ入ると、音色ボタンは [SOUND] 選択へと変わります

3. [VALUE] ボタンで値を設定する

各項目の値を設定します。

4. エディットを終了する

下記のそれぞれの方法で、エディットを終了してください。

a. 保存する

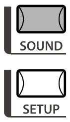
[STORE] ボタンで保存します。（P. 59 参照）

b. EXIT する

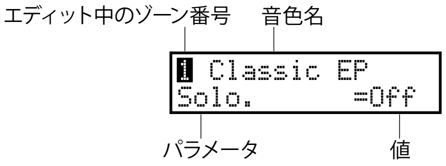
[SW / EXIT] ボタンを押すと、設定した内容を維持したまま、SOUND モードの演奏状態へ移ります。
注：EXIT 後、保存作業を行わないと他のセットアップ選択や電源オフで、それまでの設定内容は消えてしまいます。

c. キャンセルする

[SOUND] ボタンか [SETUP] ボタンを押すと、設定した内容をキャンセルして、それぞれの演奏状態へ戻ります。



エディットメニューの LCD 画面



Section Parameter（セクション パラメータ）

ここでは、メニューで設定するそれぞれの項目のうち、セクションごと（INT セクション / EXT セクション）に設定するものについて説明します。

Zone Mode（ゾーン・モード）

［設定値：Int / Ext / Both］

```
1 Concert Grand
SZone Mode =Both
```

各ゾーンには Int（内蔵音源）と Ext（MIDI 出力）の２つのセクションがあり、Int / Ext / Both（内蔵音源 +MIDI 出力）の３つの状態を選べます。これをゾーン・モードと呼びます。４本のフェーダーの右側の、赤（Int）と緑（Ext）の２個の LED が、各ゾーンのゾーンモードを表示します。
メニューでは、ゾーンモードに応じたセクションをエディットします。
ゾーンモードが Both の時、[ZONE SELECT] ボタンを押す度に、エディットするセクション（Int / Ext）が交互に切り換わります。

Sound Select（音色選択）〈INT のみ〉

［設定値：内蔵 256 音色］

```
1Internal Sound
= Concert Grand
```

内蔵音源の音色を選びます。

Damper Resonance（ダンパーレゾナンス）〈INT / ピアノ音色のみ〉

［設定値：Off , 1 ～ 10］

```
1 Concert Grand
Damper Reso.= 1
```

ダンパーペダルを踏んだときの弦の共鳴効果を好みに合わせて変更します。

★グランドピアノ音色以外を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。
★工場出荷時は、下記の音色のダンパーレゾナンスがオン（値＝ 5）に設定されています。
Concert Grand / Studio Grand / Mellow Grand / Jazz Grand
Concert Grand2 / Studio Grand2 / Mellow Grand2 / Jazz Grand2
★複数のゾーンにピアノ音色を選択している場合は、フェーダーの値が一番大きいゾーンに効果がかかります。

String Resonance（ストリングレゾナンス）〈INT / ピアノ音色のみ〉

［設定値：Off , 1 ～ 10］

```
1 Concert Grand
String Reso.= 1
```

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）の音量を好みに合わせて変更します。

ストリングレゾナンスとは

ピアノは各鍵盤ごとに弦が張られており、ある鍵盤を押さえた状態で弦を弾くと、２つの鍵盤の音程によって弦同士が共鳴します。これをストリングレゾナンスと呼びます。弦が共鳴しあうことで、グランドピアノの豊かな響きが生まれます。

★グランドピアノ音色以外を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。
★複数のゾーンにピアノ音色を選択している場合は、フェーダーの値が一番大きいゾーンに効果がかかります。

Key Off Effect（キーオフエフェクト）〈INT / ピアノ音色のみ〉

［設定値：Off , 1 ～ 10］

```
1 Concert Grand
Keyoff Effect= 1
```

特に低音で、ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

★グランドピアノ音色以外を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。
★複数のゾーンにピアノ音色を選択している場合は、フェーダーの値が一番大きいゾーンに効果がかかります。

Voicing（ボイシング）〈INT / ピアノ音色のみ〉

［設定値：Normal / Mellow 1 / Mellow 2 / Dynamic / Bright 1 / Bright 2］

```
1 Concert Grand
Voicing = Normal
```

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の 6 種類の中より選べます。

Nomal（ノーマル）	通常の設定です。
Mellow1 / 2（メロー 1/2）	柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。
Dynamic（ダイナミック）	ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright1 / 2（ブライト 1/2）	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。

★ピアノ音色以外を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

Key Off Noise（キーオフノイズ）〈INT / EP 音色のみ〉

［設定値：Off、1 ～ 10］

```
1 Classic EP
KeyOffNoise = 10
```

[VALUE] ボタンで、ビンテージエレピの鍵盤を離した時に鳴る独特の音をシミュレートします。

Key Off Delay（キーオフディレイ）〈INT / EP 音色のみ〉

［設定値：0 ～ 127］

```
1 Classic EP
KeyOffDelay = 10
```

[VALUE] ボタンで、ビンテージエレピの鍵盤を離した時に鳴る独特の音の発音タイミングを調整します。

Tone Wheel Registration（トーンホイールレジストレーション）〈ZONE1 / INT / Tone Wheel 音色のみ〉

［設定値：各 0 ～ 8］

トーンホイールオルガンのドローバーの設定をします。

```
1 TW Jazz1     →
Enter RegistMode
```

[VALUE ▲] ボタンで、設定モードにはいります。

```
Jazz1
      888444200
```

[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ドローバーの値を設定をします。
[SW / EXIT] ボタンで、設定モードから戻ります。

★ Drawbar - 6 - A ～ Drawbar -8 - D に割り当てられた、12 音色が Tone Wheel 音色です。
それ以外の音色を選択している時は、この機能は表示されません。

Tone Wheel Percussion（トーンホイールパーカッション）〈ZONE1 / INT / Tone Wheel 音色のみ〉

［設定値：On / Off］

```
1 TW Jazz1
Percussion = On
```

[VALUE] ボタンで、トーンホイールオルガンのパーカッション音色の On/Off を設定します。

Tone Wheel Percussion Level（トーンホイールパーカッションレベル）〈ZONE1 / INT / Tone Wheel 音色のみ〉

［設定値：Normal / Soft］

```
1 TW Jazz1
PercsLevel =Soft
```

[VALUE] ボタンで、トーンホイールオルガンのパーカッション音色の音量を設定します。

Tone Wheel Percussion Decay（トーンホイールパーカッションディケイ）〈ZONE1 / INT / Tone Wheel 音色のみ〉

［設定値：Fast / Slow］

```
1 TW Jazz1
PercsDecay =Fast
```

[VALUE] ボタンで、トーンホイールオルガンのパーカッション音色の減衰スピードを設定します。

Tone Wheel Percussion Harmonics（トーンホイールパーカッションハーモニクス）〈ZONE1 / INT / Tone Wheel 音色のみ〉

［設定値：2nd / 3rd］

```
1 TW Jazz1
PercsHarmon= 2nd
```

[VALUE] ボタンで、トーンホイールオルガンのパーカッション音色のハーモニクスを設定します。
（2nd は、4' のドローバー、3rd は 2-2/3' のドローバーと同じ音程です。）

Key click Level（キークリックレベル）〈ZONE1 / INT / Drawbar Organ 音色のみ〉

［設定値：Off、1 ～ 127］

```
1 TW Jazz1
KeyClickLvl= 100
```

[VALUE] ボタンで、ドローバーオルガンのキークリックの音量を設定します。

EFX TYPE（エフェクトタイプ）

［設定値：Chorus, Flanger, Celeste, Ensemble, Delay 1/2/3/4, AutoPan 1/2/3, Tremolo 1/2/3/4, Phaser 1/2, Rotary 1/2, Auto Wah, Pedal Wah, Enhancer, Overdrive (P. 30 参照)］

```
1 Concert Grand
EfxType=Chorus
```

[VALUE] ボタンで、選択しているゾーンのエフェクトタイプを設定します。

EFX Parameter（エフェクトパラメーター）

［設定値：P. 32, ～ P. 33 参照)］

```
1 Concert Grand
Wet Level   = 40
```

[VALUE] ボタンで、エフェクトのパラメータ (EFX Depth と EFX Rate) を設定します。
EFX Depth には、エフェクトタイプにより、Dry / Wet (wet balance) , wet level, depth, drive があります。
EFX Rate には、エフェクトタイプにより、rate, delay time, Slow/Fast, sense, intensity, drive があります。

Amp Simulator On/Off（アンプシミュレーター On/Off）(ゾーン１ / INT のみ)

［設定値：On / Off］

```
1 Concert Grand
Amp Simu   =Off
```

アンプシミュレーターは、典型的なアンプとスピーカーの組み合わせによるオーバードライブ特性をシミュレートします。

[VALUE] ボタンで、アンプシミュレーターの On/Off を設定します。

★ [ASSIGN] ボタンを On にすると、アンプシミュレータードライブ、アンプシミュレーターレベル、アンプシミュレーター EQ Hi/Lo をコントロールノブでも設定できます。

Amp Simulator Drive（アンプシミュレータードライブ）(ゾーン１ / INT のみ)

［設定値：0 〜 127］

```
1 Concert Grand
Amp Drive  =  0
```

[VALUE] ボタンで、アンプシミュレーターのゲインレベルを設定します。

Amp Simulator Level（アンプシミュレーターレベル）(ゾーン１ / INT のみ)

［設定値：0 〜 127］

```
1 Concert Grand
Amp Level  = 90
```

[VALUE] ボタンで、アンプシミュレーターの音量レベルを設定します。

Amp Simulator EQ Hi/Lo（アンプシミュレーター EQ ハイ / ロー）(ゾーン１ / INT のみ)

［設定値：0 〜 127(Lo), 0 〜 127(Hi)］

```
1 Concert Grand
Amp EQ Lo  = 64
```

<AMP EQ Lo>

[VALUE] ボタンで、アンプシミュレーターの低い周波数域の音量補正を設定します。

```
1 Concert Grand
Amp EQ Hi  = 64
```

<AMP EQ Hi>

[VALUE] ボタンで、アンプシミュレーターの高い周波数域の音量補正を設定します。

Trs Channel（送信チャンネル）〈EXT のみ〉

［設定値：1 〜 16］

```
External
TrsChannel =  1
```

それぞれのゾーンの送信チャンネルを設定します。

Trs PRG #（プログラムチェンジナンバー）〈EXT のみ〉

［設定値：1 〜 128］

```
External
Program    = 001
```

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムチェンジナンバー値を設定します。

BANK MSB / LSB（バンクセレクト MSB / LSB）〈EXT のみ〉

［設定値：0 〜 127］

```
ExternalMSB LSB
Bank =  000 032
```

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位（MSB）と下位（LSB）を設定します。

[MENU] ボタンで MSB と LSB を切り換えます。

★ TX PRG # = Off または TX Bank = Off を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

Keyboard On / Off（キーボード・オン / オフ）〈EXT のみ〉

［設定値：On / Off］

```
External
keyboard  = On
```

鍵盤を弾いた時のノート情報を、外部の MIDI 機器に送信するか（On）送信しないか（Off) を設定します。

このパラメータは 2 台以上のキーボードを使用する際に有効です。Keyboard=Off に設定すれば、MP6 からは接続された外部キーボードのセットアップのみ行い、それぞれの鍵盤を使って演奏することができます。

Velocity Dynamics（ベロシティー ダイナミクス）

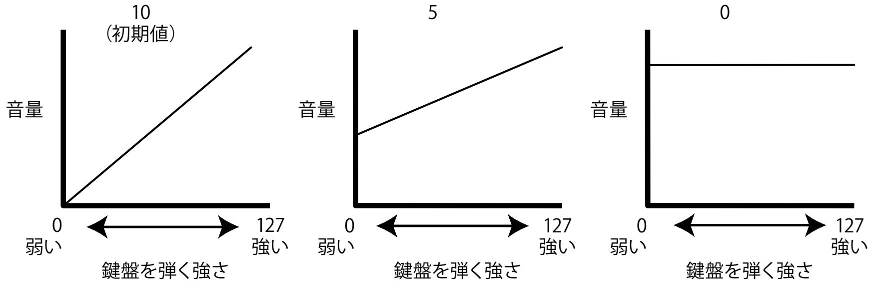
［設定値：0 ～ 10（初期値 10）］

```
1 Concert Grand
Dynamics    = 10
```

選択したゾーンのベロシティーダイナミクスを SYSTEM のタッチカーブに対して調整されます。

Dynamics=10 の場合は、[SYSTEM] で選択されたタッチカーブのままです。

Dynamics の値を小さくしていくと、タッチカーブはフラット（タッチなし）の状態に近づき、Dynamics=0 で完全にタッチカーブがフラット（タッチなし）になります。



Solo（ソロ）

［設定値：On / Off］

```
1 Concert Grand
Solo        = On
```

ソロ (単音発音) モードの ON/OFF を設定します。

Solo Mode（ソロ モード）

［設定値：Last / Hi / Lo］

```
1 Concert Grand
Solo Mode  =Last
```

ソロ（単音発音) の優先順位のモードを指定します

Last（ラスト）	後に弾いたノート優先に発音します。
Hi（ハイ）	一番高いノート優先に発音します。
Lo（ロー）	一番低いノート優先に発音します。

★ Solo ＝ Off を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

Damper（ダンパー）

［設定値：Off / Norm / Hold [INT], Off / On [Ext]］

```
▮ Concert Grand
Damper     = On
```

接続したダンパーペダルがそのセクションに効くか効かないかを設定します。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

[INT] でダンパーペダルを踏んで、鍵盤を離した時		
	ピアノ等の減衰音	**オルガン等の持続音**
Off	ダンパーペダル：無効	ダンパーペダルが無効
Norm	ダンパーペダル：有効／音：減衰	ダンパーペダル：有効／音：減衰
Hold	ダンパーペダル：有効／音：減衰	ダンパーペダル：有効／音：持続

[EXT] でダンパーペダルを踏んで、鍵盤を離した時		
	ピアノ等の減衰音	**オルガン等の持続音**
Off	ダンパーペダル：無効	ダンパーペダル：無効
On	ダンパーペダル：有効	ダンパーペダル：有効

Foot SW（フットスイッチ）

［設定値：On / Off］

```
▮ Concert Grand
Foot SW    = On
```

接続したフットスイッチが、そのセクションに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

Exp Pedal（エクスプレッションペダル）

［設定値：On / Off］

```
▮ Concert Grand
Exp Pedal  = On
```

接続したエクスプレッションペダルが、そのセクションに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

Modulation（モジュレーション）

［設定値：On / Off］

```
▮ Concert Grand
Modulation = On
```

モジュレーションホイールが、そのセクションに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

Bender（ベンダー）

［設定値：On / Off］

```
▮ Concert Grand
Bender     = On
```

ベンダーが、そのセクションに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

Bender Range（ベンダーレンジ）

［設定値：（EXT）0 〜 12 /（INT）0 〜 7］

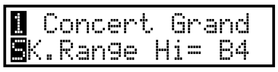
```
▮ Concert Grand
Bendr Rng  =  2
```

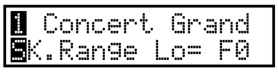
INT	ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を指定します。
EXT	セットアップ呼び出し時に送信するベンダーの変化範囲を指定します。

★ Bender ＝ Off を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

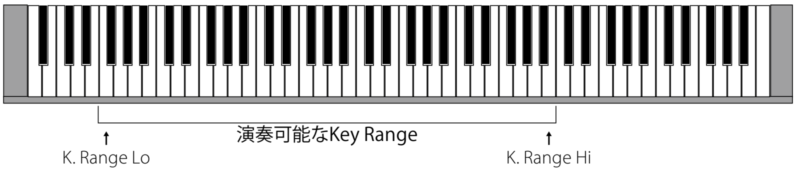
K. Range Hi（キー・レンジ・ハイ）/ K. Range Lo（キー・レンジ・ロー）

［設定値：C-2 〜 G8］



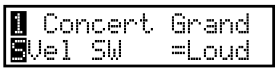


鍵盤の発音範囲を設定します。K.Range Hi で設定したノート No. と、K.Range Lo で設定したノート No. の範囲で発音します。
ゾーンごとに K.Range 設定をすれば、レイヤー、スプリットを組み合わせた様々な演奏形態が設定可能です。
キー・レンジは、[ZONE SELECT] ボタンと鍵盤を使って設定することもできます。(P. 22 参照)



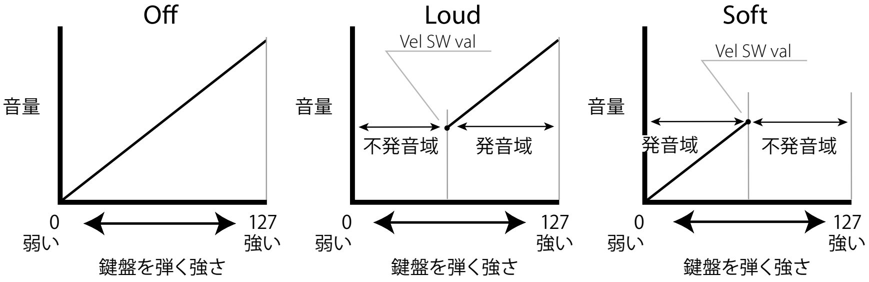
Vel SW（ベロシティー スイッチ）

［設定値：Off / Soft / Loud］



ベロシティー（鍵盤を弾く強さ）による発音域を設定します。

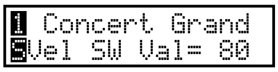
Off	通常
Loud	Vel SW Val の値よりも強く鍵盤を弾いた時、発音（MIDI 出力）します。
Soft	Vel SW Val の値よりも弱く鍵盤を弾いた時、発音（MIDI 出力）します。



★ Vel SW val は、次の項目で設定できます。

Vel SW val（ベロシティー スイッチ バリュー）

［設定値：0 〜 127］



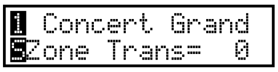
Velo SW（ベロシティー スイッチ）設定したベロシティーによる発音域の上限 / 下限を設定します。

Velo SW を Loud に設定した場合	ベロシティーによる発音域の下限を設定します。
Velo SW を Soft に設定した場合	ベロシティーによる発音域の上限を設定します。

★ Vel SW ＝ Off を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

Zone Transpose（ゾーントランスポーズ）

［設定値：- 36 ～ 0 ～ +36］

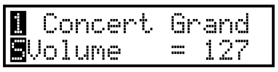


トランスポーズの値を半音単位で± 3 オクターブの範囲を設定できます。

★ここでのトランスポーズは、各セクションごとに設定する値です。
パネルの [TRANSPOSE] ボタン (P. 28 参照) で設定するマスタートランスポーズの値は、全てのゾーンに効き、ゾーントランスポーズ値とマスタートランスポーズ値の合計の音程が発音されます。
（セクションに関しては P. 40 を参照してください）

Volume（ボリューム）

［設定値：0 ～ 127］

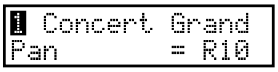


各セクションの音量を設定します。フェーダーで設定した値が表示されます。

★セクションに関しては P. 40 を参照してください。

Pan（パン）

［設定値：L 64 ～ 0 ～ R 63］

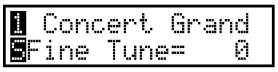


INT	内蔵音源のパンポット（右と左の音量バランス）を指定します。
EXT	セットアップ呼び出し時に送信するパンポットの値を設定します。

★セクションに関しては P. 40 を参照してください。

FineTune（ファインチューニング）

［設定値：- 63 ～ 0 ～ + 63］



INT	セクション間での音程調節を約± 1/2 半音の間で設定します。
EXT	セットアップ呼び出し時に送信するファインチューンの値を設定します。

★セクションに関しては P. 40 を参照してください。

Common Parameter（コモン パラメータ）

ここではメニューで設定するそれぞれの項目のうち、ゾーン１〜４に共通に効くものについて説明します。

Stretch（ストレッチ）

［設定値：Off / On / Piano / On_W / Piano_W］

```
    COMMON
Strtch = Piano_w
```

ストレッチチューニングに関する設定を行います。

Off	ストレッチチューニングを用いません。
On	音色に係わらず、ストレッチチューニング（Normal）にします。
Piano	ピアノ音色が選ばれている場合のみ、ストレッチチューニング（Normal）にします。
On W	音色に係わらず、ストレッチチューニング（Wide）にします。
Piano W	ピアノ音色が選ばれている場合のみ、ストレッチチューニング（Wide）にします。

ストレッチチューニングとは

ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。

“Normal” は標準的なチューニング、“Wide” はピアノの独奏に適したチューニングです。

Temperament（音律）

［設定値：Equal / Pure Maj / Pure min / Pythagor / Meantone / Werkmeis / Kirnberg / User ］

```
    COMMON
Tempr  =Pure Maj
```

音律を設定します。

Equal	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きが得られるという特徴があります。
Pure Maj	純正律（長調）。3 度と 5 度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
Pure min	純正律（短調）。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagor	Pytagorean（ピタゴラス音律）。5 度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone	Meantone（中全音律）。3 度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の 5 度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeis	Werkmeister（ヴェルクマイスター第 III 法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正 3 度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。
Kirnberg	Kirnberger（キルンベルガー第 III 法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3 度が純正に響く調と 5 度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
User	音律を自由に設定することができます。（P .51 User Tuning 参照）

Key of Temperament（音律の主音）

［設定値：C 〜 B］

```
    COMMON
TemprKey =    C
```

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。
演奏する曲の調号に合わせます。

★ Temperament(音律) で平均律を設定した場合は、このパラメータは表示されません。

User Tuning（チューニング）

［設定値 C ～ B：- 50 ～ +50］

```
   COMMON
   C   =   0
```

ユーザー音律が作成できます。

オクタープ間の 12 音のピッチを、± 1/2 半音 (± 50 セント) まで、セント単位で設定できます。

★ Temperament(音律) で User に設定した時だけ、このパラメータが表示されます。
★ A 音は基準音ですので SYSTEM で設定されたピッチに固定されます。A 音を変更すると A 音以外の音のピッチが相対的に変わります。

※セント：半音の100分の1の音程が1セントになります。半音は100セントです。

Foot SW CC#（フットスイッチ・コントロールチェンジ）

［設定値：0 ～ 119 , S W］

```
   COMMON
FootSW CC# = SST
```

リアパネルの FSW 端子に接続した、フットスイッチのコントロールチェンジナンバーを指定します。

工場出荷時は、「SST」（ソステヌート）が割り当てられています。

「SW」に設定すると、[SW] ボタン（P. 29 参照）のオンオフをフットスイッチで切り替えることができます。

★コントロールチェンジ番号については、P. 97 の表「4.Control Change Number(CC#)table」を参照ください。
★ INT（内蔵音源）に有効なパラメータは機能名で表示され、外部への送信と同時に内蔵音源もコントロールします。
★ SYSTEM で FootSW ＝ Setup+（P. 68 参照) を選んでいる場合、このパラメーターは表示されません。

Exp Pedal CC#（エクスプレッションペダル・コントロールチェンジ）

［設定値：0 ～ 119, AFT, RTR］

```
   COMMON
ExpPdl CC# = EXP
```

リアパネルの EXP 端子に接続した、エクスプレッションペダルのコントロールチェンジナンバーを指定します。

工場出荷時は、「EXP」（エクスプレッション）が割り当てられています。

「AFT」に設定すると、エクスプレッションペダルでアフタータッチ情報を送信できます。

「RTR」に設定すると、エフェクトでロータリーが選ばれている時に、エクスプレッションペダルでロータリーのスロー / ファーストを切り換えることができます。

★ [EFX]（エフェクト）で「PedalWah」が選ばれている場合は、ここでの設定に係わらず、ペダルワウ機能が割り当てられます。

Modulation Wheel CC#（モジュレーションホイール・コントロールチェンジ）

［設定値：0 ～ 119］

```
    COMMON
M.WheelCC# = MOD
```

モジュレーションホイールのコントロールチェンジナンバーを指定します。工場出荷時は、「MOD」（モジュレーション）が割り当てられています。

★一般的なコントロールチェンジ番号については、P. 96 の表「4.Control Change Number(CC#)table」を参照ください。
★ INT（内蔵音源）に有効なパラメータ (上表) は機能名が表示されます。

FootSW、ExpPdl、M. Wheel : 内部音源に有効な CC#

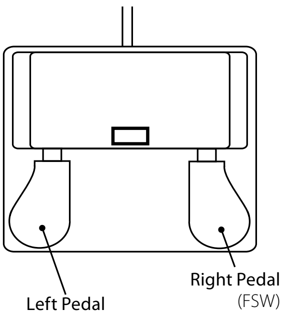
CC#	Function	表示
1	Modulation	MOD
7	Volume	VOL
10	Panpot	PAN
11	Expression	EXP

CC#	Function	表示
64	Hold（Damper)	HLD
66	Sostenuto	SST
67	Soft	SFT

Left Pedal Mode（レフト・ペダル・モード）

［設定値：Soft , Sost］

```
    COMMON
Left Pedal =Soft
```



F-20

別売りのフットペダル（F-20）のレフトペダル（左側のペダル）の機能を選択します。
「Soft」に設定すると、レフトペダルがソフトペダルになります。（初期値）
「Sost」に設定すると、レフトペダルがソステヌートペダルになります。
ソフトペダル（LeftPedal ＝ Soft）を踏むと、音の響きが柔らかくなります。
エフェクトでロータリーが選択されている時は、ソフトペダルでロータリーのスロー / ファーストを切り換えることができます。
ソステヌートペダル（LeftPedal ＝ Sost）を踏むと、ペダルを踏んだ時点で押されている鍵だけがペダルを離すまで鳴り続けます。
減衰の効果は、ダンパーペダルで設定された効果が掛かります。Damper（ダンパー）を Hold に設定した場合（P. 47 参照）、オルガン音色などの持続音は減衰せずにホールドします。

★「LeftPedal ＝ Sost」に設定した場合、ロータリーエフェクトのスロー / ファーストはレフトペダルでは切り換わりません。ソステヌートペダルを使ってオルガン演奏をする場合は、[SW] ボタン（P. 29 参照）や、コントロールノブ（P. 32 参照）などを使って、スロー / ファーストを切り換えてください。

Master Volume（マスター・ボリューム）

［設定値：0 ～ 127］

```
    COMMON
■Master Vol= 127
```

セットアップ全体の音量を設定します。

ソングレコーダー

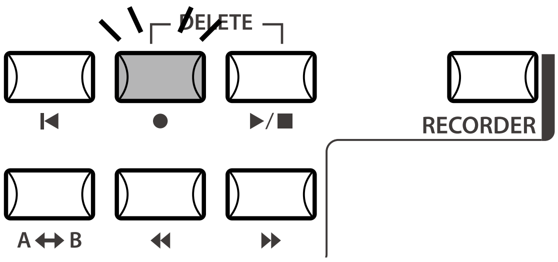
MP6 は、本体に 10 曲（10 ソング）まで録音、再生することができます。

録音

録音モードに入る

1. [RECORDER] ボタンを押す

[VALUE ▼] ボタンを押し、TYPE=MIDI を選択します。
[REC ●] ボタンを押すと [REC ●] ボタンが点滅して録音待機状態になります。

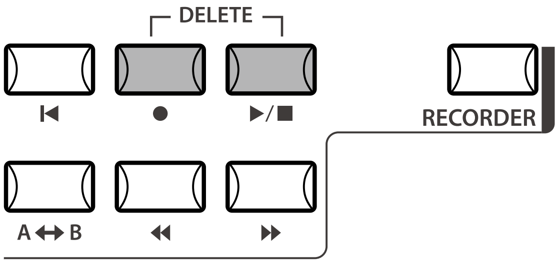


2. [◀◀][▶▶] ボタンで録音するソングを選択する

3. [VALUE] ボタンで、テンポを変更する

録音を開始する

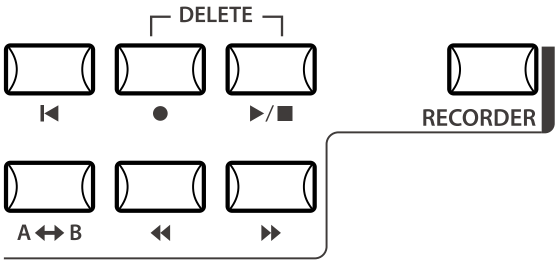
鍵盤を弾き始めると、録音が開始され、[REC ●] ボタンと [PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンが点灯します。
また、録音待機状態から、[PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンを押すことでも、録音が開始できます。
メトロノームをオンにしていると、 1 小節分のカウントイン後に録音が開始されます。



録音を終了する

[PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンを押す

[REC ●] ボタンと [PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンが消灯し録音が終了します。この時、録音したデータは自動的に内蔵メモリーに保存され、その後再生画面が表示されます。
録音／再生モードを終了させるには、もう一度 [RECORDER] ボタンを押します。



★ MP6 の総記憶容量は、約 90,000 音 * です。
★録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [REC ●] ボタンと [PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
★レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

* 総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000 音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約3 ～ 4 回の録音でき10 ～ 15 分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

録音中のパネル操作について

・音色変更は記憶されません。
・エフェクト設定の変更は記憶されず､パネルで選ばれている音色に､選択されているエフェクトがそのまま使われます。
・テンポ変更は記憶されません。
・音量の変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。
・タッチカーブ、トランスポーズボタンの ON / OFF 変更は、記憶されません。再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音高で再生されます。

再生

ソングを再生する

1. [RECORDER] ボタンを押す

2. [VALUE ▼] ボタンを押し、TYPE=MIDI を選択する

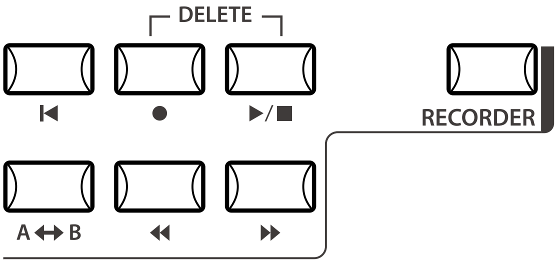
3. [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押して、再生モードに入る

4. [◀◀][▶▶] ボタンで再生したいソングを選択する

5. [VALUE] ボタンで、テンポを変更する

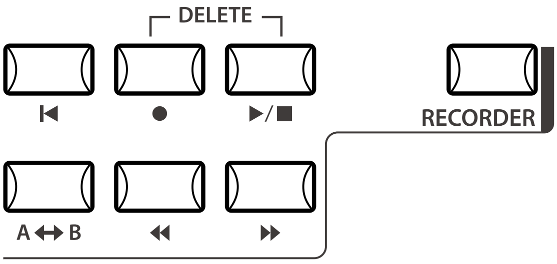
6. [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押す

選択したソングが演奏されます。
[◀◀][▶▶] ボタンで、早送り、巻き戻しができます。



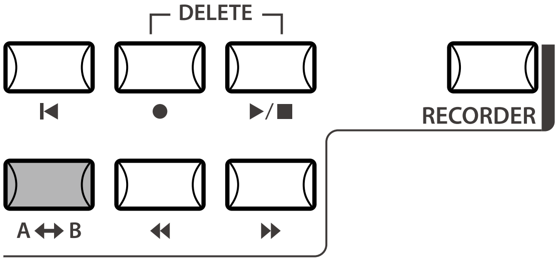
再生を終了する

ソング再生中に PLAY/STOP [▶ / ■] ボタンを押すと再生が停止します。
[⏮] ボタンでデータの先頭に戻ります。
再生モードを終了させるには、もう一度 [RECORDER] ボタンを押します。



A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、ソングの一部を繰り返し連続再生することができます。



1. フレーズの始まり（A 点）の指定

ソング再生中に [A-B] ボタンを押すと、リピート開始ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点滅します。

2. フレーズの終わり（B 点）の指定

もう一度、[A-B] ボタンを押すと、リピート終了ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートを終了する

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A-B] ボタンを押すと、[A-B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

削除

ソングを削除する

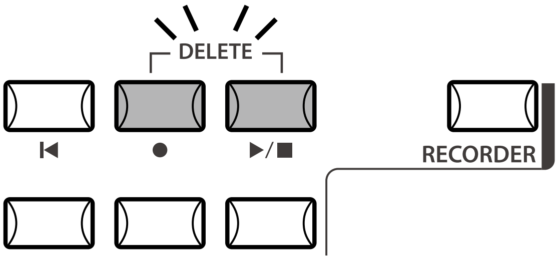
1. [RECORDER] ボタンを押す

2. [VALUE ▼] ボタンを押し、TYPE=MIDI を選択します。

3. [REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを同時に押す

[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンが点滅し削除モードに入ります。

4. [◀◀][▶▶] ボタンで削除したいソングを選択する



5. [VALUE ▲] ボタンを押す

```
Aer you Sure?
Press VALUE UP
```

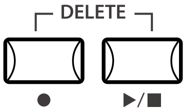
確認画面がディスプレイに表示されます。

6. もう一度 [VALUE ▲] ボタンを押す

選択したソングが削除されます。
[VALUE ▼] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

内蔵メモリーの全ソングを削除する

MP6 の電源がオフの状態から、[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押したまま、電源をオンすると、内蔵メモリーに保存された全ソングが削除されます。



オーディオレコーダー

MP6 は、USB メモリーに対して MP3 や WAV 形式で録音 / 再生ができます。(P. 85 参照)

- USB メモリー：FAT 又は、FAT32 でフォーマットされているものをご使用ください。
- USB メモリーは MP6 でフォーマットすることができます (P. 75 参照)
- USB メモリー上にある MP3 データ : ビットレート : 8K~320bps、サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ
- USB メモリー上にある WAV データ : サンプリング周波数 : 44.1kHz、16bit、ステレオ

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

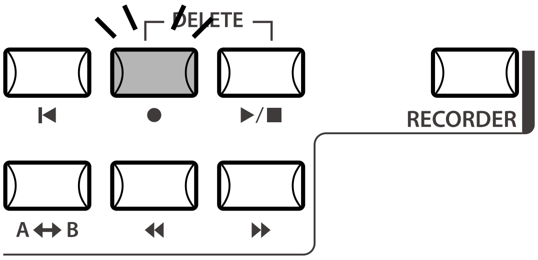
録音

録音モードに入る

1. USB メモリーをリアパネルの USB to Device 端子に接続する

2. [RECORDER] ボタンを押す

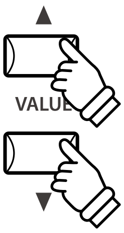
[VALUE ▼] ボタンを押し、TYPE=AUDIO を選択します。
[REC ●] ボタンを押すと [REC ●] ボタンが点滅して録音待機状態になります。



3. [VALUE] ボタンで、オーディオファイルの種類を選ぶ

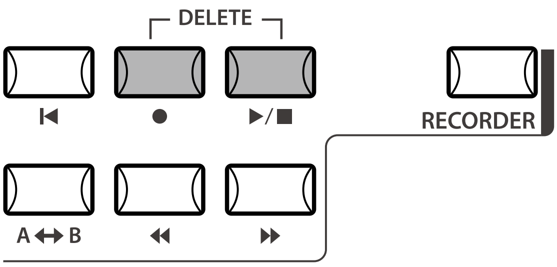
[VALUE ▲] ボタンを押すと、MP3 フォーマットが、[VALUE ▼] ボタンを押すと、WAV フォーマットが選ばれます。

```
Recording
Format = MP3
```



録音を開始する

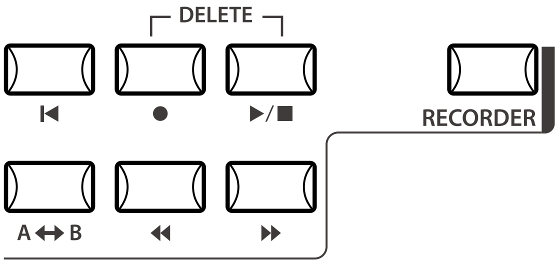
鍵盤を弾き始めると、録音が開始され、[REC ●] ボタンと [PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンが点灯します。
また、録音待機状態から、[PLAY ▶ / ■] ボタンを押すことでも、録音が開始できます。メトロノームをオンにしていると、 1 小節分のカウントイン後に録音が開始されます。



ファイル名の初期値は、「Audio_000 .MP3」「Audio_000 .WAV」です。接続した USB メモリーに既に同じ名前のファイルが存在する場合は、001、002、・・・と数字部が加算されて自動でファイル名が付けられます。録音されたファイルの名前を変更する場合は、USB メニューを参照してください。(P. 73 参照)

録音を終了する

[PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押す



[REC ●] ボタンと [PLAY / STOP ▶ / ■] ボタンが消灯し録音が終了します。この時、録音したデータは自動的に USB メモリーに保存され、その後再生待ち状態になります。
録音／再生モードを終了させるには、もう一度 [RECORDER] ボタンを押します。

再生

オーディオファイルを再生する

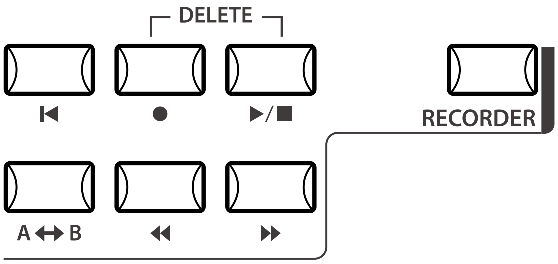
1. USB メモリーをリアパネルの USB to Device 端子に接続する

2. [RECORDER] ボタンを押す

3. [VALUE ▲] ボタンを押し、TYPE=AUDIO を選択する

4. [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押して、再生モードに入る

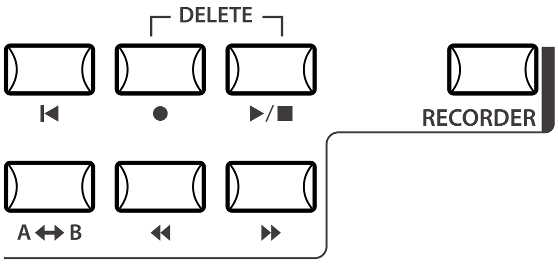
[VALUE] ボタンで、再生したいファイルを選択します。
[MENU ▲] ボタンで、選択したファイルを呼び出します。



5. [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押す

選択したソングが演奏されます。
[◀◀][▶▶] ボタンで、早送り、巻き戻しができます。

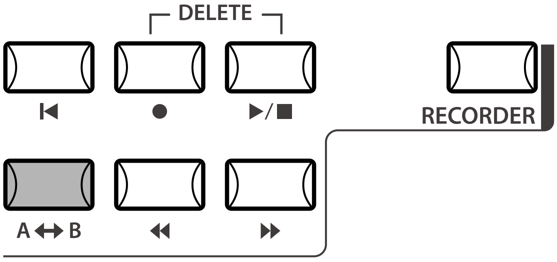
再生を終了する



ソング再生中に [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押すと再生が停止します。
[|◀] ボタンでデータの先頭に戻ります。
再生モードを終了させるには、もう一度 [RECORDER] ボタンを押します。

A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、ソングの一部を繰り返し連続再生することができます。



1. フレーズの始まり（A 点）の指定

ソング再生中に [A-B] ボタンを押すと、リピート開始ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点滅します。

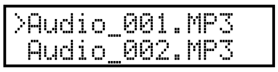
2. フレーズの終わり（B 点）の指定

もう一度、[A-B] ボタンを押すと、リピート終了ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートを終了する

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A-B] ボタンを押すと、[A-B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

別のファイルを選択する



[MENU] ボタンで、ファイル選択画面を呼び出します。
[VALUE] ボタンで、再生したいファイルを選択します。
[MENU ▲] ボタンで、選択したファイルを呼び出します。

ファイル選択における、ディレクトリー構造について	
[Parent Dir]	一つ上のディレクトリーに戻ります。
＜ XXXXXX ＞	パソコン等で作られたディレクトリー（フォルダー）を選択できます。

ストアボタン

ストアボタンを使い、各種の設定が保存できます。

SETUP	フェーダー / コントロールノブ / メニューなどの各設定を本体の 1-1-A から 8-8-D までの 256 個のセットアップに保存（ストアすることができます。
SOUND	選択されたゾーンの音色に対して、エフェクト / リバーブの設定内容や、EQ を除くコントロールノブを使った設定内容を保存（ストア）することができます。
POWER ON	SOUND 選択状態を電源 ON 時の設定として保存（ストア）できます。

Store Sound（ストア サウンド）

各音色（SOUND) を選んだ時の設定を変更することができます。
選択されたゾーンの音色に対して、次の設定を保存できます。
SOUND に保存したこれらの設定は、エディット中の音色選択にも有効です。

1. エフェクト、リバーブの設定内容（P. 30 参照）
2. EQ を除くコントロールノブによる設定内容（P. 32 参照）
3. メニューの Int セクションパラメータの設定内容（P. 39 参照）

★メニューに ▮ マークが表示されているパラメータは保存されません。

1. サウンド選択状態で、[STORE] ボタンを押して点灯させる

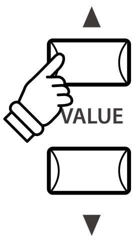
次のストアメニュー画面が表示されます。

```
<SETUP    SOUND>
<POWERON
```

2. [VALUE ▲] ボタンを押して "SOUND" を選択する

確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

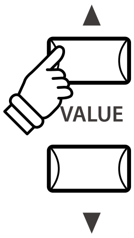
```
 SOUND     Sure?
 Press VALUE UP
```



3. [VALUE ▲] ボタンを押す

メッセージが表示されて書き込みが完了し、[STORE] ボタンが消灯します。

```
 Writing Memory,
   Completed!
```



★ストアを実行すると、それまでのサウンドの設定は上書きされて消えてしまいますので、ご注意ください。
★ [VALUE ▲] ボタン以外を押すと、書き込みがキャンセルされます。

Store Setup（ストア セットアップ）

各ゾーンの設定をはじめとする MP6 全体の設定を、セットアップとして名前を付けて保存することができます。
次の設定が保存できます。

1. 音色選択、各ゾーンのオンオフ
2. フェーダー・コントロールノブによる設定内容
3. エフェクト、リバーブの設定内容
4. ファンクション S W の機能割り当て
5. メニューの全ての設定内容

ストアセットアップモードに入る

1. サウンド選択状態で、[STORE] ボタンを押して点灯させる

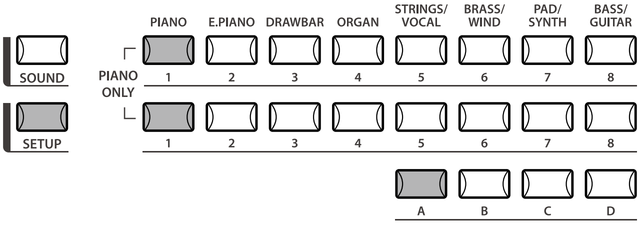
次のストアメニュー画面が表示されます。
（セットアップ選択状態から [STORE] ボタンを押した場合は、ストアメニューは表示されず直接操作２へ進みます）

```
<SETUP    SOUND>
<POWERON
```

2. [MENU ▲] ボタンを押して "SETUP" を選択する

[SETUP] ボタンが点灯し、保存先のセットアップ名が表示されます。

```
 Store to 1-1-A
= GrandPno+Str1
```



保存先を指定する

3. 音色ボタンを押して保存先を指定する

3 列の音色ボタンを押して、1-1-A から 8-8-D まで 256 個のセットアップから保存先を選びます。

4. [STORE] ボタンを押す

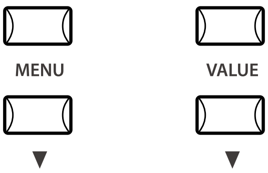
セットアップ名の編集へ移ります。

セットアップ名を変更する

5. [MENU] ボタンと [VALUE] ボタンを押して、名前を変更します。

[MENU] ボタンでカーソルを移動、[VALUE] ボタンで名前を変更することができます。

```
 Set Name
= GrandPno+Str1
```



★ [SYSTEM] で WheelMode ＝ Edit（P. 68 参照）を選択すれば、MODULATION WHEEL を使って名前を変更することができます。

ストアを実行する

6. [STORE] ボタンを押す

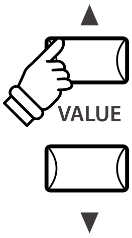
選択した保存先に書き込んでも良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
Are You sure?
Press VALUE UP
```

7. [VALUE ▲] ボタンを押します。

メッセージが表示されて書き込みが完了し、[STORE] ボタンが消灯します。

```
 Writing Memory,
   Completed!
```



★ストアを実行すると、それまでのセットアップは上書きされて消えてしまいますので、ご注意ください。
★ [VALUE ▲] ボタン以外を押すと、書き込みがキャンセルされます。

Store POWER ON（ストア パワーオン）

現在の設定を保存して電源 ON 時の初期設定にします。

1. サウンド選択状態で、[STORE] ボタンを押して点灯させる

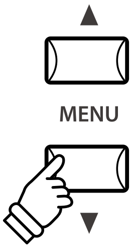
次のストアメニュー画面が表示されます。

```
<SETUP    SOUND>
<POWERON
```

2. [MENU ▼] ボタンを押して ”POWER ON” を選択する

確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

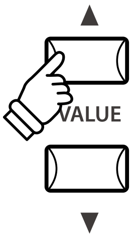
```
 Aer you Sure?
 Press VALUE UP
```



3. [VALUE ▲] ボタンを押す

メッセージが表示されて書き込みが完了し、[STORE] ボタンが消灯します。

```
 Writing Memory,
   Completed!
```



★ストアを実行すると、それまでのサウンドの設定は上書きされて消えてしまいますので、ご注意ください。
★ [VALUE ▲] ボタン以外を押すと、書き込みがキャンセルされます。

システムボタン

[SYSTEM] ボタンでは、本機の全体にかかわる基本設定を行います。
変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

System Parameter	
System Channel	Touch
System Tune	Volume Slider Action
Reverb Offset	EQ Offset
Local Control On/Off	Program Change Mode
MIDI Receive Mode	MIDI Receive Channel
MIDI Transmit SETUP Mode On/Off	MIDI Transmit Program Change On/Off
MIDI Transmit Bank On/Off	MIDI Transmit Volume On/Off
MIDI Transmit Control Change On/Off	MIDI Transmit Recorder On/Off
MMC On/Off	MMC Assign (PLAY, REC, RESET, FF, REW, LOOP)
MMC Device ID	LCD Contrast
LED Brightness	Output Mode
Foot Switch Mode	Wheel Mode

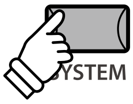
System Reset - 本機に保存された内容を、工場出荷時に戻します -	
・Reset One Sound/Setup	・Reset All

設定操作

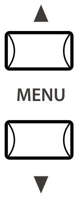
システムで各項目を設定する際の共通操作を説明します。

1. [SYSTEM] ボタンを押して点灯させる

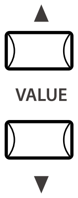
システム設定モードに入ります。



2. [MENU] ボタンを押して設定項目の画面をディスプレイに表示させる



3. [VALUE] ボタンで値を設定する



4. [SYSTEM] ボタンを押して消灯させる

変更した値は自動的に内部に保存されます。

System Parameter（システム パラメーター）

System Ch（システム チャンネル）

［設定値：1 〜 16（CH）］

```
   SYSTEM
System Ch  =  1
```

システムチャンネルを設定します。鍵盤やパネルなどの情報の MIDI 送受信に使われます。

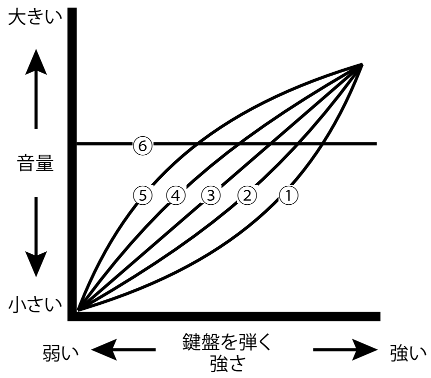
Touch（タッチ）

［設定値：Heavy+ / Heavy / Normal / Light / Light + / Off / User 1 / User 2］

```
   SYSTEM
Touch =  Normal
```

鍵盤のタッチの強さを調節します。

① Heavy + ② Heavy	強いタッチで弾くと大きな音が出ます。指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
③ Normal	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ Light ⑤ Light +	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
⑥ Off（オフ）	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
User 1 / 2 （ユーザー）	ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせたタッチカーブです。USER 1 / 2 を選ぶと、”Press REC” と表示されます。



タッチカーブは下記の手順で作成できます。

ユーザータッチカーブ作成

1. USER 1 または USER 2 を選択した状態で、[REC ●] ボタンを押す

```
Start playing
Soft → Loud
```

次の画面が表示され、ユーザータッチカーブ作成が開始されます。

2. 鍵盤を弾く

```
Press REC
when finished
```

適当な鍵盤を弱打から強打まで弾いてください。
左記メッセージが画面に表示されたら入力を終えてください。

3. [REC ●] ボタンを押す

```
Analysis
Completed!!
```

上記メッセージが画面に表示されたら完了です。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成されました。
作成されたタッチカーブは自動的に保存されます。

System Tuning（システム チューニング）

［設定値：427.0 〜 453.0（H z）］

```
   SYSTEM
SysTune  = 440.0
```

内蔵音源のチューニングを行います。Ext セクションには影響しません。

Volume Slider Action（ボリューム アクション）

［設定値：Normal / Catch］

```
    SYSTEM
VolAction=Catch
```

各ゾーンのフェーダー操作に対するリアクションを選びます。
セットアップを呼び出すと、内部の音量とフェーダーの位置が異なってしまう場合があります。通常「Normal」では、セットアップ変更後フェーダーを動かすと、内部の音量は一度不連続に変化しますが、「Catch」を選ぶと、内部の音量とフェーダーの位置が一致するまでフェーダーが効きませんので、セットアップ変更後も滑らかに音量を変更することができます。

Reverb Offset（リバーブ オフセット）

［設定値：0 ～ 100（%）］

```
    SYSTEM
Rev.Offset =100%
```

リバーブデプスの効き具合を調節できます。
REV DEPTH コントロールノブに対して、システム全体に効きます。 コントロールノブを使って調節することもできます。（P. 34 参照）

★ 0%に設定すると、リバーブは全く効かなくなります。

EQ Offset On / Off（EQ オフセット オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
EQ Offset  = On
```

EQ オフセットの設定を効かせるか（On)、効かせないか（Off) を設定します。

EQ Offset Hi / Mid / Low（EQ オフセット）

［設定値：-9 ～ +9（dB）］

```
    SYSTEM
EQ High    =   0
```

```
    SYSTEM
EQ Mid     =   0
```

```
    SYSTEM
EQ Low     =   0
```

HI / MID / LO のそれぞれの EQ コントロールノブがブースト / カットされます。
EQ オフセットは、EQ ノブに対してシステム全体に効きます。コントロールノブを使って調節することもできます。（P. 35 参照）

★ブースト / カットの効果の最大値は± 9dB です。オフセット値と EQ ノブの合計が± 9dB を超える場合、それ以上効果は変わりません。例えば、EQ Offset Mid Hi=+9dB のように設定すると EQ ノブでそれ以上ブーストすることはできなくなりますのでご注意ください。
★ EQ Offset=Off を選んでいる場合は、このパラメータは表示されません。

Local Control On / Off（ローカルコントロール オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Local      = On
```

本体の鍵盤を弾いて音を出すか（On)、出さないか（Off）を設定します。
MIDI 入力された演奏情報をそのまま MIDI 出力する、ソフトスルー (エコーバック) 機能を備えた外部シーケンサーを使う場合は、Local ＝ Off に設定してください。演奏した音が 2 重に発音されるのを防ぐことができます。

★ソフトスルーによるMIDI出入力をしない場合は､鍵盤を弾いても発音されなくなりますのでOffに設定しないで下さい。

Program Change Mode（プログラムチェンジモード）

［設定値：Panel / GM］

```
SYSTEM
Prg Mode =Panel
```

[VALUE] ボタンで、プログラムチェンジモードを切り替えます。

Panel	パネルのボタン配列でバンク／プログラムチェンジ番号が送受信されます。
GM	GM 規格を基本にした配列でバンク／プログラムチェンジ番号が送受信されます。GM 対応機器を接続する場合は、GM に設定します。

★本機は GM 対応ではありませんので、GM に設定した場合でも、対応しないプログラムチェンジ番号があります。対応していない番号を受信すると、その番号の音色と近似の音色が選択されます。

MIDI Receive Mode（MIDI 受信モード）

［設定値：Panel / Multi］

```
SYSTEM
Rcv Mode =Panel
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 受信モードを切り替えます。

Panel	MIDI 情報はシステムチャンネルで設定された MIDI チャンネルで受信し、ゾーン 1 〜 4 全てに、同じ MIDI 情報が送られます。
Multi	MIDI 情報は、MIDI 受信チャンネルで Off 以外に設定された全ての MIDI チャンネル (1 〜 16) で受信され、それぞれの MIDI チャンネル又は、ゾーン 1 〜 4 に MIDI 情報が送られます。

MIDI Receive Channel（MIDI 受信チャンネル）

［設定値：On、Zone1-4, Off］

```
SYSTEM
Rcv Ch 1 =Zone1
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 受信モードが Multi に設定されている場合の、MIDI 受信チャンネルの On / Off / Zone 転送の設定をします。

Zone1-4	各チャンネルの MIDI 情報を、設定したゾーンに転送します。
On	各チャンネルの MIDI 受信を有効にします。
Off	各チャンネルの MIDI 受信を無効にします。

★ MIDI 受信モードを Multi に設定した場合のみこの設定ができます。MIDI 受信モードを Panel に設定した場合は、このメニューは表示されません

MIDI Transmit SETUP Mode ON / Off（MIDI 送信セットアップモード オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
SYSTEM
Trs.Setup    =Off
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信セットアップモードを設定します。

On	セットアップを選択した時、MIDI 情報を送信します。
Off	セットアップを選択した時、MIDI 情報を送信しません。

MIDI Transmit Program Change ON / Off（MIDI 送信プログラムチェンジ オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
SYSTEM
Trs.Program =On
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信プログラムチェンジの On/Off を設定します。

On	セットアップを選択した時、MIDI プログラムチェンジを送信します。
Off	セットアップを選択した時、MIDI プログラムチェンジを送信しません。

★ MIDI 送信セットアップモードを On に設定した場合のみこの設定ができます。MIDI 送信セットアップモードを Off に設定した場合は、このメニューは表示されません

MIDI Transmit Bank On / Off（MIDI 送信バンク オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Set Bank     =On
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信バンクの On/Off を設定します。

On	セットアップを選択した時、MIDI バンク情報を送信します。
Off	セットアップを選択した時、MIDI バンク情報を送信しません。

★ MIDI 送信セットアップモードを On に設定した場合のみこの設定ができます。MIDI 送信セットアップモードを Off に設定した場合は、このメニューは表示されません

MIDI Transmit Volume On / Off（MIDI 送信ボリューム オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Set Volume   =On
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信ボリュームの On/Off を設定します。

On	セットアップを選択した時、MIDI ボリューム情報を送信します。
Off	セットアップを選択した時、MIDI ボリューム情報を送信しません。

★ MIDI 送信セットアップモードを On に設定した場合のみこの設定ができます。MIDI 送信セットアップモードを Off に設定した場合は、このメニューは表示されません

MIDI Transmit Control Change On / Off（MIDI 送信コントロールチェンジ オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Set Control  =On
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信コントロールチェンジの On/Off を設定します。

On	セットアップを選択した時、MIDI コントロールチェンジ情報を送信します。
Off	セットアップを選択した時、MIDI コントロールチェンジ情報を送信しません。

★ MIDI 送信セットアップモードを On に設定した場合のみこの設定ができます。MIDI 送信セットアップモードを Off に設定した場合は、このメニューは表示されません

MIDI Transmit Keyboard On / Off（MIDI 送信キーボード）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Set Keyboard=On
```

[VALUE] ボタンで、MIDI 送信キーボートの On/Off を設定します。

On	キーボード演奏情報を MIDI 送信します。
Off	キーボード演奏情報を MIDI 送信しません。

MIDI Transmit Recorder On / Off（MIDI 送信レコーダー オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
Set Recorder=On
```

[VALUE] ボタンで、内部ソングレコーダーの MIDI 情報送信の On/Off を設定します。

On	内蔵ソングレコーダーの MIDI 情報を送信します。
Off	内蔵ソングレコーダーの MIDI 情報を送信しません。

MMC On / Off（MMC オン / オフ）

［設定値：On / Off］

```
    SYSTEM
MMCtransport=On
```

[VALUE] ボタンで、レコーダー関連ボタンを押した時の、MMC（MIDI Machine Control）情報送信の On/Off を設定します。

On	レコーダー関連ボタンを押した時に MMC 情報を送信します。
Off	レコーダー関連ボタンを押した時に MMC 情報を送信しません

MMC Assign（MMC 割り当て）

```
    SYSTEM
PLAY =Play
```

[VALUE] ボタンで、レコーダー関連ボタンを押した時に送信される、MMC（MIDI Machine Control）情報を設定します。

ボタン名	MMC コマンド
PLAY /STOP [▶ / ■]	PLAY / Record Strobe / Pause
REC [●]	Record Exit / Record Pause
RESET [⏮]	Stop
FF[⏩]	Fast Forward / Pause
REW [⏪]	Rewind / Pause
LOOP [A-B]	Deferred Play

★ MMC On/Off を On に設定した場合のみこの設定ができます。MMC On/Off を Off に設定した場合は、このメニューは表示されません

MMC Device ID

［設定値：0 〜 127］

```
    SYSTEM
MMC Dev.ID = 127
```

[VALUE] ボタンでコントロールしたい MMC 対応機器の MMC デバイス ID に合わせます。

LCD Contrast（LCD コントラスト）

［設定値：1 〜 10］

```
    SYSTEM
LCD Cont.   = 10
```

LCD のコントラストを調節します。
数値が大きい程、文字が鮮明になります。

LED Brightness（LED ブライトネス）

［設定値：High / Low］

```
    SYSTEM
LED Bright.=High
```

LED の明るさを調節します。
ステージ等の照明が暗く LED が明るすぎる場合は、LED Bright ＝ Low を選んでください。

Output Mode（アウトプットモード）

［設定値：Stereo / 2x Mono］

```
SYSTEM
Out Mode =Stereo
```

パネル背面の OUTPUT 端子の出力モードを選択します。
MP6 の OUTPUT 端子は、1 系統のステレオ出力ですが、2 つの標準ジャックを 2 系統のモノラル出力として使用することもできます。片方をキーボードアンプへ、片方を PA へ、といった使い方が可能です。

Stereo	[R] 端子、[L/MONO] 端子からステレオ出力されます。[L/MONO] 端子のみに接続するとモノラル出力となります。
2 x Mono	[R] 端子、[L/MONO] 端子から、それぞれモノラル出力されます。

★ AUTO PAN（オートパン）などのステレオ効果のエフェクトは、OutMode = 2x Mono を選んでいる時は効かなくなりますのでご注意ください。

Foot SW Mode（フットスイッチ・モード）

［設定値：Normal / Setup +］

```
SYSTEM
FootSW   =Normal
```

FootSW の機能を選択します。通常はセットアップ毎に CC#（コントロールチェンジ番号）を割り当てて使用しますが、
FootSW ＝ Setup + を選択すると、FootSW でセットアップの切り替えを行うことができます。

Normal	FootSW は、セットアップ MENU の「FootSW CC#」(P. 51 参照) で選んだ CC# の機能になります。
Setup+	FootSW を一回踏むと、次のセットアップ番号が選ばれます。

★ここで FootSW ＝ Setup+ を選ぶと、セットアップ MENU の「FootSW CC#」のパラメーターは表示されません。

Wheel Mode（ホイール・モード）

［設定値：Normal / Edit］

```
SYSTEM
WheelMode=Normal
```

各パラメーターの値をモジュレーションホイールを使ってエディットすることができます。

Normal（初期値）	コモンパラメーターの「M.WheelCC#」で割り当てられた機能を使います。(P. 52 参照）
Edit	モジュレーションホイールを使って、下記パラメーターをエディットすることができます。 (1) セットアップパラメーター（ゾーンモードとサウンドを除く） (2) セットアップ名 (3)[SW] / [EFX] / [Reverb] 各タイプ (4) メトロノームのテンポ

★ WheelMode ＝ Edit を選んでいる時は、通常のモジュレーションホイールの機能は使うことができませんが、ホイールに関する設定は変更することができます。この場合、セットアップメニューではアスタリスク (*) が表示され ” WheelMode ＝ Edit” であることが示されます。

System Reset（システム リセット）

Reset One Sound / Setup（リセット ワン サウンド / セットアップ）

現在選択中のサウンドまたはセットアップを、工場出荷時の状態に戻します。

1. [SYSTEM] ボタンを押した後、[MENU ▼] ボタンを数回押して Reset One 画面を表示させる

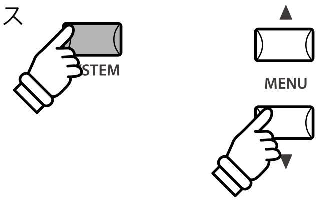
現在選択中のサウンド、またはセットアップの番号がディスプレイに表示されます。

```
Reset 6-4-A Snd
Press VALUE UP
```

サウンドモード時

```
Reset 6-4-A
Press VALUE UP
```

セットアップモード時



2. [VALUE ▲] ボタンを押す

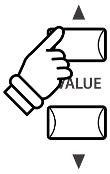
実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
Reset 6-4-A Snd
           Sure?
```

サウンドモード時

```
Reset 6-4-A
           Sure?
```

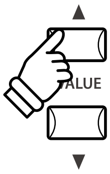
セットアップモード時



3. [VALUE ▲] ボタンを押す

Reset One Setup が実行されます。キャンセルしたい場合は、[VALUE ▼] ボタンを押します。

```
Reset 6-4-A
Completed!!
```



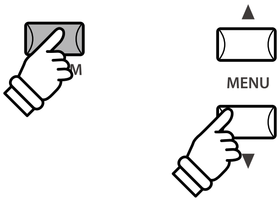
Reset All（リセット オール）

本機に保存された 256 個のサウンド / セットアップと、システムの設定すべてを、工場出荷時の状態に戻します。

注：リセット操作を行うと、内部に保存されているサウンドやセットアップは消えてしまいます。現在のサウンドやセットアップのデータが必要な場合は、USBボタンの保存機能 (P. 72参照)を使ってUSBメモリーに保存した後、リセット操作を行うようにしてください。

1. [SYSTEM] ボタンを押した後、[MENU ▼] ボタンを押して Reset All 画面を表示させる

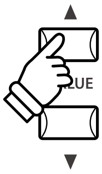
```
Reset All
Press VALUE UP
```



2. [VALUE ▲] ボタンを押す

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

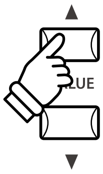
```
Reset All
           Sure?
```



3. [VALUE ▲] ボタンを押す

Reset All が実行されます。キャンセルしたい場合は、[VALUE ▼] ボタンを押します。

```
Reset All
Completed!!
```



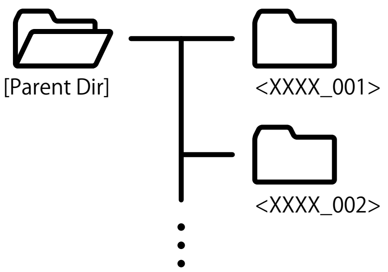
USB ボタン

USB ボタンの機能を使うことにより、USB メモリーに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み / 保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USB メモリーのフォーマットを行うことができます。（P. 85 参照）

Load (読み込み)	USB メモリー上にあるデータを MP6 の内部メモリーに読み込みます。
Save (保存)	MP6 の内部メモリーにあるデータを USB メモリーに保存します。
Rename(名前の変更)	USB メモリーに保存されているファイル名を変更します。
Delete (削除)	USB メモリーに保存されているファイルを削除します。
Format (フォーマット)	USB メモリーをフォーマットします。（USB メモリー内のファイルは全て消去されます。）

ファイル選択における、ディレクトリー構造について	
[Parent Dir]	一つ上のディレクトリーに戻ります。
< XXXXXX >	パソコン等で作られたディレクトリー（フォルダー）を選択できます。

イメージ図

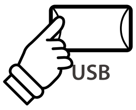


USB のメニューを選ぶ

USB メモリーをリアパネルの USB to Device 端子に接続します。

[USB] ボタンを押す

USB のメニューがディスプレイに表示されます
[MENU] ボタンで、Load ／ Save ／ Rename ／ Delete ／ Format のいずれかを選択します。
[VALUE ▲] ボタンを押すと、選択したメニューの中に入ります。



Load (読み込み)

「USB のメニューを選ぶ」で Load を選び、メニューの中にはいります。

```
<SETUP     SOUND>
<SYSTEM      SMF>
```

USB の Load メニューがディスプレイに表示されます。
[MENU] ボタン、[VALUE] ボタンで、USB Load メニューのいずれかを選びます。

SETUP	USB メモリーからセットアップデータを内部メモリーに読み込みます。
SOUND	USB メモリーからサウンドデータを内部メモリーに読み込みます。
SYSTEM	USB メモリーからシステムデータを内部メモリーに読み込みます。
SMF	USB メモリーから SMF ソングデータを内部メモリーに読み込みます。

注）USB メモリーから SETUP / SOUND / SYSTEM / SMF データを読み込むと、内部メモリーに格納されているそれらのデータは上書きされます

SETUP データの読み込み

```
<All
<Current
```

<USB> – <Load> – <SETUP> で、SETUP 読み込み機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、ALL 又は、Current を選択します。

All	USB メモリーから全 256 セットアップデータを読み込みます
Current	USB メモリーのひとつのセットアップデータを現在選択しているセットアップに読み込みます。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれ、[VALUE ▼] ボタンを押すと、読み込みはキャンセルされます。

SOUND データの読み込み

USB メモリーから全 256 音色を含んだサウンドデータを読み込みます。
<USB> – <Load> – <SOUND> で、SOUND 読み込み機能を呼び出します。
[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれ、[VALUE ▼] ボタンを押すと、読み込みはキャンセルされます。

SYSTEM データの読み込み

```
<AllBackup
<SystemSettings
```

<USB> – <Load> – <SYSTEM> で、SYSTEM 読み込み機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、AllBackup 又は、SystemSettings を選択します。

AllBackup	USB メモリーから SETUP、SOUND、SYSTEM データの全てを読み込みます
SystemSettings	USB メモリーから SYSTEM データを読み込みます。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれます。[VALUE ▼] ボタンを押すと、読み込みはキャンセルされます。

SMF データの読み込み

<USB> – <Load> – <SMF> で、SMF 読み込み機能を呼び出します。
[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。

```
LoadTo →[STORE]
=SONG10
```

[VALUE] ボタンで、読み込み先のソングを選択し、[STORE] ボタンで選択を確定します。
[STORE] ボタンを押すとファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれます。

★ [MP6 のレコーダーソング以外の SMF ファイルを読み込んだ場合、ディスプレイに次のような表示がでます。

```
 Key Ch →[STORE]
= 01
```

[VALUE] ボタンで、読み込み先のキーボードトラックチャンネルを選択します。
[STORE] ボタンを押すとファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれます。
（MP6 では、 1 つのキーボードトラックチャンネル（MIDI チャンネル）のみ、読み込むことができます）

```
 Drum Ch→[STORE]
= Off
```

[VALUE] ボタンで、読み込み先のドラムトラックチャンネルを選択します。
[STORE] ボタンを押すとファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれます。

```
Song001
          Sure?
```

ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイル内のデータが内部メモリーに読み込まれ、[VALUE ▼] ボタンを押すと、読み込みはキャンセルされます。

Save (保存)

「USB のメニューを選ぶ」で Save を選び、メニューの中にはいります。

```
<SETUP    SOUND>
<SYSTEM     SMF>
```

USB の Save メニューがディスプレイに表示されます。
[MENU] ボタン、[VALUE] ボタンで、USB Save メニューのいずれかを選びます。

SETUP	USB メモリーにセットアップデータを保存します。
SOUND	USB メモリーにサウンドデータを保存します。
SYSTEM	USB メモリーにシステムデータを保存します。
SMF	USB メモリーに SMF ソングデータを保存します。

注）USB メモリーに存在するファイルと同名のファイル名で SETUP / SOUND / SYSTEM / SMF データを保存すると、上書きされます。USB メモリーに存在するファイルと同名のファイル名で保存しようとすると、ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、上書きされ、[VALUE ▼] ボタンを押すと、保存画面に戻ります。

SETUP データの保存

```
<All
<Current
```

<USB> – <Save> – <SETUP> で、SETUP 保存機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、ALL 又は、Current を選択します。

All	USB メモリーに、全 256 セットアップデータを保存します
Current	USB メモリーに、現在選択しているセットアップデータを保存します。

ファイル保存画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、指定したファイル名で保存されます。

SOUND データの保存

USB メモリーに全 256 音色を含んだサウンドデータを保存します。
<USB> – <Save> – <SOUND> で、SOUND 保存機能を呼び出します。
ファイル保存画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、指定したファイル名で 256 全音色の設定パラメータが保存されます。

SYSTEM データの保存

```
<AllBackup
<SystemSettings
```

<USB> – <Save> – <SYSTEM> で、SYSTEM 保存機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、AllBackup または、SystemSettings を選択します。

AllBackup	USB メモリーに SETUP、SOUND、SYSTEM データの全てを保存します。
SystemSettings	USB メモリーに SYSTEM データを保存します。

ファイル保存画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、指定したファイル名で保存されます。

SMF データの保存

<USB> – <Save> – <SMF> で、SMF 保存機能を呼び出します。
ソング選択画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンで、ソングを選択し、[VALUE] ボタンで選択を確定します。

```
> 1:INT SONG 1
 Press VALUE UP
```

ファイル保存画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。

```
 Name    →[STORE]
=MIDI_003
```

[STORE] ボタンを押すと、指定したファイル名で保存されます。

Rename(名前の変更)

「USB のメニューを選ぶ」で Rename を選び、メニューの中にはいります。

```
<SETUP    SOUND>
<SYSTEM     SMF>
```

USB の Rename メニューがディスプレイに表示されます。
[MENU] ボタン、[VALUE] ボタンで、USB Rename メニューのいずれかを選びます。

SETUP	USB メモリーに保存されているセットアップデータのファイル名を変更します。
SOUND	USB メモリーに保存されているサウンドデータのファイル名を変更します。
SYSTEM	USB メモリーに保存されているシステムデータのファイル名を変更します。
SONG	USB メモリーに保存されている SMF、MP3、WAV 形式データのファイル名を変更します。

注）USB メモリーに存在するファイルと同名のファイル名には変更できません。

SETUP データの名前の変更

```
<All
<Current
```

<USB> – <Rename> – <SETUP> で、SETUP 名の変更機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、ALL または、Current を選択します。

All	USB メモリーの、全 256 セットアップデータのファイル名を変更します。
Current	USB メモリーの、ひとつのセットアップデータのファイル名を変更します。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ファイル名の変更画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、変更したファイル名に変更されます。

SOUND データの名前の変更

<USB> –<Rename> – <SOUND> で、SOUND 名の変更機能を呼び出します。
ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ファイル名の変更画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、変更したファイル名に変更されます。

SYSTEM データの名前の変更

```
<AllBackup
<SystemSettings
```

<USB> –<Rename> – <SYSTEM> で、SYSTEM 保存機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、AllBackup または、SystemSettings を選択します。

AllBackup	USB メモリーの SETUP、SOUND、SYSTEM データの全データ用のファイル名を変更します。
SystemSettings	USB メモリーの SYSTEM データのファイル名を変更します。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ファイル名の変更画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、変更したファイル名に変更されます。

SONG データの名前の変更

```
>Song001
 Song002
```

<USB> –<Rename> – <SONG> で、SONG 名の変更機能を呼び出します。
ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU] ボタンで選択を確定します。
ファイル名の変更画面がディスプレイに表示されますので、[MENU] ボタンでカーソルを移動し、[VALUE] ボタンで、ファイル名を変更します。
[STORE] ボタンを押すと、変更したファイル名に変更されます。

```
 Rename →[STORE]
= Song002
```

Delete(削除)

「USB のメニューを選ぶ」で Delete を選び、メニューの中にはいります。

```
<SETUP    SOUND>
<SYSTEM     SMF>
```

USB の Delete メニューがディスプレイに表示されます。
[MENU] ボタン、[VALUE] ボタンで、USB Delete メニューのいずれかを選びます。

SETUP	USB メモリーに保存されているセットアップデータのファイルを削除します。
SOUND	USB メモリーに保存されているサウンドデータのファイルを削除します。
SYSTEM	USB メモリーに保存されているシステムデータのファイルを削除します。
SONG	USB メモリーに保存されている SMF、MP3、WAV 形式データのファイルを削除します。

注）USB メモリー上のファイルを削除すると、元にはもどせません。

SETUP データの削除

```
<All
<Current
```

<USB> – <Delete> – <SETUP> で、SETUP 削除機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、ALL または、Current を選択します。

All	USB メモリーの、全 256 セットアップデータのファイルを削除します。
Current	USB メモリーの、ひとつのセットアップデータのファイルを削除します。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。
[VALUE ▼] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

SOUND データの削除

[USB] –[Delete] – [SOUND] で、SOUND 削除機能を呼び出します。
ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。[VALUE ▼] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

SYSTEM データの削除

```
<AllBackup
<SystemSettings
```

<USB> – <Delete> – <SYSTEM> で、SYSTEM 削除機能を呼び出します。
[MENU] ボタンで、AllBackup または、SystemSettings を選択します。

AllBackup	USB メモリーの SETUP、SOUND、SYSTEM データの全データ用のファイルを削除します。
SystemSettings	USB メモリーの SYSTEM データのファイルを削除します。

ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。
[VALUE ▼] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

SONG データの削除

```
>Song001
 Song002
```

```
Song001
          Sure?
```

<USB> – <Delete> – <SONG> で、SONG 削除機能を呼び出します。
ファイル選択画面が表示されますので、[VALUE] ボタンで、ファイルを選択し、[MENU ▲] ボタンで選択を確定します。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。
[VALUE ▼] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

Format(フォーマット)

注）この操作を行うと、USB メモリーに保存されているデータが全て消去されます。

```
Format
       Sure?
```

「USB のメニューを選ぶ」で Format を選び、メニューの中にはいります。
ディスプレイに確認画面がでますので、[VALUE ▲] ボタンを押すと、フォーマットが開始されます。[VALUE ▼] ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされます。

付録

MIDI IN 情報の取扱い

RCV MODE＝Panelの場合、MIDI IN情報は、システムチャンネルで受信されます。MIDI経由で、内部音源を変更する場合は、次ページの内蔵音色一覧を参照してください。

注）システムチャンネルで、プログラムナンバー 1 〜 128　バンク LSB 2 〜 3 が受信された場合、MP6 は、セットアップモードに切り替わり、対応するセットアップが呼び出されます。（下表、セットアップのバンク / プログラム番号を参照してください）

RCV MODE ＝ Multi の場合、MP6 はマルチティンバー音源となります。16MIDI チャンネルで 16 個までの音色で演奏できます

セットアップのバンク / プログラム番号

上列ボタン	中列ボタン	下列ボタン	PROG# : MSB - LSB
1	1	A	001:000-002
1	1	B	002:000-002
1	1	C	003:000-002
1	1	D	004:000-002
1	2	A~D	005:000-002 ~ 008:000-002
1	3	A~D	009:000-002 ~ 012:000-002
1	4	A~D	013:000-002 ~ 016:000-002
1	5	A~D	017:000-002 ~ 020:000-002
1	6	A~D	021:000-002 ~ 024:000-002
1	7	A~D	025:000-002 ~ 028:000-002
1	8	A~D	029:000-002 ~ 032:000-002
2	1~8	A~D	033:000-002 ~ 064:000-002
3	1~8	A~D	065:000-002 ~ 096:000-002
4	1~8	A~D	097:000-002 ~ 128:000-002
5	1~8	A~D	001:000-003 ~ 032:000-003
6	1~8	A~D	033:000-003 ~ 064:000-003
7	1~8	A~D	065:000-003 ~ 096:000-003
8	1~8	A~D	097:000-003 ~ 128:000-003

内蔵音色一覧

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
Piano								
1	A	Concert Grand	1	0	0	1	121	0
	B	Studio Grand	2	0	0	1	121	1
	C	Mellow Grand	3	0	0	1	121	2
	D	Jazz Grand	4	0	0	1	95	8
2	A	Concert Grand 2	5	0	0	1	95	16
	B	Studio Grand 2	6	0	0	1	95	17
	C	Mellow Grand 2	7	0	0	1	95	18
	D	Jazz Grand 2	8	0	0	1	95	19
3	A	Pop Piano	9	0	0	2	95	10
	B	BrightPopPiano	10	0	0	2	95	13
	C	Pop Piano 2	11	0	0	2	95	11
	D	Pop Piano 3	12	0	0	2	95	12
4	A	Mono Piano	13	0	0	2	121	0
	B	Mono Piano 2	14	0	0	1	95	3
	C	Mono Piano 3	15	0	0	1	95	21
	D	Mono Piano 4	16	0	0	1	95	24
5	A	Piano Vari.	17	0	0	2	121	1
	B	Piano Vari. 2	18	0	0	4	121	0
	C	Piano Vari. 3	19	0	0	2	95	6
	D	Piano Vari. 4	20	0	0	2	95	7
6	A	Piano Oct.	21	0	0	1	95	1
	B	Piano Oct. 2	22	0	0	1	95	2
	C	Piano & EP	23	0	0	2	95	1
	D	Piano & EP 2	24	0	0	2	95	2
7	A	New Age Piano	25	0	0	1	95	9
	B	New Age Piano2	26	0	0	1	95	10
	C	New Age Piano3	27	0	0	1	95	11
	D	New Age Piano4	28	0	0	1	95	15
8	A	Harpsichord	29	0	0	7	121	3
	B	Harpsichord2	30	0	0	7	121	0
	C	Harpsi. Octave	31	0	0	7	121	1
	D	Harpsi & Clavi	32	0	0	7	95	5
E.Piano								
1	A	Classic EP	33	0	0	5	121	0
	B	Classic EP 2	34	0	0	5	95	3
	C	Classic EP 3	35	0	0	5	95	5
	D	Classic EP 4	36	0	0	5	121	1
2	A	Modern EP	37	0	0	6	121	0
	B	Modern EP 2	38	0	0	6	121	1
	C	Modern EP 3	39	0	0	6	121	2
	D	Modern EP 4	40	0	0	6	95	5
3	A	60's EP	41	0	0	5	121	3
	B	60's EP 2	42	0	0	5	95	4
	C	Electric Grand	43	0	0	3	121	0
	D	Electric GP 2	44	0	0	3	121	1
4	A	Dolce EP	45	0	0	5	95	2
	B	Legend EP	46	0	0	6	121	3
	C	Phase EP	47	0	0	6	121	4
	D	Classic EP 5	48	0	0	5	121	2

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
5	A	Crystal EP	49	0	0	6	95	1
	B	New Age EP	50	0	0	6	95	2
	C	New Age EP2	51	0	0	6	95	3
	D	New Age EP3	52	0	0	6	95	4
6	A	Clavinet	53	0	0	8	121	0
	B	Synth Clavinet	54	0	0	8	121	1
	C	Clavi & Marim	55	0	0	8	95	1
	D	Clavi Phaser	56	0	0	8	95	2
7	A	Vibraphone	57	0	0	12	121	0
	B	Octave Vibes	58	0	0	12	95	2
	C	Celesta	59	0	0	9	121	0
	D	Bells	60	0	0	15	95	3
8	A	Marimba	61	0	0	13	121	0
	B	Hard Marimba	62	0	0	13	95	1
	C	Xylophone	63	0	0	14	121	0
	D	Steel Drums	64	0	0	115	121	0
Drawbar								
1	A	Be More	65	0	0	17	95	2
	B	Jazzer	66	0	0	18	95	1
	C	Be 3	67	0	0	17	95	1
	D	Be Nice	68	0	0	17	95	7
2	A	Mellow	69	0	0	17	95	5
	B	Drawbar 2	70	0	0	17	121	3
	C	Odd Man	71	0	0	17	95	6
	D	Hi-Lo	72	0	0	17	95	3
3	A	Soft Solo	73	0	0	17	95	8
	B	Full Organ	74	0	0	18	95	4
	C	Jazz Organ 2	75	0	0	18	95	12
	D	Hollow	76	0	0	18	95	6
4	A	Rock Organ 2	77	0	0	19	121	0
	B	Drawbar 3	78	0	0	17	121	1
	C	Screamin’	79	0	0	17	95	4
	D	Drawbar	80	0	0	17	121	0
5	A	Jazz Organ	81	0	0	18	121	0
	B	Rock Organ	82	0	0	18	95	13
	C	Perc. Organ	83	0	0	18	95	15
	D	Perc. Organ 2	84	0	0	18	121	1
6	A	T. Wheel A-1	85	0	0	18	95	112
	B	T. Wheel A-2	86	0	0	18	95	113
	C	T. Wheel A-3	87	0	0	18	95	114
	D	T. Wheel A-4	88	0	0	18	95	115
7	A	T. Wheel B-1	89	0	0	17	95	112
	B	T. Wheel B-2	90	0	0	17	95	113
	C	T. Wheel B-3	91	0	0	17	95	114
	D	T. Wheel B-4	92	0	0	17	95	115
8	A	T. Wheel C-1	93	0	0	20	95	112
	B	T. Wheel C-2	94	0	0	20	95	113
	C	T. Wheel C-3	95	0	0	20	95	114
	D	T. Wheel C-4	96	0	0	20	95	115

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
Organ								
1	A	Church Organ	97	0	0	20	121	0
	B	Full Pipes	98	0	0	20	95	9
	C	Full Ensemble	99	0	0	21	95	10
	D	Church Organ 2	100	0	0	20	121	1
2	A	PrincipleChoir	101	0	0	20	95	23
	B	Small Ensemble	102	0	0	20	95	8
	C	Small Ens. 2	103	0	0	20	95	25
	D	Baroque	104	0	0	20	95	19
3	A	Chiffy Tibia	105	0	0	20	95	17
	B	8'&4'Principle	106	0	0	20	95	24
	C	Stopped Pipe	107	0	0	20	95	21
	D	Principle Pipe	108	0	0	20	95	22
4	A	8' Celeste	109	0	0	20	95	5
	B	Diapason	110	0	0	20	95	6
	C	Voice Celeste	111	0	0	20	95	39
	D	Baroque Mix	112	0	0	20	95	7
5	A	Reeds	113	0	0	20	95	10
	B	8' Reed	114	0	0	21	95	1
	C	Reed Pipes	115	0	0	20	95	26
	D	Posaune	116	0	0	20	95	27
6	A	Theater Organ	117	0	0	20	95	2
	B	Theater Organ2	118	0	0	20	95	3
	C	Theater Organ3	119	0	0	20	95	4
	D	Theater Tibia	120	0	0	20	95	36
7	A	Elec. Organ	121	0	0	17	95	9
	B	Elec. Organ 2	122	0	0	17	95	10
	C	60's Organ	123	0	0	17	121	2
	D	Pump Organ	124	0	0	20	95	40
8	A	Fr. Accordion	125	0	0	22	121	0
	B	TangoAccordion	126	0	0	24	121	0
	C	Harmonica	127	0	0	23	121	0
	D	Kenban Harmo.	128	0	0	23	95	4
Strings/Vocal								
1	A	String Pad	1	0	1	49	95	8
	B	Warm Strings	2	0	1	49	95	1
	C	Warm Strings 2	3	0	1	51	121	0
	D	Synth Strings	4	0	1	52	121	0
2	A	Beautiful Str.	5	0	1	45	95	1
	B	String Ens.	6	0	1	49	121	0
	C	String Ens. 2	7	0	1	50	121	0
	D	Full Orchestra	8	0	1	49	95	12
3	A	Small Str. Ens	9	0	1	49	95	13
	B	Quartet	10	0	1	49	95	11
	C	Str. Bass Ens.	11	0	1	44	121	0
	D	Str. Sustain	12	0	1	49	95	10
4	A	Pizzicato	13	0	1	46	121	0
	B	TremoloStrings	14	0	1	45	121	0
	C	Str. Sforzando	15	0	1	49	95	9
	D	Orchestra Hit	16	0	1	56	121	0

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
5	A	Passionate Vln	17	0	1	41	121	0
	B	Classic Violin	18	0	1	41	95	3
	C	Passionate Vc	19	0	1	43	121	0
	D	Classic Cello	20	0	1	43	95	4
6	A	Choir	21	0	1	53	121	0
	B	Breathy Choir	22	0	1	53	95	1
	C	Pop Aahs	23	0	1	53	121	1
	D	Slow Choir	24	0	1	53	95	2
7	A	Jazz Ensemble	25	0	1	54	95	2
	B	Female Scat	26	0	1	54	95	22
	C	Pop Ensemble	27	0	1	54	121	0
	D	Contemp Ens.	28	0	1	54	95	10
8	A	Itopia	29	0	1	92	121	0
	B	Halo Pad	30	0	1	95	121	0
	C	Halo Pad 2	31	0	1	95	95	1
	D	Synth Vocals	32	0	1	55	121	0

Brass/Wind

1	A	Exp Brass	33	0	1	62	95	8
	B	Exp Saxes	34	0	1	66	95	11
	C	Tp&Bone&Tenor	35	0	1	58	95	11
	D	Flugel & Tenor	36	0	1	57	95	18
2	A	Brass Section	37	0	1	62	121	0
	B	Synth Brass	38	0	1	63	121	0
	C	Synth Brass 2	39	0	1	64	121	0
	D	Jump Brass	40	0	1	63	121	3
3	A	Exp Trumpet	41	0	1	57	121	0
	B	PlungerTrumpet	42	0	1	57	95	7
	C	Trumpet Shake	43	0	1	57	95	6
	D	Harmon Mute Tp	44	0	1	60	121	0
4	A	Exp Trombone	45	0	1	58	121	0
	B	Lead Trombone	46	0	1	58	95	2
	C	PlungerTrombon	47	0	1	58	95	4
	D	ClosedMuteBone	48	0	1	58	95	9
5	A	Exp Alto	49	0	1	66	121	0
	B	Lead Alto	50	0	1	66	95	2
	C	Soft Alto	51	0	1	66	95	7
	D	Lead Soprano	52	0	1	65	121	0
6	A	Exp Tenor	53	0	1	67	121	0
	B	Ballad Tenor	54	0	1	67	95	6
	C	Growl Tenor	55	0	1	67	95	4
	D	Baritone Sax	56	0	1	68	121	0
7	A	Exp Flute	57	0	1	74	95	12
	B	Ballad Flute	58	0	1	74	121	0
	C	Flute Overblow	59	0	1	74	95	9
	D	Flute Flutter	60	0	1	74	95	10
8	A	Oboe	61	0	1	69	121	0
	B	Bassoon	62	0	1	71	121	0
	C	Jazz Clarinet	63	0	1	72	121	0
	D	Pan Flute	64	0	1	76	121	0

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
Pad & Synth								
1	A	New Age Pad	65	0	1	89	121	0
	B	New Age Pad 2	66	0	1	89	95	1
	C	New Age Pad 3	67	0	1	89	95	2
	D	New Age Pad 4	68	0	1	89	95	3
2	A	Atmosphere	69	0	1	100	121	0
	B	Brightness	70	0	1	101	121	0
	C	Brightness 2	71	0	1	101	95	1
	D	Goblin	72	0	1	102	121	0
3	A	Classic Synth	73	0	1	82	121	0
	B	Classic Synth 2	74	0	1	82	121	1
	C	Big Saw	75	0	1	82	95	1
	D	Saw Pad	76	0	1	82	95	3
4	A	Pulse Lead	77	0	1	82	95	4
	B	Pulse Lead 2	78	0	1	82	95	5
	C	Square Lead	79	0	1	81	121	0
	D	Lead	80	0	1	82	121	2
5	A	Caliope	81	0	1	83	121	0
	B	Chiff	82	0	1	84	121	0
	C	Ensemble Lead	83	0	1	84	95	1
	D	Blow lead	84	0	1	83	95	2
6	A	Bright WarmPad	85	0	1	90	95	1
	B	Warm Pad	86	0	1	90	121	0
	C	Sine Pad	87	0	1	90	121	1
	D	Bowed Pad	88	0	1	93	121	0
7	A	Brass Pad	89	0	1	62	95	2
	B	Metallic	90	0	1	94	121	0
	C	Multi Sweep	91	0	1	96	121	0
	D	Soundtrack	92	0	1	98	121	0
8	A	Analog Brass	93	0	1	63	121	2
	B	Analog Brass 2	94	0	1	64	121	2
	C	Analog Brass 3	95	0	1	64	95	1
	D	Analog Brass 4	96	0	1	64	95	2
Bass/Guitar								
1	A	Acc. Bass	97	0	1	33	121	0
	B	Acc. Bass&Ride	98	0	1	33	95	1
	C	Electric Bass	99	0	1	34	95	1
	D	Electric Bass2	100	0	1	34	95	4
2	A	Finger Bass	101	0	1	34	121	0
	B	FingerSlapBass	102	0	1	34	121	1
	C	Pick Bass	103	0	1	35	121	0
	D	Fretless Bass	104	0	1	36	121	0
3	A	Synth Bass	105	0	1	39	121	0
	B	Synth Bass 2	106	0	1	40	121	0
	C	Rubber Bass	107	0	1	40	121	2
	D	Warm SynthBass	108	0	1	39	121	1
4	A	Exp. Nylon Gtr	109	0	1	25	121	0
	B	Pick Nylon Gtr	110	0	1	25	95	3
	C	Exp Guitar	111	0	1	26	121	0
	D	Exp Guitar 2	112	0	1	26	95	11

			Program change Mode = Panel			Program change Mode = Multi		
				Bank	Bank		Bank	Bank
			Prog#	MSB	LSB	Prog#	MSB	LSB
5	A	Rhythm Guitar	113	0	1	28	121	0
	B	Overdrive	114	0	1	30	121	0
	C	Distortion	115	0	1	31	121	0
	D	Muted Electric	116	0	1	29	121	0
6	A	Pedal Steel	117	0	1	27	121	1
	B	HawaiianGuitar	118	0	1	27	95	1
	C	Jazz Guitar	119	0	1	27	121	0
	D	Jazz Guitar 2	120	0	1	27	95	2
7	A	Banjo	121	0	1	106	121	0
	B	Mandolin	122	0	1	26	121	2
	C	Sitar	123	0	1	105	121	0
	D	Harp	124	0	1	47	121	0
8	A	Ambience Set	125	0	1	33	120	0
	B	Plutinum Set	126	0	1	1	120	0
	C	Room Set	127	0	1	9	120	0
	D	Analog Set	128	0	1	26	120	0

Drum Rhythm リスト

No.	Rhythm
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4
49	Slow Jam
50	Triplet50sBallad

No.	Rhythm
51	TripletR&BBallad
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B
72	Motown 1
73	8th Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing
94	H.H. Bossa Nova
95	Ride Bossa Nova
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

USB-MIDI について

コンピュータとデジタルピアノを USB 接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDI ドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

USB MIDI ドライバー

OS	
Windows ME Windows XP (SP なし , SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit	Windows に搭載されている標準 USB-MIDI ドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこの USB-MIDI ドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合はMIDI デバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USB オーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SP なし）	指定の専用 USB-MIDI ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用 USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 *Windows Vista の場合は必ず XP 互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDI ドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OS の「ドライバーの更新」機能によって正しい USB-MIDI ドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SP なし）	USB-MIDI をサポートしておりません。SP1、または SP2 にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS X では自動的に USB-MIDI デバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9 以前の Macintosh	OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の MIDI インターフェイスを使用して、MIDI 接続してください。

USB に関するご注意

MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDI アプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」
お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

*"MIDI"は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
*Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
*Macintosh は、Apple Computer.Inc. の登録商標です。
*その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

USB メモリーの接続

この楽器には [USB TO DEVICE] 端子があります。[USB TO DEVICE] 端子に USB 機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB 機器の取り扱いについては、お使いの USB 機器の取扱説明書もご参照ください。

使用できる USB 機器

USB 対応の記憶装置 (フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ) 動作確認済み USB 機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外の USB 機器 (マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど) は、接続しても使えません。

USB 機器の接続

[USB TO DEVICE] 端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。
本機は USB2.0 に準拠しています。USB1.1 対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。

USB 記憶装置のフォーマット

USB 記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないことを確認してからを確認してからフォーマットしてください。
他の機器で使用した USB メモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

USB 記憶装置の抜き差し

USB 記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

故障かな？と思ったら・・・

修理等についてのお問い合わせ先は、裏表紙をご参照ください。

本体が発音しない

□ 電源が入っていない。→電源を入れてください。
□ アンプ、またはヘッドホンが接続されていない。→接続してください。(P. 17 参照)
□ フェーダーが下がっている。→フェーダーを動かして音量を調節してください。
□ エクスプレッションペダルが踏み込まれていない。→ペダルを踏み込んで音量を調節してください。
□ ローカルオフに設定されている。→ローカルオンにしてください。(P. 64 参照)
□ 発音させたい ZONE の "INT" のインジケーターが点灯していない。→ゾーンモードを設定してください。(P. 42 参照)
□ 発音させたい ZONE の [ZONE ON/OFF] ボタンが点灯していない。→ボタンを押して、点灯させてください。
□ 発音させたい鍵が、ZONE の発音範囲になっていない。→ KeyRange(発音範囲) を設定して下さい。(P. 22, 48 参照)

MIDI 音源が発音しない

□ MIDI 音源の音量が下がっている。→ MIDI 音源の音量を調節してください。
□ 本機の MIDIOUT と MIDI 音源の MIDIIN が正しく接続されていない。→接続例に従って正しく接続してください。(P.11 参照)
□ 発音させたい ZONE の "EXT" のインジケーターが点灯していない。→ゾーンモードを設定してください。(P. 42 参照)
□ 発音させたい ZONE の [ZONE ON/OFF] ボタンが点灯してない。→ボタンを押して、点灯させてください。
□ 発音させたい鍵が、ZONE の発音範囲になっていない。→ KeyRange(発音範囲) を設定して下さい。(P. 22, 48 参照)
□ MIDI チャンネルが MIDI 機器と合っていない。→送信チャンネルを合わせてください。(P. 45 参照)

音色が選べない

□ [SOUND] ボタンが点灯していない。→ボタンを押して、点灯させてください。
□ 音色選択したい ZONE の [ZONE SELECT] ボタンが点灯していない。→ボタンを押して、点灯させてください。
□ パネルロックがオンになっている。→ [SW] ボタンを押して、ロックを解除してください。

セットアップが選べない

□ [SETUP] ボタンが点灯していない。→ボタンを押して、点灯させてください。
□ 本体の MIDI Receive Mode が Panel の状態で、且つ、接続されたシーケンサーがソフトスルーオンに設定されている。→シーケンサーのソフトスルーをオフにするか、本体の MIDI Receive Mode を Multi に設定して下さい。(P. 65 参照)

フェーダーが効かない (音量が変らない)

□ BOTH モードの EDIT 中、他方のセクションが選択されている。→変更したいセクションを選んでください。(P. 40 参照)
□ システムで VolumeAction ＝ Catch に設定されている。→一度フェーダーを最小から最大まで動かしてください。

コントロールノブが効かない

□ 変更したいゾーンが選択されていない。→変更したいゾーンの [ZONE SELECT] ボタンを押して下さい。
□ 変更したいパラメータのコントロールノブモードが選択されていない。→コントロールノブモードを選んで下さい。(P.20 参照)
□ BOTH モードの EDIT 中、他方のセクションが選択されている。→変更したいセクションを選んで下さい。(P. 40 参照)
□ 送信された CC ＃に接続した MIDI 音源が対応していない。→ MIDI 音源が対応している CC# を使用して下さい。

ホイールや、エクスプレッションが効かない

□ 操作子がオフに設定されている。→メニューでオンにしてください。（P. 47 参照)

□ ロック機能がオンされている。→ [SW] ボタンを押して、ロックを解除してください。

□ 音源が対応していない CC# が割り当てられている。→音源が対応している CC# を使用して下さい。（P. 97 参照)

音が重なって発音される

□ 意図しない MIDI 音源が、EXT ゾーンにより発音している。→発音させたくないゾーンはオフにしてください。

□ 接続されたシーケンサーがソフトスルーオンに設定されている。→シーケンサーのソフトスルーをオフにするか、Local=OFF に設定して下さい。(P.64 参照)

MP6 仕様

鍵盤			88 鍵 レスポンシブ ハンマー アクション（RH Action）鍵盤 アイボリータッチ、レットオフフィール
ゾーン数			4 ゾーン
同時発音数			最大 192 音（音色により異なる）
音色			256 音色（P. 77 参照）
ディスプレイ			16 文字 x 2 行　液晶ディスプレイ　（LCD）
効果			7 リバーブ、23 エフェクト、アンプシミュレータ (ゾーン 1)、 3- バンド EQ with 中域周波数調整付
ユーザーメモリー			256 セットアップ
メトロノーム			1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子、リズム 100 種類
内部レコーダー			10 ソング
USB ファンクション	Play Audio	MP3	ビットレート : 8 k ~ 320 kbps, サンプリング周波数 : 44.1 kHz, 48 kHz, 32 kHz
		WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo
	Rrecord Audio	MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo, 192 kbit/s (fixed)
		WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo, 1,411 kbit/s (uncompressed)
	Load/Save		SMF / SETUP / SOUND / SYSTEM BACKUP
外部記憶			USB メモリー、USB フロッピーディスクドライブ
外部端子			AC インレット、MIDI（IN / OUT / THRU）、USB to HOST、EXP ジャック、 DAMPER ジャック、FOOT SWITCH ジャック、LINE OUT（L / MONO, R）、 USB to DEVICE、ヘッドホン
定格電圧			AC100V, 50 / 60Hz
消費電力			25W
寸法			W 135.5 x D 35.0 x H 18.5 cm
重量			21.5 kg
同梱品			本体 / ダンパーペダル / 譜面台 / 電源コード / 取扱説明書（本書） 保証書 / ご愛用者カード

MP6 MIDI Implementation

Contents

Version 1.0 June 2010

1. Recognized data
1-1. Channel Voice Message
1-2. Channel Mode Message
1-3. System Real time Message
2. Transmitted data
2-1. Channel Voice Message
2-2. Channel Mode Message
3. Exclusive data
3-1. Universal Realtime Exclusive Message
4. Table
4-1. Control Change Number (CC#) Table
5. MIDI Implementation Chart

1. Recognized Data

1-1. Channel Voice message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
kk = Note Number : 00H - 7fH (0 ~ 127)
vv = Velocity : 00H - 7fH (0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
kk = Note Number : 00H - 7fH (0 ~ 127)
vv = Velocity : 00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change

Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH

n = MIDI channel number : 0H - fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = Bank Number MSB : 00H - 7fH (0 ~ 127)
ll = BankNumber LSB : 00H - 7fH (0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Modulation depth : 00H - 7fH (0 ~ 127) Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
mm,ll = Value indicated in RPN/NRPN : 00H - 7fH (0 ~ 127)
*see RPN/NRPN chapter

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Volume : 00H - 7fH (0 ~ 127) Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n = MIDI channel number : 0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Panpot : 00H - 40H - 7fH(left ~center~right) Default = 40H(center)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0bH	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 - ch.16)
vv = Expression : 00H - 7fH (0 - 127) Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	40H	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Control Value : 00H - 7fH (0 ~ 127) Default = 00H
0 - 63 = OFF, 64 - 127 = ON

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	42H	vvH

n = MIDI channel number :0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Control Value :00H - 7fH (0 ~ 127) Default = 00H
0 - 63 = OFF, 64 - 127 = ON

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	43H	vvH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Control Value : 00H - 7fH (0 ~ 127) Default = 00H
0 - 63 = OFF, 64 - 127 = ON

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	46H	vvH	Sustain Level
BnH	47H	vvH	Resonance
BnH	48H	vvH	Release time
BnH	49H	vvH	Attack time
BnH	4aH	vvH	Cutoff
BnH	4bH	vvH	Decay time
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value : 00H - 7fH (-64 ~ 0 ~ +63) Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
BnH	5cH	vvH	Rotary speaker speed (0~63:Slow,64~127:Fast) *Only when rotary speaker selected
BnH	5dH	vvH	Chorus depth
BnH	5eH	vvH	Effect deoth

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
vv = Control Value : 00H - 7fH (0 ~ 127)

NRPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n = MIDI channel number : 0H - fH (ch.1 ~ ch.16)
mm = MSB of the NRPN parameter number
ll = LSB of the NRPN parameter number

NRPN numbers implemented in MP6 are as follows

NRPN	#	Data			
MSB	LSB	MSB Function & Range			
01H	08H	mmH	Vibrato Rate	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time	mm:00H - 7FH (-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry
* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP6 are the followings

RPN #	Data			
MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity
	mm:00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H Default=02H			
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning
	mm,ll :20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cent])			
00H	02H	mmH	llH	Master coarse tuning
	mm:28H - 40H - 58H(-24 ~ 0 ~ +24 [half tone]), ll:Ignored(as 00H)			
7fH	7fH	--	--	RPN NULL

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH(0 ~- 127) Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

1-2. Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

1-3. System Realtime Message

Status

FEH Active sensing

2. Transmitted Data

2-1. Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H - fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change

Bank Select

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=Bank Number MSB :00H - 7fH(0 ~ 127)
ll=Bank Number LSB :00H - 7fH(0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv = Modulation depth :00H - 7fH(0 ~ 127)

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n = MIDI channel number : 0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll = Value indicated in RPN/NRPN : 00H - 7fH(0 ~ 127)
*see RPN/NRPN chapter

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
v=Volume :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 64H

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv = Panpot :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 40H(center)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0bH	vvH

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Expression :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	40H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	42H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	43H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	46H	vvH	Sustain Level
BnH	47H	vvH	Resonance
BnH	48H	vvH	Release time
BnH	49H	vvH	Attack time
BnH	4aH	vvH	Cutoff
BnH	4bH	vvH	Decay time
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value :00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63) Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
BnH	5cH	vvH	Rotary speaker speed(0~63:Slow,64~127:Fast) *Only when rotary speaker selected
BnH	5dH	vvH	Chorus depth
BnH	5eH	vvH	Effect deoth

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Control Value :00H - 7fH(0 ~ 127)

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1~ch.16)
mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP6 are the followings

RPN	#	Data			
MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range	
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity	Default=02H
			mm:00H-0cH(0~12 [half tone]), ll:00H		
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning	
			mm,ll:20 00H - 40 00H - 60 00 (-8192x50/8192 ~ 0 ~+8192x50/8192 [cent])		
7fH	7fH	--	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte
DnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Value :00H - 7fH Default = 00H
*Sending only when EXP CC#=AFT

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00 - 7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H(center)

2-2. Channel Mode Message

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

3. Exclusive Data

3-1. Universal Realtime Exclusive Message

Master Volume

Format:F0 7F 7F 04 01 ll mm F7

mm=MSB of Master Volume

ll=LSB of Master Volume

4. Control Change Number (CC#) Table

Control Number Decimal	Hex	Control Function
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undeifined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Poratament On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freez etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay TIme)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefine)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

MIDI インプリメンテーションチャート

[Stage Piano] Date : June 2010
Model: KAWAI MP6 Version : 1.0

ファンクション		送信	受信		備考
			マルチ OFF(*5)	マルチ ON	
ベーシックチャンネル	電源 ON 時	1 ～ 16	1 ～ 16	1 ～ 16	
	設定可能	1 ～ 16	1 ～ 16	1 ～ 16	
モード	電源 ON 時	3	3	3	
	メッセージ	3,4(M=1)	×	3,4(M=1)	
	代用	*********			
ノート ナンバー：	音域	0 ～ 127 *********	0 ～ 127	0 ～ 127	
ベロシティー	ノート・オン	○ 1 ～ 127	○ 1 ～ 127	○ 1 ～ 127	
	ノート・オフ	×	×	×	
アフタータッチ	キー別	×	×	×	
	チャンネル別	○ (*1)	×	×	
ピッチベンド		○	○	○	
コントロールチェンジ	0, 32	○	○	○	Bank Select
	1	○	○ (*2)	○	Modulation
	6, 38	○	○	○	Data Entry
	7	○	○	○	Volume
	10	○	○	○	Panpot
	11	○	○ (*2)	○	Expression(EXP)
	64	○	○ (*2)	○	Hold1(Damper)
	66	○	○ (*2)	○	Sostenuto(FootSW)
	67	○	○	○	Soft
	70, 71	○	○ (*4)	○	Sustain, Resonance
	72, 73, 74, 75	○	○	○	RLS, ATK, CTF, DCY
	76, 77, 78	○	○ (*4)	○	Vibrato(Rate, Depth, Delay)
	91	○	○	○	ReverbDepth
	92	○	○ (*3)	×	RotarySpeed
	93	○	○ (*4)	○	Chorus Depth
	94	○	○	○	EffectDepth
	98, 99	○	○	○	NRPN LSB/MSB
	100,101	○	○	○	RPN LSB/MSB
	0-119	○ (*1)	×	×	
プログラムチェンジ		○	○	○	
	：設定可能範囲	*********	0 ～ 127	0 ～ 127	
エクスクルーシブ		○	○	○	
コモン	：ソング・ポジション	×	×	×	
	：ソング・セレクト	×	×	×	
	：チューン	×	×	×	
リアルタイム	：クロック	×	×	×	
	：コマンド	×	×	×	
その他	：オールサウンドオフ	×	○	○	
	：リセットオールコントローラー	×	○	○	
	：ローカルオンオフ	×	×	×	
	：オールノートオフ	×	○（123 ～ 127)	○（123 ～ 127)	
	：アクティブセンス	×	○	○	
	：リセット	×	×	×	
備考		*1 MOD.WHEEL、EXP、FootSW、MIDICC# ノブ A~D 操作子に送信割り当て *2 MOD.WHEEL、EXP、Damper、FootSW 操作子の効果で受信（各セクション毎に効くか (On) 効かないか (Off) を設定可能、工場出荷時は MOD>WHEEL=Modulation/EXP=Expression/FootSW=Sostenuto の効果で受信） *3 エフェクトタイプにロータリーが選択されている場合 *4 MIDI CC# ノブ A~D 操作子として受信、ノブに割当てられている場合受信可能 *5 マルチ OFF(MIDI 受信ﾓｰﾄﾞ =Panel) 時のシステム Ch 受信			

モード１：オムニオン、ポリ　モード２：オムニオン、モノ　○：有り
モード３：オムニオフ、ポリ　モード４：オムニオフ、モノ　×：無し

付録

索引

欧字

A

Amp Simulator ... 37
Amp Simulator Drive ... 45
Amp Simulator EQ Hi/Lo ... 45
Amp Simulator Level ... 45
Amp Simulator On/Off ... 45
ASSIGN ... 37

B

BANK MSB / LSB ... 45
Bender ... 47
Bender Range ... 47

C

Common Parameter ... 50

D

Damper ... 47
Damper Resonance ... 42
Drum Rhythm リスト ... 83

E

EFX Parameter ... 44
EFX TYPE ... 44
EFX ノブ（コントロールノブ） ... 32
EFX ボタン ... 30
EQ ... 35
EQ Offset（EQ オフセット） ... 64
EQ Offset On / Off（EQ オフセット オン / オフ） ... 64
Exp Pedal ... 47
Exp Pedal CC# ... 51

F

FineTune ... 49
Foot SW ... 47, 68
Foot SW CC# ... 51

K

Keyboard On / Off ... 46
Key click Level ... 44
Key Off Delay ... 43
Key off Effect ... 43
Key Off Noise ... 43
Key of Temperament ... 50
K. Range Hi ... 48
K. Range Lo ... 48

L

LCD Contrast（LCD コントラストの調整） ... 67
LED Brightness（LED 明るさの調整） ... 67
Left Pedal Mode ... 52
Local Control ... 64

M

METRONOME ボタン ... 27
MIDI CC# ... 37
MIDI Implementation ... 89
MIDI IN 情報の取扱い ... 76
MIDI Receive Channel ... 65
MIDI Receive Mode ... 65
MIDI Transmit Bank ... 66
MIDI Transmit Control Change ... 66
MIDI Transmit Keyboard ... 66
MIDI Transmit Program Change ... 65
MIDI Transmit Recorder ... 66
MIDI Transmit SETUP Mode ... 65
MIDI Transmit Volume ... 66
MIDI コントロールチェンジナンバー ... 37
MIDI 受信チャンネル ... 65
MIDI 受信モード ... 65
MIDI 送信キーボード ... 66
MIDI 送信コントロールチェンジ ... 66
MIDI 送信セットアップモード ... 65
MIDI 送信バンク ... 66
MIDI 送信プログラムチェンジ ... 65
MIDI 送信ボリューム ... 66
MIDI 送信レコーダー ... 66
MMC Assign ... 67
MMC Device ID ... 67
MMC On / Off ... 67
MMC 割り当て ... 67
Modulation ... 47
Modulation Wheel CC# ... 52

O

Output Mode ... 68

P

Pan ... 49
Program Change Mode ... 65

R

Reset All ... 69
Reset One Sound / Setup ... 69
Reverb Offset ... 64
REVERB ノブ（コントロールノブ） ... 32
REVERB ボタン ... 31

S

Section Parameter ... 42
Solo ... 46
Solo Mode ... 46
STORE ボタン ... 59
Stretch ... 50
String Resonance ... 42

SW ボタン 29
System Ch 63
System Parameter 63
System Reset 69
System Tuning 63
SYSTEM ボタン 62

T

Temperament 50
TONE MODIFY 36
Tone Wheel Percussion 44
Tone Wheel Percussion Decay 44
Tone Wheel Percussion Harmonics 44
Tone Wheel Percussion Level 44
Tone Wheel Registration 43
Touch 63
TRANSPOSE ボタン 28
Trs Channel 45
Trs PRG # 45

U

USB-MIDI について 84
USB ボタン 70
User Tuning 51

V

Velocity Dynamics 46
Vel SW 48
Vel SW val 48
Voicing 43
Volume Slider Action 64

W

Wheel Mode 68

Z

Zone Mode 42
Zone Transpose 49

かな

あ

アウトプットモード 68
アサイン 37
アンプシミュレーター 37
アンプシミュレーター EQ ハイ / ロー 45
アンプシミュレーター オン / オフ 45
アンプシミュレータードライブ 45
アンプシミュレーターレベル 45

い

イコライザー 35

え

エクスプレッションペダル 47
エクスプレッションペダル・コントロールチェンジ 51
エフェクトタイプ 44
エフェクトノブ（コントロールノブ） 32
エフェクトパラメーター 44
エフェクトボタン 30

お

オーディオレコーダー 56
音律の主音 50
音律 50

き

キーオフエフェクト 43
キーオフディレイ 43
キーオフノイズ 43
キークリックレベル 44
キーボード・オン / オフ 46
キー・レンジ・ハイ 48
キー・レンジ・ロー 48

こ

コモン パラメータ 50
コントロールチェンジ 38
コントロールノブ 32

し

システム チャンネル 63
システム チューニング 63
システム パラメーター 63
システムボタン 62
システム リセット 69
仕様 88

す

ストアボタン 59
ストリングレゾナンス 42
ストレッチ 50
スプリット演奏 22

せ

セクション パラメータ 42
セットアップのバンク / プログラム番号 76

そ

送信チャンネル 45
ゾーントランスポーズ 49
ゾーン・モード 42
ソロ 46
ソロ モード 46
ソングレコーダー 53

た

タッチ 63
ダンパー 47
ダンパーレゾナンス 42

と

トーンホイールパーカッション 44
トーンホイールパーカッションディケイ 44
トーンホイールパーカッションハーモニクス 44
トーンホイールパーカッションレベル 44
トーンホイールレジストレーション 43
トーン モディファイ 36
トランスポーズボタン 28

な

内蔵音色一覧 77

は

パン 49
バンクセレクト MSB / LSB 45

ひ

ピアノオンリー 20

ふ

ファインチューニング 49
フットスイッチ 47, 68
フットスイッチ・コントロールチェンジ 51
プログラムチェンジモード 65
プログラムチェンジナンバー 45

へ

ベロシティー スイッチ 48
ベロシティー スイッチ バリュー 48
ベロシティー ダイナミクス 46
ベンダー 47
ベンダーレンジ 47

ほ

ホイール・モード 68
ボイシング 43
ボリューム アクション 64

め

メトロノーム 27
メトロノームボタン 27

も

モジュレーション 47
モジュレーションホイール・コントロールチェンジ 52

ゆ

ユーザー音律の作成 51
ユーザータッチカーブ作成 63

り

リセット オール 69
リセット ワン サウンド / セットアップ 69
リバーブ オフセット 64
リバーブノブ（コントロールノブ） 32
リバーブボタン 31

れ

レイヤー演奏 21
レフト・ペダル・モード 52

ろ

ローカルコントロール オン / オフ 64

付録

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00 ～ 12：00 / 13：00 ～ 17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jp の「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

816873
KMSZ-0034-R100
Printed in Indonesia

©2010（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。
2010 年 9 月発行